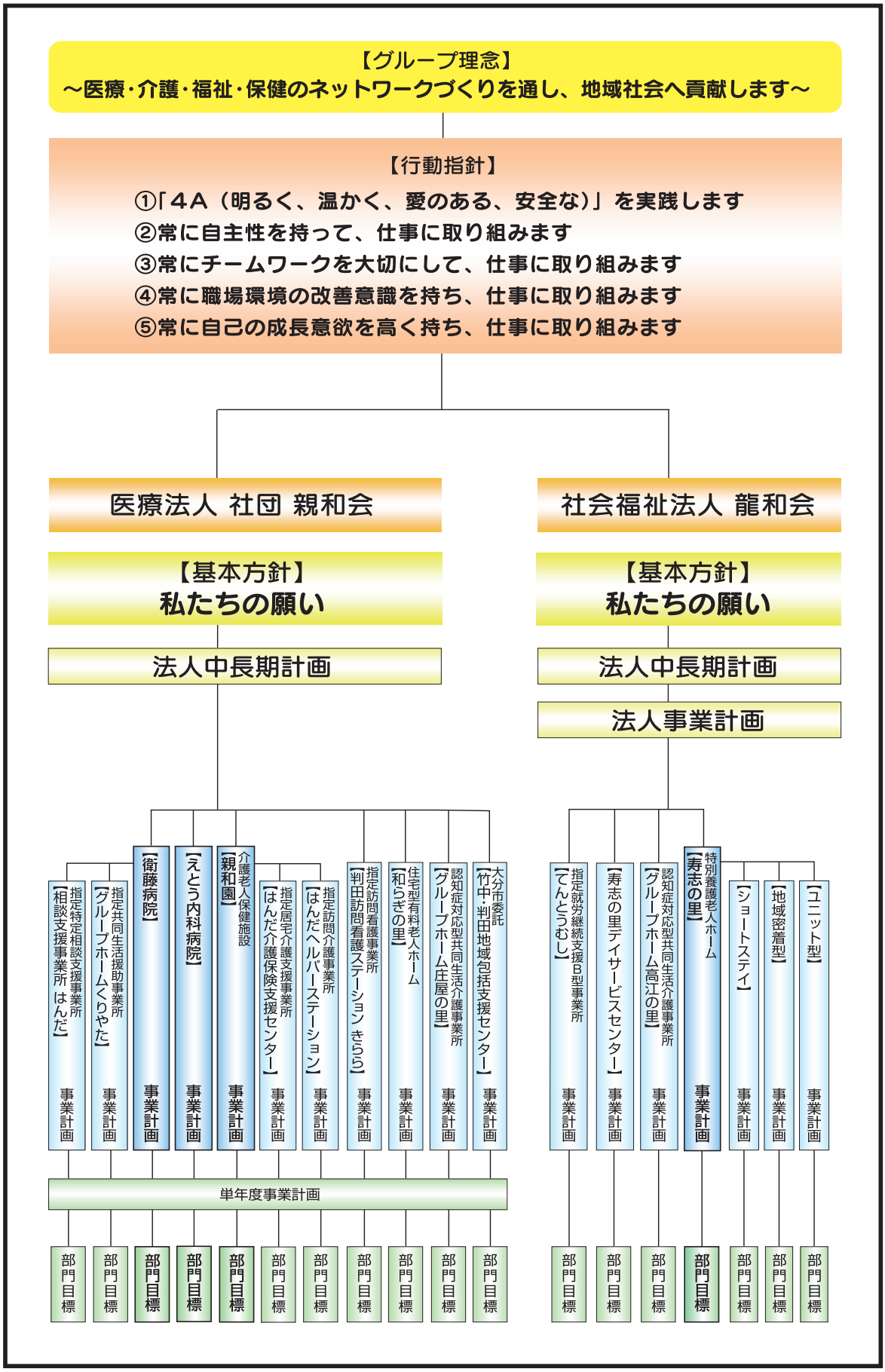
令和５年度

# 年　報

医療法人社団親和会

# 〈グループ方針体系図〉




All Reserved, Copyright (C)　親和会グループ

# 目　次


巻頭言　「健康経営」への取り組みと実践　医療法人社団親和会　理事長
衛藤病院　院長　衛藤　龍…… 1
人の死に立ち会う者は詩歌を解せねばならぬ　えとう内科病院院長　松永　研一…… 2
持続可能な開発目標（SDGs）　親和園施設長　宮　茂…… 3
組織図…… 4
医療法人社団親和会　会議・委員会体系図…… 8
職種別職員構成…… 9
親和会委員会活動報告…… 10
法人内研修実績…… 19
衛藤病院
施設紹介 …… 25
委員会活動報告 …… 26
学会発表 …… 38
院外研修実績 …… 42
実習生の受入れ …… 44
統計資料 …… 45
入退院及び外来患者・平均在院日数調べ …… 45
入退院・平均在院日数調べ（認知症治療病棟）…… 46
入退院・平均在院日数調べ（精神療養病棟）…… 46
入退院・平均在院日数調べ（精神一般病棟）…… 47
紹介元医療機関 …… 48
月別新規患者紹介率 …… 48
疾患別・年齢別外来患者延数 …… 49
居住地別外来患者延数 …… 50
疾患別・年齢別・入院形態別在院患者数 …… 51
精神科救急医療システム実施状況 …… 52
居住地別入院患者数 …… 52
精神科作業療法　令和５年度実績 …… 53
月別相談業務集計表 …… 54
相談支援事業所 はんだ
施設紹介 …… 55
共同生活援助事業 グループホームふかまち・くりやた・しもばる …… 56
えとう内科病院
施設紹介 …… 59
委員会活動報告 …… 60
学会発表 …… 70
院外研修実績・実習生の受入れ …… 73
統計資料 …… 76
入退院及び外来患者・平均在院患者数調べ …… 76
入院患者 ICD10 分類別疾患統計 …… 77
外来患者 ICD10 分類別疾患統計 …… 77
性別・年齢別外来患者延数 …… 78
紹介元医療機関 …… 79
月別紹介患者数 …… 79
訪問リハビリ　地域別利用者数 …… 80

親和園
施設紹介 …… 81
委員会活動報告 …… 82
学会発表 …… 86
園外研修実績 …… 88
園内研修実績 …… 88
実習生の受入れ …… 89
ボランティアの受入れ …… 89
統計資料（入所）…… 90
入所者の月別入退所調べ（ショートステイ含む）（一般療養棟） …… 90
入所者の月別入退所調べ（ショートステイ含む）（認知症専門棟） …… 90
年齢別入所者数 …… 91
介護度別入所者数 …… 91
性別入所者数 …… 91
年間の行事・交流会状況 …… 92
はんだ介護保険支援センター …… 93
はんだヘルパーステーション …… 93
和らぎの里
施設紹介 …… 95
統計資料 …… 96
庄屋の里
施設紹介 …… 99
統計資料 …… 100
判田訪問看護ステーションきらら…… 103
ぽっぽ保育園…… 105
編集後記…… 106

# 「健康経営」への取り組みと実践

医療法人社団親和会　理事長
衛藤病院　院長　　衛藤　龍

新聞、報道等でよく耳にする「人口減少による働き手不足」の言葉は、医療、介護の現場でも深刻な問題となっています。

医療・介護従事者が不足すると、利用者へ満足にサービスを提供できない状況を招きます。同時に事故のリスクも高まります。

将来に向けて親和会として行うことは、職員一人ひとりの生産性を考えるうえで、ICT やロボット化も必要ですが、「心身ともに健康で働き続けることができる職場づくり」を、いかに創造するかも重要になってくると考えています。そのためには、日頃より職員やその家族が健康をいかに確保するかが重要になってきます。

昨年度より私たちは、親和会の経営理念である「医療・介護・福祉・保健のネットワークづくりを通し、地域社会に貢献します。」を実現するために、「健康経営」を推進することで、職員とそのご家族、地域社会に貢献することを宣言しています。

「健康経営」とは、職員の健康管理を経営課題として捉え、職員及びその家族の健康の保持・増進に向けた取り組みを戦略的に実践することです。

職員の健康管理が、職員の意欲や組織の生産性向上に繋がり、それが将来的に親和会や地域社会に新たな価値をもたらすという考えを前提としています。そのため、健康経営推進担当を法人に配置し、関係機関や地域社会とも連携して、多様な職員が活躍する職場づくり、職員とその家族、患者・利用者様のこころと身体の健康維持・増進策の推進、職員一人ひとりが自主的に健康を維持増進するための取り組みなどを支援する体制をとっています。

地域貢献活動の一環として、R5 年 12 月 16 日に、大分高校吹奏楽部の皆様をお招きし、衛藤病院 1 階ロビーにて演奏会を開催しました。高校生の皆さんの迫力のある演奏とダンス等のパフォーマンスに、入院患者さんや地域の皆様はとても喜ばれていました。

# 人の死に立ち会う者は詩歌を解せねばならぬ

えとう内科病院院長　　松永　研一

表題の言葉は、哲学者か、はたまた高名な医師か僧侶の言葉かと思いきや、江戸時代の首切り人山田浅右衛門の言葉でした。何代目浅右衛門か出典を確認できませんでしたが、歴代浅右衛門は多くが俳諧や和歌をたしなんでいたそうです。

私、和歌も俳句も詠めませんが読むのは好きで、高校２年生の時買った、裏表紙に「昭和 42 年３月９日購入」とインク書きした文庫本の万葉集を自室の本棚に明治天皇御集などとともに立て時々開いています。大学生の頃は天皇陛下の御製のお歌をよむ会などに参加したこともあり、和歌に多少興味はあるのですが、自分で詠もうと思ったことはありませんでした。

自分で詠まなければ詩歌を解したとは言えない、と言われるかもしれませんが、我々は浅右衛門のようにみずからの手で首を落とすわけではなく、また、今の時代、辞世の歌を詠まれる方に出会ったこともありませんので、この程度の理解でご容赦いただきたいと思います。

ともあれ、首切り人でさえこのような真摯な心構えで死と対峙していたのですから、日常的に人の死に出会う我々は、より厳粛な気持ちで向き合わねばならない、と考えさせられました。

山田浅右衛門の「職場」の一つであった江戸小塚原刑場あとに立つ
「小塚原の首切り地蔵」と呼ばれる地蔵菩薩像
寛保元年（1741 年）建立とされる
東京都荒川区　令和６年４月13日撮影

# 持続可能な開発目標（SDGs）

親和園施設長　　宮　　茂

SDGs（Sustainable Development Goals）は、現在地球に住んでいる人々が誰一人取り残されることなく、その生きる要件を満たし、かつ将来の人たちが同じようにその状況を享受できるために、2030 年まで達成すべき 17 の目標として国連が定めました。気候変動に対するカーボンニュートラルには各国の行動が見られますが、「すべての人に健康と福祉を」も取り上げています。私たちが日々対応している高血圧症、脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病は患者数も多く、その完璧な制圧は難題です。これまではその主な要因として個人生活の「だらしなさ」が指摘され、自己責任の問題となっていました。ところが、そのような生活環境をとらざるを得なくなったのは個人の責任ではなく、その人を取り巻く社会環境・生育・教育状況、住居、仕事場等に起因していると言うのです。この目標は SDG3 に入っていますが、目標を達成することが生活習慣病の克服に繋がっていると言うのです。

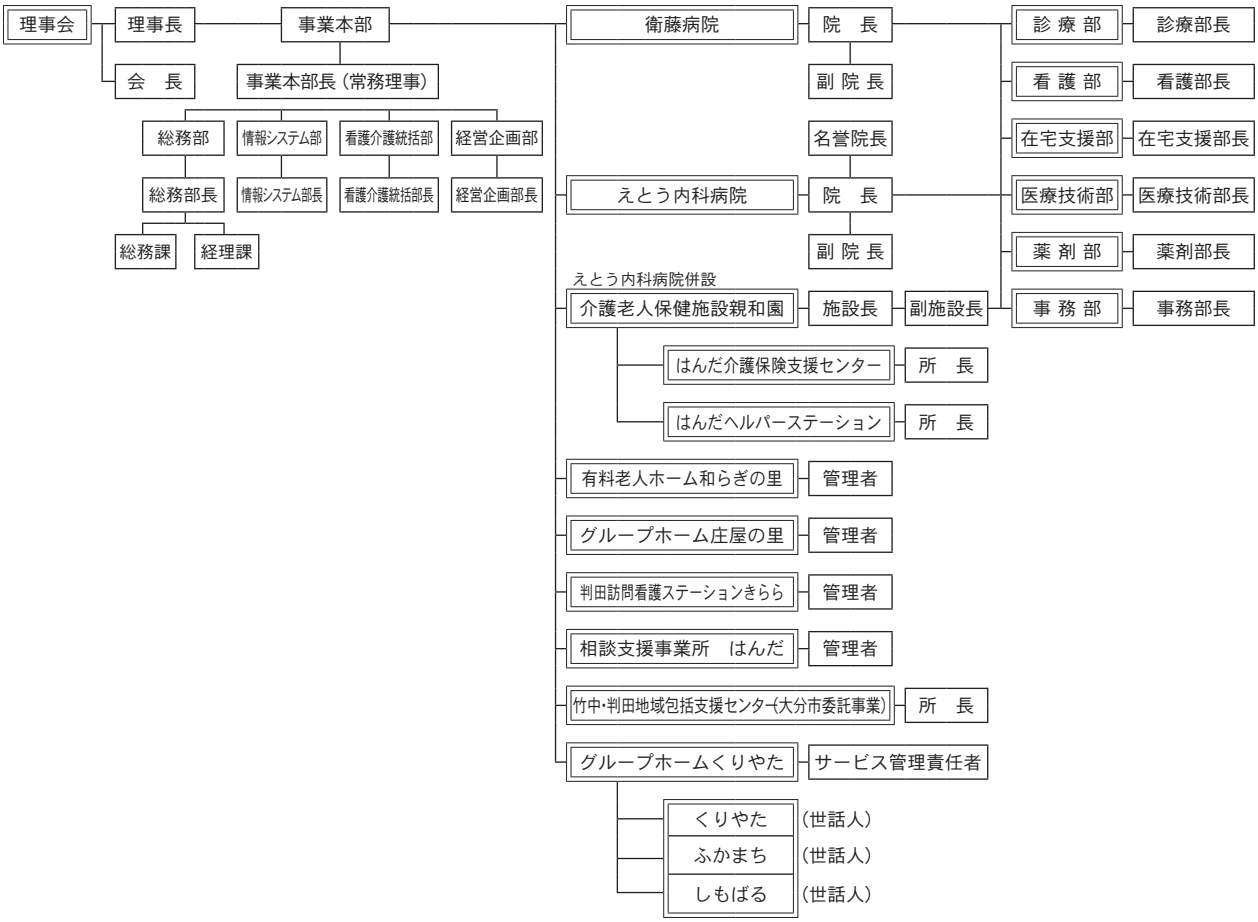
沈堕の滝は豊後大野市の大野町と清川町境、大野川の本流にかかる滝で高さは約 20 メートル、幅約 110 メートル。雪舟の絵画「鎮堕瀑図」がある。その淵の深さから岡藩では刑罰を科すべきかどうか白州で判断できかねる場合に「沈堕落とし」として実施したという。

沈堕の滝

# 組織図

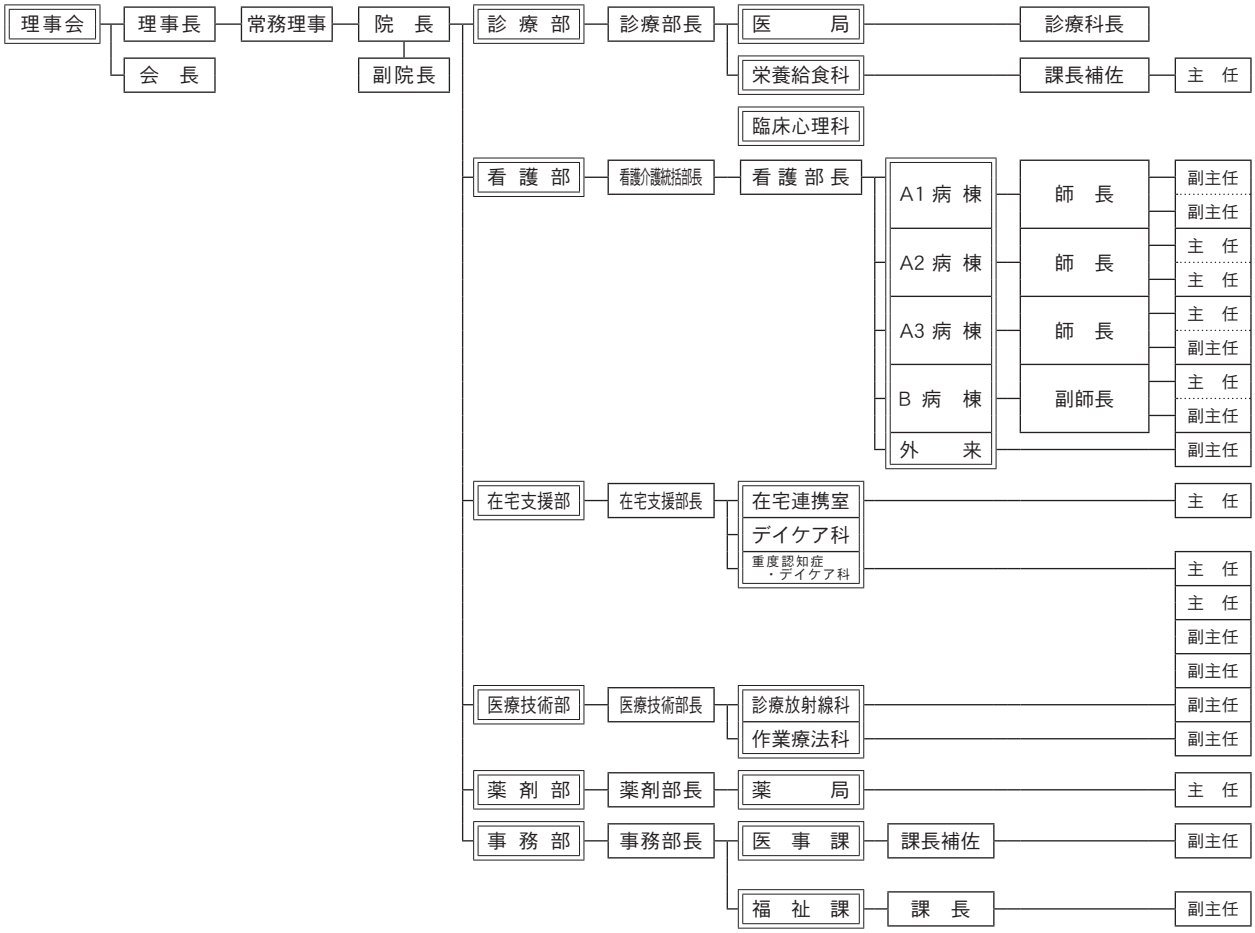
## 【令和６年度　医療法人社団親和会組織図】

R6.4.1 現在



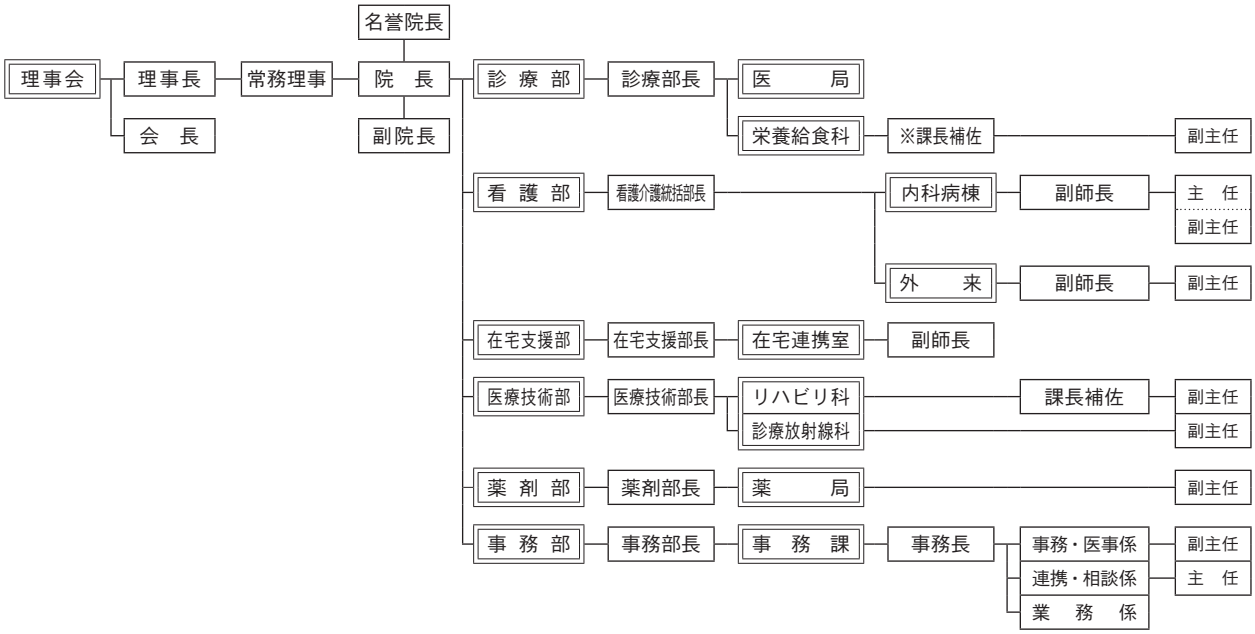
## 【令和６年度　衛藤病院組織図】

R6.4.1 現在




## 【令和６年度　えとう内科病院組織図】

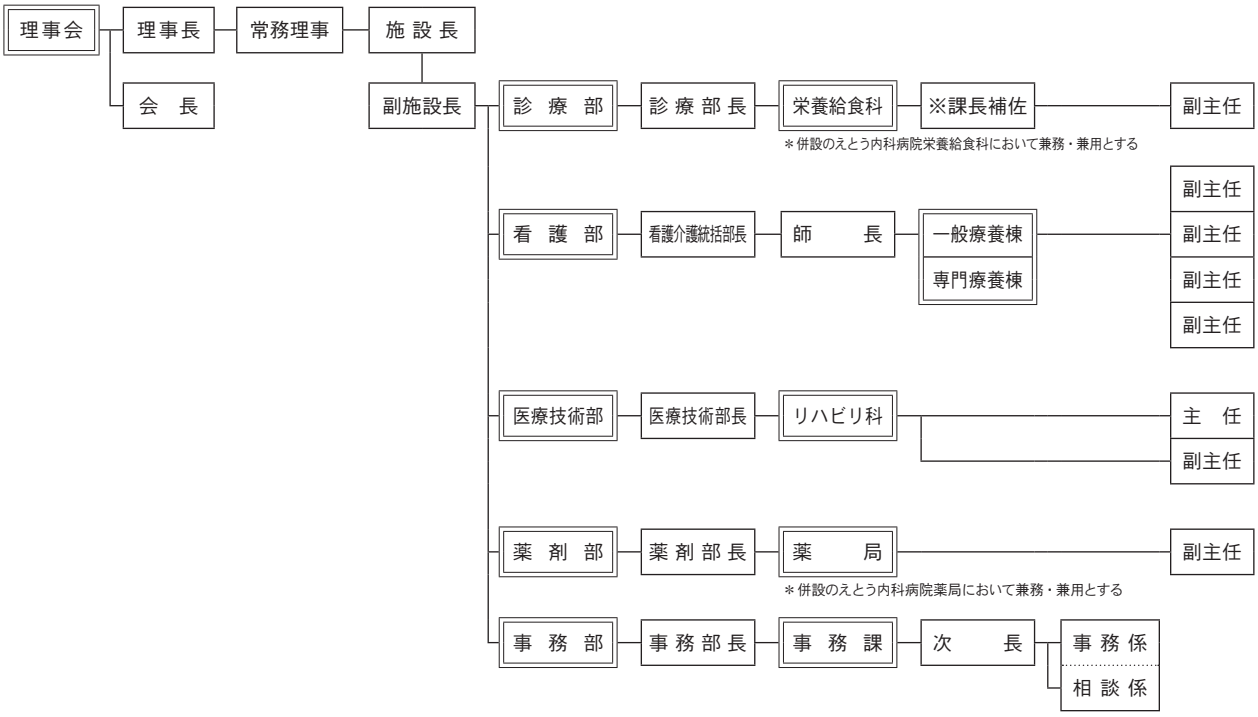
R6.4.1 現在



## 【令和６年度　介護老人保健施設親和園組織図】

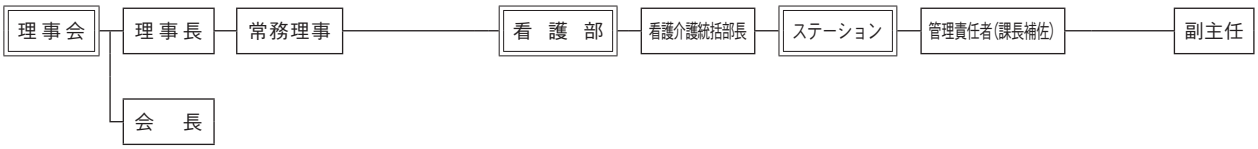
（えとう内科病院併設）

R6.4.1 現在



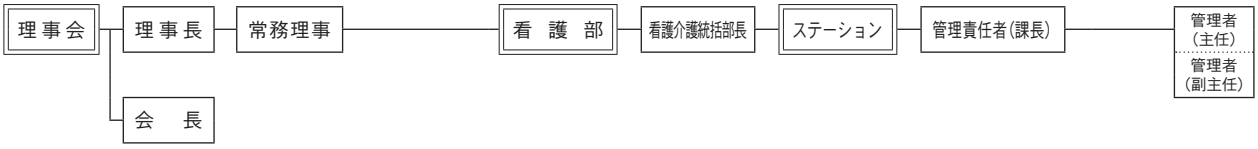

## 【令和６年度　住宅型有料老人ホーム和らぎの里組織図】

R6.4.1 現在




## 【令和６年度　認知症対応型グループホーム庄屋の里組織図】

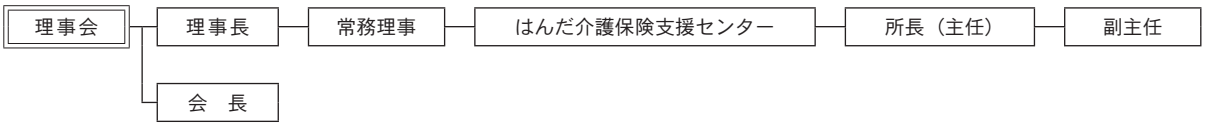
R6.4.1 現在



## 令和６年度　関連施設組織図

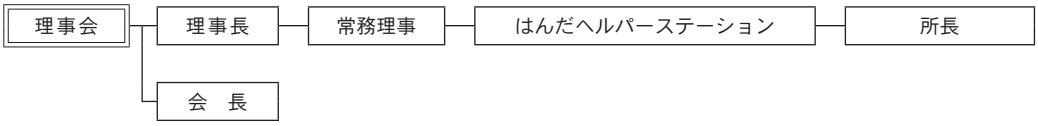
### 【令和６年度　はんだ介護保険支援センター組織図】

R6.4.1 現在



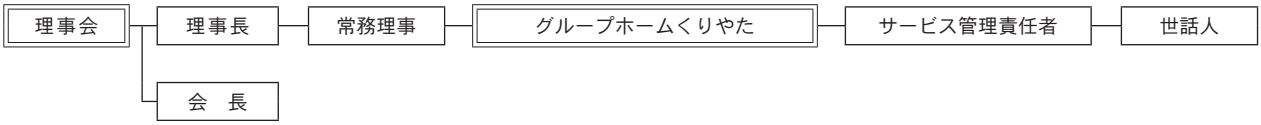

### 【令和６年度　はんだヘルパーステーション組織図】

R6.4.1 現在



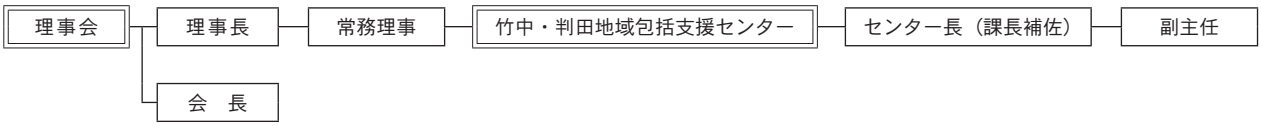

### 【令和６年度　グループホームくりやた組織図】

R6.4.1 現在



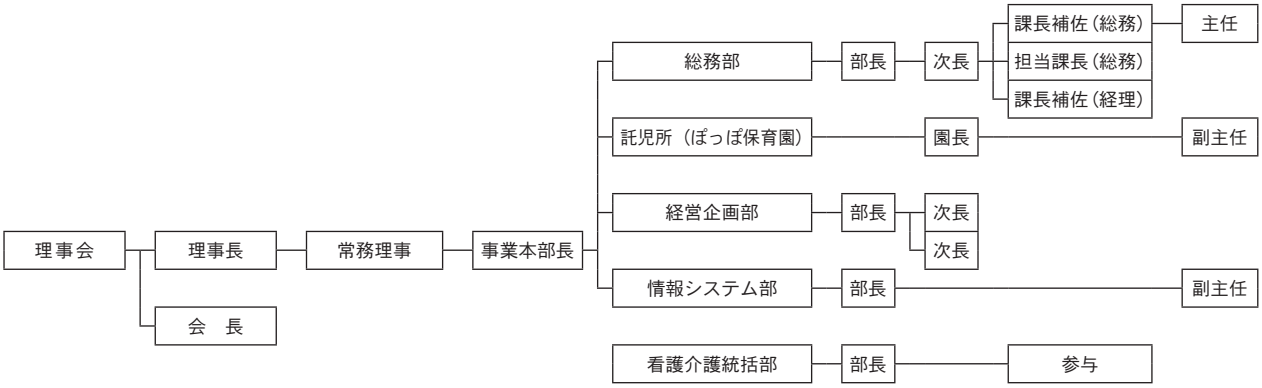

### 【令和６年度　竹中・判田地域包括支援センター（大分市委託事業）組織図】

R6.4.1 現在

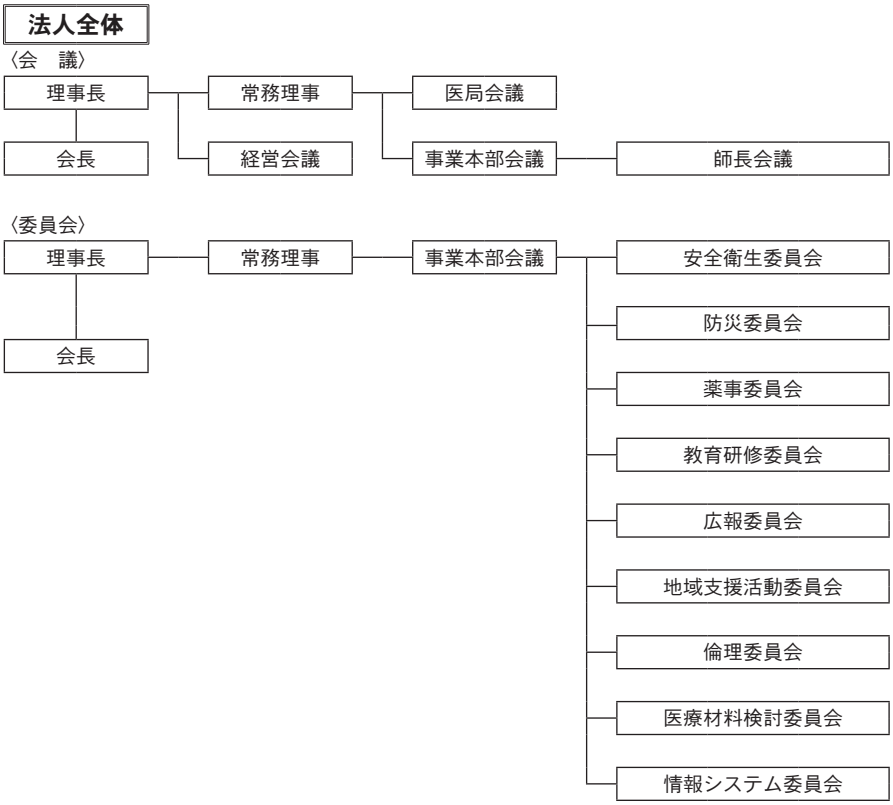


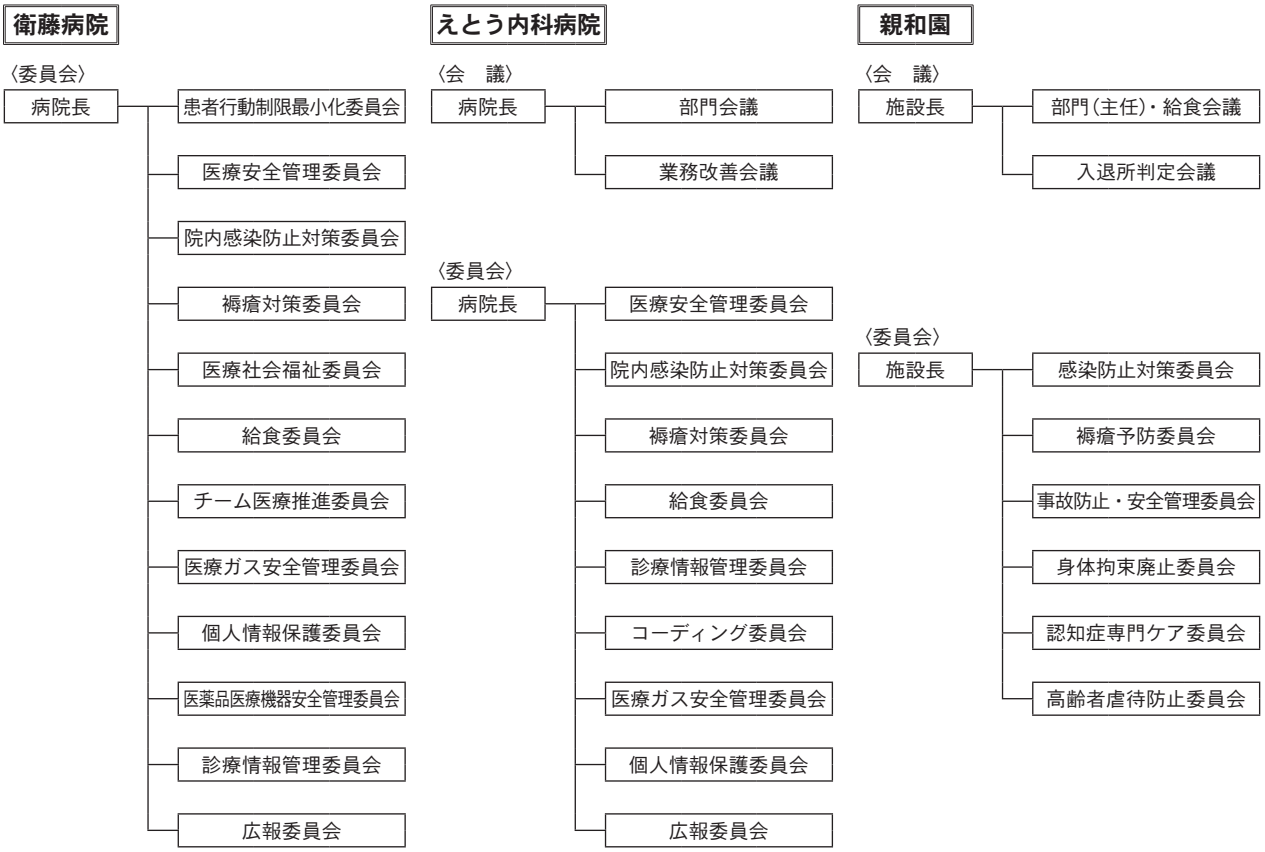

## 令和６年度　事業本部組織図

R6.4.1 現在



## 【医療法人社団親和会　会議・委員会体系図】



## 職種別職員構成

R6.4.1 現在

| 職種 | 衛藤病院 | | えとう内科病院 | | 介護老人保健施設親和園 | | はんだ介護保険支援センター | | はんだヘルパーステーション | | 有料老人ホーム和らぎの里 | | 認知症グループホーム庄屋の里 | | 判田訪問看護ステーションきらら | | 竹中・判田地域包括支援センター | | 事業本部 | | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 常勤 | 非常勤 | 常勤 | 非常勤 | 常勤 | 非常勤 | 常勤 | 非常勤 | 常勤 | 非常勤 | 常勤 | 非常勤 | 常勤 | 非常勤 | 常勤 | 非常勤 | 常勤 | 非常勤 | 常勤 | 非常勤 | |
| 常勤医師 | 8 | 5 | 4 | 4 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 22 |
| 精神保健指定医 | 5 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 精神科医 | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内科医 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 皮膚科医 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 薬剤師 | 3 | | 2 | | 9 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 15 |
| 看護師 | 73 | 4 | 28 | 9 | 5 | | | | | | 1 | | | | 6 | | | | 2 | | 128 |
| 准看護師 | 19 | 1 | 3 | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 25 |
| 保健師 | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | 2 |
| 介護支援専門員 | | | | | | | 4 | | | | | | 1 | | | | 1 | | | | 6 |
| 介護福祉士 | 9 | 3 | 1 | | 25 | 4 | 9 | 1 | 2 | | 9 | 1 | 12 | 1 | | | | | | | 77 |
| 介護職員 | 12 | 5 | 3 | | 3 | | | | 1 | 1 | 3 | 1 | | | | | | | | | 29 |
| 作業療法士 | 13 | | 1 | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | 17 |
| 理学療法士 | | | 7 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 8 |
| 言語聴覚士 | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 公認心理師 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 社会福祉士 | 1 | | 2 | | 3 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 7 |
| 精神保健福祉士 | 10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 10 |
| 診療放射線技師 | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 管理栄養士 | 3 | | 1 | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | 7 |
| 栄養士 | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 調理師 | 5 | 2 | 4 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 12 |
| 調理員 | 6 | 3 | 3 | 2 | | | | | | | | 3 | | | | | | | | | 17 |
| 事務員 | 10 | 1 | 7 | 1 | 3 | | | | | | | | 1 | | | | | | 15 | | 38 |
| 業務員 | 1 | 4 | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 3 | 12 |
| 保育士 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 | | 5 |
| 夜警員 | | 3 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| 計 | 177 | 31 | 69 | 21 | 57 | 5 | 13 | 1 | 3 | 1 | 13 | 5 | 15 | 1 | 6 | 0 | 4 | 0 | 24 | 3 | 449 |

# 親和会委員会活動報告

## 安全衛生委員会

### 1. 目的

医療法人社団親和会における安全衛生の管理活動を充実し、労働災害と疾病を未然に防止するために必要な基本的事項を明確にし、病院及び施設に従事する職員の安全の確保及び健康の保持増進を図るとともに、快適な職場環境の形成を促進することを目的とする。

### 2. 活動内容

1）令和５年４月27日
①事故報告：院内暴力１件、針刺し１件、交通事故２件、その他１件、病欠者２名
②春の交通安全運動について
③ HIV 抗原抗体検査について

2）令和５年５月25日
①事故報告：交通事故１件、針刺し１件、病欠者３名
②令和５年度全国安全週間について

3）令和５年６月22日
①事故報告：交通事故２件、労災１件、病欠者１名
②令和５年度全国安全週間について
③おおいた夏の事故ゼロ運動について

4）令和５年７月27日
①事故報告：針刺し１件、院内暴力１件、労災２件、病欠者２名
②ドライブレコーダーについて
③ハラスメント研修会について

5）令和５年８月24日
①事故報告：交通事故１件、労災１件、病欠者なし
②ハラスメント研修会について
③秋の全国交通安全運動について
④令和５年度全国労働衛生週間について

6）令和５年９月28日
①事故報告：院内暴力１件、交通事故１件、労災１件、病欠者１名
②環境測定結果報告（個人ばく露濃度測定）について
③ハラスメント研修会について
④令和５年度全国労働衛生週間について

7）令和５年10月26日
①事故報告：労災２件、交通事故２件、病欠者５名
②環境測定結果報告（個人ばく露濃度測定）について
③ストレスチェックについて
④来月以降の安全衛生委員会について

8）令和５年 11 月 16 日
①事故報告：交通事故３件、病欠者４名
②ストレスチェックについて
③おおいた冬の事故ゼロ運動について
9）令和５年 12 月 28 日
①事故報告：交通事故４件、病欠者３名
②ストレスチェックについて
③おおいた冬の事故ゼロ運動について
10）令和６年１月 25 日
①事故報告：針刺し１件、院内暴力２件、病欠者４名
②腰痛予防対策研修会について
③健康診断個人票の変更について
11）令和６年２月 22 日
①事故報告：院内暴力１件、その他１件、病欠者２名
②腰痛予防対策研修会について
③作業環境測定結果報告について
④来期の委員について
12）令和６年３月 28 日
①事故報告：交通事故３件、労災１件、その他１件、病欠者５名
②来年度の委員について
③令和６年度大分県交通安全県民運動実施要項について
④春の全国交通安全運動について

## 防災委員会

### 1. 目的

防災委員会は法人内における防火・防災に関する諸事項について審議し、職員の防火・防災意識の高揚を図ることを目的としている。

### 2. 活動報告

1）委員会開催日

①令和５年５月 12 日

・３施設合同防火訓練、和らぎの里、庄屋の里について「消防訓練通知書」に沿って説明

・消防設備の点検について（R5.3 実施分）報告

②令和５年 12 月 15 日

・３施設合同防火訓練、和らぎの里、庄屋の里について「消防訓練通知書」に沿って説明

・消防設備の点検について（R5.9 実施分）報告

2）活動内容

①令和５年５月 12 日

・和らぎの里　防火訓練（夜間想定）

②令和５年５月 19 日

・庄屋の里防火訓練（夜間想定）

③令和５年５月 26 日

・３施設合同防火訓練（夜間想定：親和園出火想定）

④令和５年 12 月 21 日

・和らぎの里　防火訓練（夜間想定）

⑤令和５年 12 月 22 日

・３施設合同防火訓練（夜間想定：衛藤病院出火想定）

⑥令和５年 12 月 26 日

・庄屋の里（夜間想定）

3）地域との連携について

認知症グループホーム「庄屋の里」での訓練時に地域自治会及び消防団との連絡訓練を行う。

## 広報委員会

### 1. 目的

医療法人社団親和会の状況や諸活動を内外に広報するため、法人内に広報委員会を設置する。

### 2. 活動内容

令和 5 年 4 月 11 日、5 月 16 日、6 月 20 日
　広報誌「なごみ 36 号」、令和 4 年度年報について

令和 5 年 9 月 5 日、10 月 30 日
　広報誌「なごみ 37 号」について

### 3. 活動実績

親和会広報誌「なごみ No.36」「なごみ No.37」の発刊

令和 4 年度年報の発刊

## 薬事委員会

### 1. 目的

この委員会は、院長・施設長の諮問機関として使用する診断及び治療用医薬品の安全性と有効性に関して調査審議し、不良医薬品による事故を未然に防ぐとともに、合理的採用と運営により診断活動の円滑化を図ることを目的とする。

### 2. 活動内容

**令和5年4月14日**

・エンレスト錠の説明会
・後発医薬品使用割合
　衛藤病院：87.3%　えとう内科病院：92.3%
・新規採用医薬品のお知らせ
・重大な副作用等に関するお知らせ
・ピーゼットシー糖衣錠について
・フルニトラゼパム錠について
・ワイスタール配合点滴静注用バッグ、スルペラゾン静注用について
・その他
・退院時服薬指導について
・CP 換算値

**令和5年5月12日**

・ゼプリオン TRI 水懸筋注の説明会
・後発医薬品使用割合
　衛藤病院：88.4%　えとう内科病院：89.0%
・新規採用医薬品のお知らせ
・ビソルボンについて
・アマリール錠について
・CP 換算値

**令和5年6月16日**

・マヴィレット配合錠の説明会
・後発医薬品使用割合
　衛藤病院：87.1%　えとう内科病院：93.5%
・新規採用医薬品のお知らせ
・重大な副作用等に関するお知らせ
・ラゲブリオカプセルについて
・ビペリデン塩酸塩散 1%出荷停止について
・パンテチン散 20%限定出荷のお知らせ
・イソプロピルウノプロストン点眼液 0.12%について
・CP 換算値

**令和5年7月14日**

・ラツーダ錠の説明会
・後発医薬品使用割合
　衛藤病院：85.8%　えとう内科病院：93.2%

・ツロブテロールテープについて
・ツムラ漢方製剤エキス顆粒（医療用）について
・「使用上の注意」改訂のお知らせ
・その他
・CP 換算値

**令和5年8月4日**
・ベタニス錠の説明会
・後発医薬品使用割合
　衛藤病院：85.9%　えとう内科病院：91.3%
・重大な副作用等に関するお知らせ
・販売中止の案内
・限定出荷のお知らせ
・レキサルティ錠について
・CP 換算値

**令和5年9月8日**
・イフェクサー SR カプセルの説明会
・後発医薬品使用割合
　衛藤病院：87.1%　えとう内科病院：94.4%
・新規採用医薬品のお知らせ
・マンジャロ皮下注アテオスについて
・CP 換算値

**令和5年10月13日**
・ツムラ補中益気湯エキス顆粒の説明会
・後発医薬品使用割合
　衛藤病院：86.4%　えとう内科病院：93.9%
・新規採用医薬品のお知らせ
・重大な副作用等に関するお知らせ
・限定出荷のお知らせ
・リスペリドン錠 0.5 ｍｇ「ヨシトミ」について
・ファーストシン静注用バッグについて
・CP 換算値

**令和5年11月10日**
・レケンビ点滴静注の説明会
・後発医薬品使用割合
　衛藤病院：86.1%　えとう内科病院：93.9%
・重大な副作用等に関するお知らせ
・リスペリドン錠 0.5 ｍｇ「ヨシトミ」について
・シプロフロキサシン点滴静注について
・CP 換算値

**令和5年12月15日**
・ユリス錠の説明会

・後発医薬品使用割合
　衛藤病院：86.6%　えとう内科病院：94.0%
・新規採用医薬品のお知らせ
・重大な副作用等に関するお知らせ
・販売中止の案内
・その他
・CP 換算値

**令和6年1月12日**
・レキサルティ錠の説明会
・後発医薬品使用割合
　衛藤病院：86.8%　えとう内科病院：92.6%
・新規採用医薬品のお知らせ
・販売中止の案内
・その他
・CP 換算値

**令和6年2月2日**
・リフヌア錠の説明会
・後発医薬品使用割合
　衛藤病院：85.9%　えとう内科病院：90.9%
・重大な副作用等に関するお知らせ
・販売中止のお知らせ
・その他
・CP 換算値

**令和6年3月15日**
・ベルソムラ錠の説明会
・後発医薬品使用割合
　衛藤病院：86.3%　えとう内科病院：93.1%
・重大な副作用等に関するお知らせ
・販売中止のお知らせ
・その他
・CP 換算値

## 教育研修委員会

### 1. 目的

1. リーダー及び管理監督者の育成

法人は、病院・施設を取り巻く経営環境の変化に対応する人材の育成と能力の開発を図るために、教育委員会を設ける。

### 2. 活動内容

2. 令和５年度新人職員の育成支援及び法人全体の研修実施

入職時研修（上期）、フォローアップ研修（下期）にて社会人としての基本を学習。

今年度も前年度と同様、新型コロナウイルス流行のため、集合研修の実施がなかなかし辛い状況であった。

それを補うため、ｅ - ラーニング研修を実施した。

研修の実施状況については別項「法人内研修実績」のとおり。

## 倫理委員会

### 1. 目的

医療現場における「医師の倫理」「看護者の倫理」の諸問題、「患者の権利」に関する諸問題を明らかにし検討することを目的とする。＜倫理委員会規定第１条＞

### 2. 活動内容

①倫理委員会の開催

委員会の開催は年２回を原則とし、必要に応じて臨時に開催することができる。

＜倫理委員会規定第４条＞

令和５年度は倫理本委員会２回開催

倫理小委員会４回開催

倫理審査会を１回開催

②令和５年度倫理審査内容

＜九州精神医療学会＞

・認知症治療病棟における継続可能な感染予防についての業務改善（A1 病棟）→承認

・新型コロナウイルス感染症における急性期精神病棟での対応と次の感染症への取り組み（A2 病棟）→承認

＜大分県病院学会＞

・自信と責任を持って看護ケアを行いたい

～スタッフの目指す看護を実現するための取り組み～（えとう内科・病棟）→承認

・在宅支援に関わる電話対応の課題と改善

～ ISBAR を取り入れた看護師の情報伝達能力の向上を目指して～（えとう内科・外来）→承認

### 3. 令和５年度倫理研修会実績

・令和５年９月８日（金）

「虐待に関して知っておくべきこと」：講師　大塚精神保健福祉士

・令和６年１月 19 日（金）～１月 30 日（火）

「臨床倫理入門」：院内全体研修コース

（オンデマンド研修）

## 医療材料検討委員会

### 1. 主な活動

①食事用エプロンについて衛生面と作業負担を考慮して使い捨てエプロンを検討する。

1.CSセット（紙おむつ、タオル類、日用品などを日額定額制のレンタルサービス）の導入について、業者Aが食事用エプロンをサービス品として提案するが、シミュレーションの結果、4割以上の患者の負担金額が増加するため、採用を見送る。

2.食事用エプロンの購入について、来年度も継続して検討する。

②物価高に伴う採用商品の値上げについて

翼状針（セーフタッチPSVセット）
テルモシリンジ
ベノジェクト2ルアーアダプタ
その他

③商品の変更

・ペーパータオル
MFイーライフタオル小判200枚入
→　マリヤ　エコノミーペーパータオル200枚入

・ガーゼ
ハイゼガーゼＮＴ－４300枚入
→　サニコットガーゼ200枚入

④備蓄物品について

備蓄用マスク・エプロン・手袋については使用期限を管理して、計画的に備蓄の入れ替えを行う。

## 地域支援活動委員会

### 1. 目的

法人に、地域の医療・介護・福祉・保健のネットワークづくりの一翼を担うために、地域支援活動委員会を設ける。

### 2. 活動内容

◇えとう杯　第38回ゲートボール大会・第28回ミニバレーボール大会
開催予定もコロナウイルス蔓延のため中止

◇判田公民館行事「本宮大学」の開催協力

◎R5年7月19日（水）
第1部「特殊詐欺事件等　高齢者特有の事件事故について」
（講師　大南幹部交番　所長　長谷　剛　氏）
第2部「健康づくりは幸せづくり～コロナ禍をのりこえ　その後は～」
（講師　大南健康支援室　室長　赤野　和美　氏）

◎R5年11月15日（水）
第1部「便秘で悩んでいませんか?おなかの病気を知って、100点満点のウンチを出しましょう」
（講師　医療法人社団親和会　えとう内科病院　医療技術部長　井上　翔太郎　氏）
第2部「いつまでも笑顔を」
（講師　社会福祉法人龍和会　デイサービス課長　渡邊　孝恵　氏）

◎R6年2月29日（木）
人権委員会　「人権とは…　～差別の現実に学ぶ～」
（講師　南大分公民館　社会教育指導員　新見　泰博　氏）

◇判田校区文化祭への参加
R5年11月2日（木）、3日（金）判田公民館にて作品展示
11月3日（金）
もちつき大会参加（補助業務）、 健康相談コーナー（メドマー体験）、タッチケア（ハンドトリートメント体験会）、 お菓子の詰め放題、模擬店　野菜販売、パン販売（てんとうむし）、雑貨販売、コーヒー販売（寿志の里）

◇クリーン作業の実施
毎月第2土曜日　早朝7時30分より定期開催　職員有志による地域のごみ拾い
（平成11年12月より開始、当年度は通算281回～292回）

# 法人内研修実績

**教育研修委員会主催**

| 年　月　日 | 研　修　内　容 |
|---|---|
| 令和５年５月12日・19日<br>６月12日～30日（視聴） | 医療安全管理委員会研修会（衛藤病院）<br>「転棟転落予防対策を現状をもとに根本から問いなおそう」 |
| ６月15日～24日（視聴） | 褥瘡対策委員会研修会<br>「褥瘡ケアの『いろは』から予防・発見・悪化防止の３ステップ」<br>学研ナーシングサポート AA2302 |
| ６月23日～30日（視聴） | 医療安全管理委員会研修会（えとう内科病院）<br>「基礎から学ぶ医療安全」 |
| ７月７日・14日<br>７月18日～31日（視聴） | 医療安全管理委員会研修会（衛藤病院）<br>「転倒・転落発生状況調査書の書き方～提出された具体例をもとに～」 |
| ７月20日・27日<br>８月１日～10日（視聴） | 院内感染防止対策委員会研修会<br>「学び直しの標準予防策（スタンダードプリコーション」 |
| ８月４日<br>８月10日～31日（視聴） | 行動制限最小化委員会主催研修会（衛藤病院のみ）<br>「行動制限とは」 |
| ９月１日～15日（視聴） | 個人情報保護委員会主催研修会<br>「医療従事者が知っておくべき個人情報の取り扱い方」 |
| ９月８日<br>９月13日～30日（GW 配信視聴） | 倫理委員会研修会「虐待に対して知っておくべきこと」 |
| 11月27日 | 「救急蘇生法」 |
| 12月５日<br>12月７日～12月21日（視聴） | 褥瘡対策委員会研修会<br>「褥瘡対策について」監査を受けてからの変更点（伝達）<br>「褥瘡・スキンテア・管理のコツ」 |
| 12月８日 | 医療ガス研修会<br>「医療ガスの安全な取り扱い方法について」 |
| 12月21日 | 院内感染防止対策委員会研修会<br>「冬の感染症について」 |
| 令和６年１月12日<br>１月15日～30日（視聴） | 医療安全管理委員会研修会（衛藤病院）<br>転倒事故減少を目指して医療安全管理委員会の発生状況調査中間報告 |
| １月19日～２月10日（視聴） | 倫理委員会研修会<br>「臨床倫理入門」 |
| １月22日～27日（視聴） | 医療安全管理委員会研修会（えとう内科病院）<br>「チームの力を引き上げる多職種で取り組む医療安全」 |
| ２月５日～25日（視聴） | 行動制限最小化委員会主催研修会（衛藤病院のみ）<br>「事例を実践に活かす行動制限最小化」 |
| ３月１日・３月８日 | 個人情報保護委員会主催研修会<br>「守秘義務、個人情報保護の基礎知識」 |

**診療部医局**

| 年　月　日 | 研　修　内　容 |
|---|---|
| 令和５年　４月28日 | マスクに関する話題について |
| ５月26日 | ワクチンについて |
| ６月30日 | 抗菌薬について |
| ７月28日 | うつ病に対してブレリスプラゾールが奏功した症例について |
| ８月25日 | 転倒・転落について |
| ９月29日 | 患者症例について |
| 11月24日 | 患者症例について |
| 令和６年　１月26日 | 胃ろう栄養の２回投与法と３回投与法の比較について |
| ２月　９日 | AIと医療 |
| ３月29日 | 大分市CKD病診連携システムの紹介基準について |

**診療部栄養給食科（衛藤病院）**

| 年　月　日 | 研　修　内　容 |
|---|---|
| 令和５年　６月28日 | 大分市保健所衛生課『食品衛生管理ついて』伝達講習 |
| ７月27日 | 病院協会栄養部会『病院の栄養管理業務について』伝達講習 |
| ９月27日 | 上期の目標進捗状況について |
| 10月25日 | 災害時の食事提供訓練について |
| 11月22日 | BCPマニュアル＆非常時提供時の対応について |

**診療部栄養給食科（えとう内科病院）**

| 年　月　日 | 研　修　内　容 |
|---|---|
| 令和５年　４月26日 | 部署目標の確認 |
| ５月17日 | 業務改善について |
| ６月28日 | 保健所研修会『衛生管理について』伝達講習 |
| ７月26日 | 感染症対策 |
| 10月25日 | ヒヤリハット事例の改善策の確認 |
| 12月20日 | 感染対策－嘔吐物の処理実演－ |
| 令和６年　３月27日 | 嗜好調査結果について |

**画像検討会**

| 年　月　日 | 研　修　内　容 |
|---|---|
| 令和5年 4月21日 | 69歳男性　鼠径ヘルニアの症例 |
| 5月19日 | 82歳女性　左大腿部の血種の症例 |
| 6月23日 | 88歳男性　左胸壁の膿胸の症例 |
| 7月21日 | 60歳男性　気管支梗塞疑いの症例 |
| 8月18日 | 35歳男性　エコーによる骨折の確認の症例 |
| 9月22日 | 30歳女性　先天性左腎欠損の症例 |
| | 83歳女性　腎臓が複数に見えた症例 |
| | 20歳女性　先天性水腎症の症例 |
| 10月20日 | 73歳男性　食道がんと甲状腺がんの症例 |
| 11月17日 | 97歳女性　イレウスの症例 |
| | 73歳男性　胃がんの症例 |
| 12月22日 | 69歳男性　脾臓、腎臓腫大による他院紹介した症例 |
| 令和6年 1月19日 | 64歳女性　膵臓のSPNの症例 |
| 2月16日 | 92歳女性　気管支奇形の症例 |
| 3月22日 | 76歳女性　動脈破裂の症例 |
| | 75歳女性　クモ膜下出血の症例 |

**放射線**

| 年　月　日 | 研　修　内　容 |
|---|---|
| 令和5年 5月31日 | 日本オートプシーイメージング技術研究会 |
| 6月 9日 | 診療放射線技師×医療安全勉強会 |
| 7月26日 | コニカ　第12回WEBセミナー |
| 7月 1日 | 第25回 全国X線撮影技術読影研究会 |
| 8月26日 | 第15回CTテクノロジーセミナー学術集会 |
| 10月14日 | キヤノンCTユーザー会2023 |
| 11月14日 | 第29回SOMATOM研究会 |
| 11月21日 | 第149回CTテクノロジーセミナー |
| 11月13日～2月 5日 | 令和5年度死亡時画像診断(Ai)研修会 |
| 11月25日 | 令和3年厚生労働省告示第273号研修における実技研修 |
| 令和6年 2月29日 | 令和5年度大分県医療放射線安全管理研修会 |
| 3月13日 | 大分県放射線技師会 第11回臨床技術セミナー |
| 3月18日 | 第25回大分県医療画像情報管理研究会・<br>第14回大分県放射線機器管理研究会 |

**看護部（衛藤病院合同コース）**

| 年　月　日 | 研　修　内　容 |
|---|---|
| オンデマンド研修<br>（上期内視聴） | プリセプターマインド<br>～後輩とともに成長するための心構え～ |
| | 事例からひも解く精神科看護に必要な精神保健・精神障害者福祉の法律知識 |
| | 事例からひも解く服薬アドヒアランス向上のための精神科看護ケア |
| | 理解が進む患者・家族との接し方 |
| | 理解が進む精神科病棟における暴力対策 |
| オンデマンド研修<br>（下期内視聴） | 学び直しの標準予防策（スタンダードプリコーション） |
| | 医療職として働くときのチームワークのあり方 |
| | 理解が進む精神科で知っておきたい医療安全 |
| | 困ったときにも役立つアサーションの実際<br>～多職種・患者・家族との円滑なコミュニケーションを目指す～ |
| | 事例からひも解く精神科看護師が知っておきたい認知症看護 |

**看護部（えとう内科病院　合同コース）**

| 年　月　日 | 研　修　内　容 |
|---|---|
| 令和５年　５月 10 日 | 医療職が育む社会人基礎力の必要性 |
| ６月 10 日 | 現場で役立つ認知症のアセスメントとケア① |
| ７月 10 日 | 現場で役立つ認知症のアセスメントとケア② |
| ８月 10 日 | メンバーシップ・フォロアーシップ<br>～みんなでつくる働きやすい看護チーム～ |
| ９月 10 日 | 〈医療安全〉認知症ケアにおける医療安全 |
| 10 月 10 日 | 〈倫理〉認知症患者の日常ケアで生じる倫理的課題 |
| 11 月 10 日 | 〈虐待〉高齢者虐待における病院の役割 |
| 令和６年　１月 10 日 | チーム医療の極意～専門職がもちたいリーダーシップの考え方～ |
| ２月 10 日 | 頑張っているあなたに知ってほしいセルフ・コンパッションのすすめ |
| ３月 10 日 | 病院における災害シュミレーション |

**看護部（介護士コース）**

| 年　月　日 | 研　修　内　容 |
|---|---|
| 令和５ 年５月 16 日 | 新医療人のためのビジネスマナー |
| ６月 20 日 | チームの一員としての看護補助者業務の理解<br>～業務範囲と役割、夜間業務、ほう・れん・そう～ |
| ７月 18 日 | 接遇・マナーの基本～患者・家族へのかかわり方～ |
| ８月 15 日 | 守秘義務、個人情報保護の基礎知識～ |
| ９月 19 日 | 環境整備～ベットメーキング、リネン交換など～ |
| 10 月 17 日 | 入浴のお世話 |
| 11 月 21 日 | 排泄のお世話～排尿・排便のお世話、おむつ交換など～ |
| 12 月 19 日 | 食事のお世話～食事介助基本～ |
| 令和６年 １月 16 日 | 口腔ケア |
| ２月 20 日 | 移動のお世話～歩行・車椅子・ストレッチャー・スライディングボード～ |
| ３月 19 日 | 認知症患者の対応 |

**看護部（新人コース）**

| 年　月　日 | 研　修　内　容 |
|---|---|
| 令和５年 ５月 ９日 | 新医療人のためのビジネスマナー |
| ６月 13 日 | 感染予防～手指衛生、標準予防策など～ |
| ７月 11 日 | 患者さんの変化を見逃さない！<br>患者さんと心臓の動きから理解する心電図モニター |
| ８月８日 | 患者が見えるケアが伝わる看護記録 |
| ９月 12 日 | 安全で安楽な排痰吸引技術をモノにする |
| 10 月 10 日 | 『わかる』が『できる』になる急変対応<br>～新人看護師のあなたにできる第一歩～ |
| 11 月 14 日 | 事例で学ぶ！優しい看護過程 |
| 12 月 12 日 | フィジカルアセスメントの戦術～どう着目し、どう進めるか～ |
| 令和６年 １月 ９日 | みえないニーズをとらえよう<br>～精神的・社会的・スピリチュアルニーズのとらえ方～ |
| ２月 13 日 | 転棟・転落予防のためのアセスメントを知ろう |
| ３月 12 日 | 医療職として働くときのチームワークのあり方 |

# 衛 藤 病 院

## 相談支援事業所はんだ

## グループホーム

# 施設紹介

**衛藤病院の概要（令和6年4月1日現在）**

・名　　称　　医療法人社団親和会　　衛藤病院
・所 在 地　　大分県大分市大字上判田 3433 番地
・診療科目　　精神科・老年精神科・内科
・病 床 数　　232 床
・病棟機能　　精神一般病棟（2 病棟）……120 床
　　A2 病棟（急性期対応可）…… 60 床
　　B 病棟（合併症対応可）…… 60 床
　　精神療養病棟（A3 病棟）…… 60 床
　　認知症治療病棟（A1 病棟）…… 52 床

・施設基準　　精神病棟入院基本料（15 対 1）
　　精神療養病棟入院料
　　認知症治療病棟入院料 1
　　入院時食事療養（Ⅰ）
　　薬剤管理指導料
　　精神科作業療法
　　精神科デイ・ケア（大規模なもの）
　　精神科ショート・ケア（大規模なもの）
　　精神科ショート・ケア（小規模なもの）
　　精神科デイ・ナイト・ケア
　　重度認知症デイケア
　　医療保護入院等診療料
　　がん治療連携指導料
　　精神科退院時共同指導料 1・2

・加　　算　　看護配置加算
　　看護補助加算 1
　　療養環境加算
　　救急医療管理加算
　　精神科応急入院施設管理加算
　　療養生活環境整備指導加算
　　精神科身体合併症管理加算
　　精神科地域移行実施加算
　　精神科救急搬送患者地域連携受入加算
　　後発医薬品使用体制加算 3
　　患者サポート体制充実加算

・そ の 他　　病院機能評価認定病院
　　医師臨床研修指定協力型病院
　　（大分岡病院、アルメイダ病院）
　　医療観察法指定通院医療機関
　　おおいた子育て応援団認証企業

# 委員会活動報告

## 患者行動制限最小化委員会

### 1. 目的

当院入院患者で、長期にわたり行動制限を実施している症例について、隔離及び身体拘束の適用の妥当性並びに実施時間の妥当性を定期的に検討するため、患者行動制限最小化委員会を設置する。

### 2. 活動内容

①1回目

テーマ「行動制限とは」

集合研修：令和5年8月4日（金）

オンデマンド研修会：令和5年8月10日（木）～8月31日（木）

参加者：183名（衛藤病院のみ）　伝達率100%

2回目

テーマ「事例を実践に活かす行動制限最小化」

オンデマンド研修会：令和6年2月5日（月）～2月25日（日）

参加者：207名（衛藤病院のみ）　伝達率100%

②委員会開催状況

日　時：毎月第3月曜日　16：00～17：00

場　所：衛藤病院10階研修室

出席者：宇都宮副院長、吉田（PSW）、足立（看護師）、近乗（看護師）、渡邊（看護師）、河村（看護師）、岩川（看護師）

【議事】

1）各病棟での隔離及び拘束者の現状報告

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 隔離 | A2 | 13(8) | 11(9) | 11(10) | 12(9) | 8(8) | 11(9) | 12(10) | 10(8) | 13(9) | 10(10) | 10(8) | 10(8) |
| | A3 | 5(5) | 5(5) | 5(5) | 5(5) | 5(5) | 5(5) | 5(5) | 4(4) | 4(4) | 4(4) | 4(4) | 4(4) |
| | B | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 拘束 | A1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | A2 | 2(2) | 2(2) | 2(2) | 2(2) | 3(3) | 2(2) | 2(1) | 2(2) | 2(2) | 3(2) | 3(3) | 2(2) |
| | A3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | B | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

※（　）一か月間以上隔離拘束者数

2）行動制限者の報告と検討

検討にて、すべての隔離・拘束は適正に行われていることを確認する。

3）医療保護入院・措置入院患者の入院の妥当性に関する検討会の取り組みの実施

4病棟にて計34件検討会を実施する。

4）行動制限最小化に繋がった取り組み事例の報告をして情報を共有する。

### 3. 今後の課題

・引き続き患者行動制限最小化の妥当性に取り組む。

・隔離・拘束者の行動制限最小化に成功した事例を職員全体で共有する。

・隔離・拘束解除の事例を蓄積する。

## 医療安全管理委員会

### 1. 目的

わが国では医療事故は一般に、職員個人の資質、注意力不足に起因するとの理解のもとに、職種別・部署別などバラバラの縦割り体制のもとで対処され、不定期的にマスコミによる問題提起を受けている。しかし、最近ようやく法律をも含めた全面改革が開始された。

当院でも、この流れにそうかたちで、医療安全管理者のもとに医療安全管理委員会をもうけ、職種横断的、かつ病院全体を一体としての医療安全活動が開始された。具体的には、医療安全推進担当者を部署ごとに配置し、事実上、これを組み入れた形で医療安全管理委員会をもうけ、日常活動を行っている。

### 2. 活動内容

(1) 委員会

毎月１回、第１水曜日に委員会を開催した。会は、定例議題及び特別議題を中心に検討・実行した。

1) 定例議題：提出された各種報告書、ヒヤリ・ハット報告書・医療事故報告書・院内暴力被害報告書などの検討、院内ラウンドから得られた各種問題点の検討などを行った。

2) 特別議題：当日、委員から提出された定例議題以外の各種問題の検討を行った。

(2) 一般職員から提出された各種報告書の受理・コンピュータ入力・分析及び対応策の検討・実践を行った。主な報告書は次の３種である。

1) ヒヤリ・ハット報告書

2) 医療事故報告書

3) 院内暴力被害報告書

(3) 特別テーマ：転倒・転落の当院における実態の調査と改善策の作成、並びに実行をテーマに2023年５月から全院的に活動している。

(4) 担当委員による院内ラウンドを２ヶ月に１回実施し、各部署の医療安全面からの評価と対応を具体的に行った。

(5) 全職員必修の研修会。年２回開催（映像による再演を加えると年４回）。

1) 令和５年５月12日　「転倒予防対策を現状をもとに根本から問いなおそう」
講師：永山医師
（本講演は令和５年１月に行われる予定であったが、コロナ流行の関係でこの日に延期実行された。）

2) 令和５年７月７日　「転倒転落発生状況調査書の書き方」
講師：梅木看護師

3) 令和６年１月12日　「転倒事故減少を目指して～発生状況調査の中間報告として～」
講師：永山医師

(6) 情報誌「アクシレス」。冊子形式で不定期的に発行。

(7) 広報紙「ピース」。３ヶ月に１回発行。
第69号　令和５年６月発行　「ヒヤリ・ハット報告書について」他。

第 70 号　令和 5 年 8 月発行 「病棟別ヒヤリ・ハット提出情況、抗精神病配置変更」他
第 71 号　令和 5 年 11 月発行 「転倒・転落発生状況調査開始」
第 72 号　令和 6 年 3 月発行 「オレンジデイがコードブルーシステムに追加加入」他

(8) ご意見箱によせられた患者・家族からのご意見に対する委員会の返事。壁新聞形式で、月1回発行した。

ご意見箱を単なる苦情受け付け箱としてではなく、患者及び関係者に対する広報・啓蒙・交流活動の一環と位置づけ、誠実・丁寧な回答を心がけている。

## 院内感染防止対策委員会

### 1. 目的

院内感染防止に万全を期するために、院内感染防止対策委員会を設けることとする。

### 2. 活動内容

①委員会（1 回／月：第 3 木曜日　必要に応じ臨時会議）を開催

・新型コロウイルス感染症 5 類移行に伴い、感染対策の振り返りや対応の見直し
・輸液管理時の微生物侵入に注意し、清潔操作の徹底
・抹消からの持続点滴管理中のサーフロ差し替えのタイミング
・インフルエンザやコロナクラスター対応や振り返り
　等を主な議題とし話し合った

②全職員を対象に勉強会（4 回／年）を開催

・上期：テーマ「学び直しの標準予防策（院内全体コース）」
　1 回目（集合研修）令和 5 年 7 月 20 日
　2 回目（集合研修）令和 5 年 7 月 27 日
　　参加率　48.8％
　　個人視聴とテスト　100％
・下期：「冬の感染症」えとう内科部長　　ICD 糸永先生
　1 回目（集合研修）令和 5 年 12 月 21 日
　2 回目（資料による研修：学びや感想を記入）
　　参加率　26.96％
　　伝達率　100％

③院内感染症細菌検出レポート（1 回 / 週）を発行

・毎月担当医指示の患者に対し、尿・痰の培養検査を行う
・陽性者（MRSA・緑膿菌・ESBL 産生菌）を 1 週間ごとに挙げてレポートにまとめ、抗菌薬感受性率を毎月集計する

④感染情報：大分県・大分市感染症発生動向（1 回 / 週）を発行

・情報は全職員で共有できるように指定箇所（食堂）に掲示する
・職員が情報共有しやすいようにグループウェアに掲載する

⑤病棟内のラウンドを行い報告書にまとめ、委員会で報告する

・ラウンドを行う部署の担当を決め、年 4 回ラウンドを行う
・5 月、8 月、11 月、2 月、に実施（各部署毎にコメントを記載）

⑥肝炎ウイルスキャリアと梅毒反応陽性者の検出レポート（1 回 / 月）を記載する

・病棟日誌に繁栄されている感染者の状況を毎日チェックする
・情報は、各病棟の指定箇所に掲示する

⑦院内感染防止対策チェックリストに基づき（1 回／月）チェックを行う

・病棟ごとに手洗いなどの感染予防策をはじめ、14 のチェック項目において、評価を行う
・手洗いによる洗い残し箇所を各自で把握し、手洗いの仕方を見直すことができるように手洗いチェッカー活用する（1 回 / 年）
・手指消毒液（携帯用・設置用）の使用量チェックを行い、使用量の少ない職員には指導を行う（1 回 / 月）

⑧マニュアルの読み合わせと改訂（随時）

・指針、規定、組織の見直し

・マニュアルの全項目の見直しと現状に合わせた改訂
・患者や家族向けの感染症発生の説明とお願い書式作成（飛沫・空気・接触感染対策）

⑨感染性廃棄物の処理管理
・マニュアルに沿って、感染性廃棄物の処理・管理を行う
・ラウンドにて廃棄物の分別が不十分であると指摘された部署に関しては、各病棟へ周知徹底行う

⑩院内感染情報シートを感染症発生時に各部署で記入し、実務担当者に報告する
委員会で報告し感染症の発生について共有を行った
・ 4月：新型コロナウイルス感染症（職員1名／職員家族1名）
・ 5月：インフルエンザ（職員1名／職員家族3名）
新型コロナウイルス感染症（職員1名／職員家族2名）
RSウイルス感染症（職員家族1名）
・ 6月：インフルエンザ（職員家族1名）
新型コロナウイルス感染症（職員3名／職員家族3名）
・ 7月：インフルエンザ（職員1名／職員家族2名）
新型コロナウイルス感染症（職員2名／職員家族3名）
・ 8月：新型コロナウイルス感染症（職員5名／職員家族9名）
・ 9月：インフルエンザ（職員2名／職員家族3名）
新型コロナウイルス感染症（職員2名／職員家族6名）
・10月：インフルエンザ（職員家族9名）
・11月：インフルエンザ（職員2名／職員家族2名）
新型コロナウイルス感染症（職員家族1名）
・12月：インフルエンザ（職員5名／職員家族25名）
新型コロナウイルス感染症（職員3名／職員家族3名）
疥癬（入院患者1名）
感染性胃腸炎（職員4名）
・ 1月：インフルエンザ（入院患者36名／職員15名／職員家族12名）
新型コロナウイルス感染症（入院患者47名／職員17名／職員家族9名）
・ 2月：インフルエンザ（職員1名／職員家族6名）
新型コロナウイルス感染症（入院患者17名／職員10名／職員家族8名）
感染性胃腸炎（職員家族1名）
・ 3月：インフルエンザ（職員家族3名）
新型コロナウイルス感染症（職員3名）

≪令和5年度　　年間感染者数≫
・インフルエンザ（入院患者36名／職員27名／職員家族66名）
・新型コロナウイルス感染症（入院患者64名／職員47名／職員家族45名）
・RSウイルス感染症（職員家族1名）
・疥癬（入院患者1名）
・感染性胃腸炎（職員4名／職員家族1名）

⑪院内感染だより発行　　年4回
1回目　　5月　　食中毒を防ごう・新型コロナウイルスが5類感染症へ移行
2回目　　8月　　最近注目の感染症について
3回目　11月　　インフルエンザと新型コロナの同時感染について
4回目　　2月　　感染対策には手洗い（基本のふりかえり）

⑫季節性流行疾患の啓発
・ノロウイルス感染時の吐物の処理方法のデモストレーションを各部署で行う

## 褥瘡対策委員会

### 1. 目的

1）褥瘡対策のための十分な対策の整備。
2）褥瘡対策に関する具体的対策の検討及び推進。
3）褥瘡対策に必要な体圧分散寝具・用具の適切な使用と管理。
4）褥瘡対策のための研修及び教育。

### 2. 活動内容

1）褥瘡回診

日　　時：毎月第１火曜日　　14：30～　褥瘡対策委員メンバー
　　毎月第３火曜日　　14：30～　新垣専任医師と病棟の褥瘡委員
内　　容：各病棟を回りながら実際の症例を観察し、創の治癒経過や処置の内容、ケアの状況等、対策について検討した。

2）研修会の実施

（1 回目）令和 5 年 6 月 15 日～ 6 月 24 日の視聴期間
テーマ：「褥瘡ケアのいろは」
e ラーニングシステム（AA2302）
視聴率：85%　（203 人中 172 人視聴）　資料による伝達 31 人　全伝達率：100%

（2 回目）令和 5 年 12 月 5 日（火）17：40 ～
テーマ：「①褥瘡対策について」監査を受けてからの変更点
　　②褥瘡・スキンテア・管理のコツ」
アポットジャパンライブセミナー
参加率：25.74%　　伝達率：98%

3）褥瘡の予防と管理

褥瘡の症例に関しては、年間で新規発生状況は前年度 40 名（1.47%）から 37 人（1.37%）に、平均褥瘡率は前年度 3.98% から 3.15% に減少している。褥瘡の深さはⅡ度以下で治癒期間は 1 ヶ月以内 42%、3 ヶ月以内 95%、3 ヶ月以上（4%）であった。新規発生者は昨年度より減少し、治癒期間も 3 か月以内がほとんどを占めた。これは、褥瘡発生から早期に治療開始し、適切なマットレスの使用や除圧に努めた結果である。だが、コロナ感染症によるクラスターが発生すると十分な看護体制が組めず褥瘡の発生率があがり、主に仙骨、踵部の発生がみられた。しかし 3 か月以内ほぼ治癒し深さはⅡ度以下であった。

今後も感染症による発生があった場合、患者の身体面や栄養面に注意を行い、早期に適切なマットレスの選択や除圧に心がけ、褥瘡をつくらない予防的教育の強化が必要だと考える。

・褥瘡の有病率
　A-1 病棟 3.75%　A-2 病棟 3.85%　A-3 病棟 2.51%　B 病棟 2.58%　全体 3.15%
・褥瘡の発生率
　A-1 病棟 2.44%　A-2 病棟 1.48%　A-3 病棟 1.11%　B 病棟 0.57%　全体 1.37%

4）体圧分散寝具の管理

・体圧分散寝具・用具の修理・購入・破棄報告

| 種　類 | 名　称 | 理　由 | 台　数 |
|---|---|---|---|
| 耐圧分散寝具（エア系） | エアドクター（マット） | 修理 | 1 台 |
| | エアドクター（ポンプ） | 修理 | 4 台 |
| | エアドクター（マット） | 購入 | 2 台 |
| | エアドクター（ポンプ） | 購入 | 2 台 |
| | プライム（マット） | 修理 | 0 台 |
| | プライム（ポンプ） | 修理 | 3 台 |
| | プライムレボ（マット） | 購入 | 2 台 |
| | プライム（ポンプ） | 購入 | 2 台 |
| | アドバンポンプ | 修理 | 1 台 |
| | ステージア（マット） | 購入 | 1 台 |
| | ステージア（ポンプ） | 購入 | 1 台 |
| | ステージア（ポンプ） | 購入 | 1 台 |
| 車いす用クッション | Gel-T クッション | 破棄 | 21 台 |
| | シーポスクッション | 購入 | 12 台 |

## 給食委員会

### 1.目的

医療の一環として、それぞれ患者の病状に応じて必要とする栄養量が与えられ、食事の質の向上と患者サービスの改善を目的とする。

### 2.活動内容

1.委員会の開催状況・・・毎月開催

第１回　・令和5年　4月11日　開催
第２回　・令和5年　5月23日　開催
第３回　・令和5年　6月13日　開催
第４回　・令和5年　7月11日　開催
第５回　・令和5年　8月 8日　開催
第６回　・令和5年　9月12日　開催
第７回　・令和5年 10月17日　開催
第８回　・令和5年 11月14日　開催
第９回　・令和5年 12月12日　開催
第10回　・令和6年　1月 9日　開催
第11回　・令和6年　2月13日　開催
第12回　・令和6年　3月12日　開催

### 3.主な検討事項

- 喫食状況報告
- 各病棟の食種人数・食事形態別人数報告
- 褥瘡患者の栄養状態、生活習慣病及び肥満患者の栄養管理についての報告
- 栄養指導、栄養教室についての報告
- 付加食利用者の状況報告
- 嗜好調査結果及びご意見箱の食事希望への対応についての報告
- 行事食のお知らせ、及び希望食の聞き取り調査実施、餅の提供など検討
- 食事形態ごとの食材の大きさや、粥の濃度など見直しを行った
- 内科親和園と同日同じ献立とし、集団感染時に対応できるよう対策を行った
- 食材費の高騰について報告
- 食中毒注意報発令についてお知らせ
- 非常時用に、患者食事一覧表を毎月1回各病棟に配布することを決定した
- コロナウイルス感染時の食器の取り扱いについて見直しを行った
- 温冷配膳車が購入後14年経過しており老朽化にて買い替えを検討

## 個人情報保護委員会活動

### 1. 目的

当院における個人情報保護の適正化のために行う。

個人情報保護規定は衛藤病院個人情報保護方針に基づいて、当院が取り扱う個人情報の適切な保護のための基本規定である。当院職員はこの規定に従って個人情報を保護していかなければならない。

### 2. 活動内容

⑴ 委員会開催

個人情報保護小委員会（奇数月第4月曜日開催）

第1回　令和5年　5月22日（月）
第2回　令和5年　7月24日（月）
第3回　令和5年 11月27日（月）
第4回　令和6年　1月22日（月）
第5回　令和6年　3月25日（月）

⑵ 主な検討事項

○個人情報保護取り扱い報告書について
○各部署からの検討事案について（FAX、メモの取り扱い等）
○電子カルテのログオフ忘れ防止のためのラウンド
○個人情報保護法に関する研修会について

## 医療ガス安全管理委員会

### 1. 目的

医療法人社団親和会衛藤病院における医療ガス（診療の用に供する酸素、吸引等をいう。）設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的とする。

### 2. 活動内容

第１回　定期委員会

開　　催：令和５年９月14日
出　　席：病院長、監督責任者（副院長）、実務責任者、看護部長、A1病棟師長、A2病棟師長、Ａ３病棟師長、外来師長、薬剤師、事務員
議　　題：1）医療ガス設備の保守点検に関わる件
■令和５年５月医療ガス設備定期点検報告書（3ヶ月点検）
実 施 日：令和５年５月23日
点検結果：補給水槽内の汚れ、吸引フィルターエレメントの汚れ
→補給水槽内の清掃を行う
※※吸引ポンプ２台の分解整備を行う※※
実 施 日：令和５年５月18～19日
■令和５年８月医療ガス定期点検報告書（6ヶ月点検）
実 施 日：令和５年８月22日
点検結果：異状なし

第２回　定期委員会

開　　催：令和６年３月１日
出　　席：病院長、監督責任者（副院長）、実務責任者、看護部長、A1病棟師長、A2病棟師長、Ａ３病棟師長、外来師長、薬剤師、事務員
議　　題：1）医療ガス設備の保守点検に関わる件
■令和５年11月医療ガス設備定期点検報告書（3ヶ月点検）
実 施 日：令和５年11月22日
点検結果：吸引フィルターエレメントの汚れ
■令和６年３月医療ガス定期点検報告書（12ヶ月点検）
実 施 日：令和６年２月27日
点検結果：吸引フィルターエレメントの汚れ

医療ガス安全管理研修会

開　　催：令和５年12月８日
研修会名：「医療ガスの安全な取り扱い方法について」
講　　師：江藤酸素株式会社
対　　象：法人全職員

## 医療社会福祉委員会

### 1. 目的

医療社会福祉委員会は、入院患者の社会復帰支援・地域生活への推進を目的として、入院中より患者の退院後の自立した生活を視野に入れ、個別的で具体的な指導・訓練内容を多職種で話し合い、実践を目指して活動をしている。また、患者家族に対して退院後の患者の援助・連携が円滑に進むよう家族交流会（疾病教育等）を行っている。

### 2. 活動内容

・毎月第3火曜日又は水曜日に開催
（主な議題）
・わかば会の実施方法とメンバー検討
・長期入院患者退院支援についての検討（地域移行実施加算）

・家族交流会の開催
○令和5年6月はコロナウイルスの影響の為中止。
○令和5年9月開催「障害福祉サービスについて」　講師：木本精神保健福祉士
○令和5年12月開催「患者さんと考える！今の生活とこれからの生活～“ドーナッツ”について～」
講師：甲斐公認心理師
○令和6年3月開催「精神科作業療法～作品作りとリハビリ～」講師：工藤作業療法士
＊令和6年3月開催の家族交流会については、参加家族がいなかった為中止。

・（令和6年度）家族交流会開催予定
○令和6年 6月開催予定　講師：精神保健福祉士
○令和6年 9月開催予定　講師：医師
○令和6年12月開催予定　講師：薬剤師
○令和7年 3月開催予定　講師：管理栄養士

## 診療情報管理委員会

### 1. 目的

診療報情報管理を円滑に運営することを目的とし、診療録の管理・保存・貸し出し状況の把握をする。

### 2. 活動内容

委員会の開催状況
令和５年４月 18 日、７月 18 日、10 月 17 日、令和６年１月 16 日
出席者　診療部長、看護部長、システム部、病棟師長、外来看護師、福祉課、薬剤師、管理栄養士、放射線技師、事務課員

【議事】
1）診療情報録の貸し出しについての報告
2）退院サマリーの提出状況についての報告
3）カルテ庫の温湿度管理についての報告
4）カルテ庫の状況
5）診療記録監査（９月・３月）報告

その他
1）サブカルテしかない患者の場合、カルテ庫よりサブカルテを持ち出した場合は、管理簿に「サブカルテ」と明記する
2）電子カルテは永久保存であるが、サブカルテは永久保存でないため、サブカルテに残す書類を今後検討する
3）直接業務に関係のない患者のカルテを閲覧した場合に記載する「閲覧記録用紙」を作成し、全部署統一とした
4）不正利用防止対策のため、定期的なパスワードの変更やログアウトの徹底を職員へ周知した

### 3. 今後の課題

引き続き診療情報管理を円滑に運営するための取り組みをおこなう。

## 医薬品・医療機器安全管理委員会

### 1. 目的

病院管理者は、医薬品の使用に際して次に掲げる体制を確保し、医薬品に係る安全管理のための体制を確保しなければならないものとする。

### 2. 活動内容

令和5年6月27日（火）　15：00～15：30
1）薬局より新たな情報・お知らせ
①院内医薬品一覧表の改訂
②ラゲブリオカプセル同意取得に関する承認条件解除
③ビペリデン散出荷停止、パンテチン散限定出荷、イソプロピルウノプロストン点眼液供給一時停止
④エバスチンをなくしオロパタジン予定
⑤ビソルボン販売中止→ブロムヘキシン
2）医療機器の保守について
①機器の自主点検の継続及び点検表の提出
②新人職員への機器の取り扱いの研修についての報告書の提出

令和5年9月26日（火）　15：00～15：30
1）薬局より新たな情報・お知らせ
①院内医薬品一覧表の改訂
②炭酸リチウム「アメル」販売中止のため「大正」に変更
③フロジン外用液限定出荷
④連休前の小刻み・臨時処方の払い出しについて
⑤医療安全情報（バッグ型キット製剤の隔壁の未開通）
2）医療機器の保守について
①機器の自主点検の継続及び点検表の提出
②各病棟医療機器一覧表の見直し
③機器の取り扱いの研修、救急の研修の記録用紙の提出

令和5年12月26日（火）　15：00～15：30
1）薬局より新たな情報・お知らせ
①院内医薬品一覧表の改訂
②ニフェジピンL「三和」販売中止→「サワイ」に変更
③ファーストシン静注用バッグ販売終了2024年7月頃
④スクロードパスタ、ピコスルファートナトリウム内用液、リスペリドン0.5mg、アリピプラゾール限定出荷
⑤DSU：リバスタッチパッチ、アセトアミノフェン、リクシアナ、ワーファリン
2）医療機器の保守について
①機器の自主点検の継続及び点検表の提出
②新人職員への機器の取り扱いの研修について

令和6年3月26日（火）
1）薬局より新たな情報・お知らせ
①院内医薬品一覧表の改訂
②コロネル錠販売中止
③ファーストシン静注用バッグ販売終了7月から4月に変更
④イソプロピルウノプロストン点眼液販売中止

⑤ピコスルファートナトリウム内用液が規制のためA2とB病棟はラキソベロン内用液で対応
⑥DSU：セルトラリン、ダイアモックス、コートリル、プレドニゾロン、ソル・メドロール静注用
2）医療機器の保守について
①機器の自主点検の継続及び点検表の提出
②各病棟医療機器一覧の見直し
③3/26心電図モニター、12誘導心電図、セントラルモニター取り扱いについてフクダ電子より研修を行った
④2/27保健所立ち入り調査報告→特に指摘事項はなかった

## チーム医療推進委員会

### 1. 目的

医療が高度化・複雑化する現状において、患者に良質な医療の提供を行うためには多職種がそれぞれの専門性を発揮し、協同・補完し合う体制が必要である。このような基本的考えの下、看護職員が医療の中で専門業務をより効率的に実施できる体制をつくるために、適切な人員配置や業務分担を行うことで、看護師の負担軽減及び処遇の改善を目的とする。

### 2. 活動内容

Ⅰ.第1回定期委員会
開催　令和5年12月14日（木）　16：30～17：30
議題　令和5年度の経過報告及びその他の諸連絡
【経過報告】
≪目　標①≫　配膳担当の見直し
配膳車を病棟へ運んだり、厨房へ持って行くのに15分～30分ぐらいかかる。
≪途中経過≫　⇒昼と夜だけ、給食職員が厨房へ持って行く。
（10分～15分ぐらい短縮できたのではないか）
≪目　標②≫　決裁伺いの規程再作成とシステム導入
決裁伺い後に人が動いて押印してもらいに回る為、時間がかかる。
≪途中経過≫　規程の再作成がまだ行えていない。
【その他】
今回の目標が、看護職員にアンケートをとって実際どのくらい短縮されているかを文書で残す。
⇒年度内にアンケートを配布予定。

Ⅱ.第2回定期委員会
開催　令和6年3月14日（木）　16：00～16：30
議題　令和5年度の最終報告と次年度の取組について
【最終報告】
問題①について
配膳車を給食職員が対応することで、15分ぐらいの時間短縮となり、その分他業務を行えるようになった。
問題②について
決裁伺いの新たな規程の内容精査中⇒未完成。
【令和6年度の取組について】
・ベッドが古いものが多く、腰にかなり負担がかかるし業務効率も悪い。
⇒電動ベッドへの順次切り替え。
・患者様が高齢化しているが、機械浴もなく、一人一人の入浴に時間がかかる。
⇒ミスト浴導入。
・患者様の情報共有にPSWが申し送り等に参加してもらえないと、時間がかかる。
⇒各病棟の申し送りに月2回は出席し、情報を共有する。

# 学会発表

| 年　月　日 | テーマ | 学会名 |
|---|---|---|
| 令和5年9月15日～9月17日 | クライシスプランを用いた自殺再企図防止のための介入過程<br>－クライシスプラン作成過程で語りを聞くことの治療的意義－ | 第47回日本自殺予防学会総会 |
| 10月19日 | 認知症治療病棟における継続可能な感染予防についての業務改善 | 第68回九州精神医療学会 |
| 10月20日 | 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行下における、精神一般病棟でのスタッフの精神的変化と感染への取り組みと振り返り | 第68回九州精神医療学会 |

## クライシスプランを用いた自殺再企図防止のための介入過程 - クライシスプラン作成過程で語りを聞くことの治療的意義 -

○岡部航大、衛藤龍
医療法人社団親和会衛藤病院

### 1. 目的

日本の自殺率は低下傾向だが、先進国では依然として高い水準で（内閣府, 2022）、公衆衛生の重要課題の一つである。自殺の危険因子の中で最も明確な因子は自殺未遂の既往であることから自殺再企図を防ぐことは、自殺予防対策の主要課題と言える（河西, 2016）。日本精神神経学会精神保健に関する委員会（2013）も、自殺未遂者の地域移行時に心理的危機に陥った場合の対処法を具体的に検討することを推奨している。

クライシスプラン（以下 CP-J）は「安定した状態の維持、また病状悪化の兆候がみられた際の自己対処と支援者の対応について病状が安定している時に合意に基づき作成する計画」（野村 ,2017）である。CP-J は事前に病状が悪化した場合の対処を検討する点で日本精神神経学会の提言（前述）と類似しており、自殺再企図予防の取り組みとして有用と推察されるが、あまり研究されていない。

本研究では CP-J を用いて自殺再企図予防を試みた事例について検討し、CP-J の有用性および自殺再企図を防ぐ上で何が寄与したのかを考察する。本事例の提示について個人情報保護等の旨、文章にて説明し、同意を得た。また著者の所属する法人内の倫理委員会の審査を受け、承認を得た。本演題に関連して開示すべき利益相反関係にある企業等はない。

### 2. 事例

1）事例の概要

対象者 A は 40 代男性。人間関係のもつれから自傷行為を行い、B 総合病院に緊急搬送。身体的治療後に精神科での加療必要性を指摘され、C 病院を受診。

2）経過

第 1 期は抗精神病薬を漸増しながら心理検査導入したが、自殺企図のきっかけになった相手と再度トラブルになり、自殺再企図。第 2 期は薬物療法と精神療法で状態の安定を図りながら CP-J を作成。A からトラブルが生じた人間関係から距離をとる等の対処が提案。第 3 期では日常生活で生じた問題と CP-J のすり合わせを行い、日常生活に合わせた修正を実施。以後、自殺再企図につながる危険の高い問題が生じても自殺再企図することなかった。「また飲めるようになれたらと思う自分もいる」と語られた。

### 3. 考察

第 1 期での自殺再企図は十分量の服薬に至っていなかったことに加えて対人トラブルに対処することができなかったためと推察された。第 2 期では服薬・精神療法で A の安定を図りながら CP-J 作成過程で自殺行為の振り返りと対処法の確認することで同様の事態に陥った場合の対処法についても具体的に検討すること（日本精神神経学会, 2013）ができ、対処能力が向上したと考えられた。第3期では日常生活に基づいて検討することで様々なストレスに対応できるようになり、自殺再企図が予防されたと考えられた。

CP-J を作成時に心理的危機に陥った状況等を検討した。小松（2018）が「セラピストに向けて語ることを通じて、経験の新しい構成を行い、経験についての新しい気付きを生む」と示唆しており、本例でも CP-J 作成の中で相手への思慕の念という新しい気付きを得たと推察された。

## 認知症治療病棟における継続可能な感染予防対策に向けた業務改善の取り組み

○大森康平（Ns）、鶴原裕子（Ns）、鈴木恵子（Ns）、宮崎優子（Ns）、大野やよい（Ns）、衛藤龍（MD）、影山孝之（大分県立看護科学大学）　大分県　医療社団親和会　衛藤病院　A1 病棟

**〈目的〉**

2022 年 7 月下旬から 8 月までの約 1 か月間新型コロナウイルス感染症のクラスターを経験し、病棟内の感染予防対策を見直す必要性を痛感した。そこで「意思疎通が難しい患者や援助の必要な患者が多い病棟でも継続可能な感染対策の検討」と「それをふまえて有効な感染予防対策に向けた業務改善を試みる事」の 2 つを目的とし業務改善の経過と質問紙調査によって得られた問題点を、考察を交えて報告する。

**〈業務改善の実際〉**

2023 年 1 月に感染予防に関する病棟カンファレンスを実施。その中でトイレ後の手洗いが十分で行えていないのではないか。職員は都度アルコール消毒や手洗いをしているが患者はできていないのではないか。ホールでの食事をする為のテーブルは食後にスタッフが消毒しているが自室で食事をする患者用の床頭台は何もされていないので、同じように消毒した方が良いのではないか等の意見が出た。その結果、2 月より①患者のトイレ後の手洗いの習慣化に向けての声掛けと援助、②食前のアルコール手指消毒、③食前後の床頭台の消毒を開始した。

**〈研究期間〉**

2023 年 1 月 ~2023 年 7 月

**〈調査対象〉**

当病棟職員 28 名

**〈調査方法〉**

無記名自記式質問紙調査 23 名（82%）から回答を得た。

質問内容は① ~ ③までの各業務について、実施しにくい点、実施時の患者への援助の必要度、及び、今後も継続して徹底する為に必要な事の 3 点について質問する。

**〈結果〉**

①トイレでの手洗いについて実施しにくいと感じた職員は 7 名 30% で、その理由は患者が手を出してくれない、手を拭く物が準備されていなかった等が理由として多かった。必要とした援助について、行く方法に関してはスタッフが声をかけ、誘導を行ったが一番多く、動作に関しては職員が援助して行ったが 12 名 63% と一番多い結果でした。今後も継続する為には、物品の準備に課題があることが指摘された。

②食事前の手指消毒について、実施しにくいと感じた職員は 14 名 61% で、その理由はなかなか患者が手を出してくれない、手をすり合わせる動作をしないことがあった等が理由だった。必要だった援助は、「動作」に関しては「職員が持っていったら、手を出して消毒した」が 11 名 73% と一番多い結果となった。今後の継続には、職員の意識に課題があることが推察された。

③床頭台の消毒について、実施しにくいと感じた職員は 12 名 52% で、理由は食事前には消毒液が用意されているが、食後になると手元に消毒液がなく消毒ができない、忘れている事が多い等が理由としてあがった。

今後の継続には、物品の準備、職員の意識に課題があることが推察された。

**〈考察〉**

①トイレでの手洗いについて、「患者が嫌がることがあった」に関して、質問紙の中に複数の状況が書かれてあった。理由は不明だが立腹しており、促しに応じてくれない。手を洗うという言葉を理解してくれない、ジェスチャーを交えて伝えるも、理解されず苦労した等の状況があった。これらについては、職員が患者の意思を推し量れない場合や、患者は意思表示をしているつもりでも職員が気づいていない場合も考えられるので、その日、その瞬間の患者の反応を観察し、その時々にあった対応をすることが求められる、またジェスチャーだけでなく実際に患者の手をとり、一緒に行ってみると伝わる事もあるのではないかと考える。物品の準備では、ペーパータオルの設置場所の検討が必要だとわかった。しかし異食行為がある患者もいて、常時設置するのは危険なので、トイレ誘導時のみ手洗い場に設置し、それ以外の時間は施錠できる場所に保管するのが一番安全だと考えられる。

②食事前の手指消毒について、患者はアルコール消毒に馴染みがなく、動作の理解習得が、短期間では難しかったようだ。理由としては、患者の生活歴において、もともと行っていなかった可能性と記銘障害のため説明されても忘れている可能性の 2 点が考えられる。精神状態には日差があり、長期的に状況を観察しながら対応していく必要があると考えられる。

③床頭台の消毒について、「まだ職員の意識付けができていない」に関しては、声掛けの継続や伝達方法の再検討が必要だと考えられる。「消毒液がカートに 1 個しかない」に関しては、職員数名で分かれて各部屋の食事援助をしているため、カートが手元に無ければ取りに行く必要がある。複数準備すれば解決できる可能性はあるが、消毒液の置き忘れ等のリスクが高くなる事も考えられる。

**〈まとめ〉**

質問紙調査の分析にて問題点を患者の要因と職員の要因に分類。さらに、患者の要因は認知機能の低下と周辺症状、職員の要因は業務上の問題と周知の問題に分類。2020 年 4 月の緊急事態宣言後に行われた、医師に対する調査や高齢者施設での調査結果と同様に、本調査でも認知症高齢患者への感染予防の実施が困難な状況が明らかになった。またトイレでは、異食行為の危険からペーパータオルやアルコール消毒液の設置に難しさがあった。

**〈今後の課題〉**

今回の業務改善の試みが感染予防にどれ程の効果が得られたのか、今後も業務を継続しながら、感染者数などのデータの収集や職員への質問紙調査などから効果を評価していく必要があると思われる。

**〈参考文献〉**

日本認知症学会専門医を対象とした新型コロナウイルス感染症流行下における認知症診療等への影響 .
新美芳樹、新井哲明、粟田主一、他（2020）

## 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行下における、精神一般病棟でのスタッフの精神的変化と感染への取り組みと振り返り

**【目的】**

精神科患者は環境変化や外的刺激により精神状態が変化しやすいため、感染対策でも精神面への配慮が求められる。当病棟は、新型コロナウイルス感染症の集団感染を２度経験する中で、精神科特有の閉鎖的空間における感染対策、罹患で精神状態が悪化した患者への対応、精神症状を有する非感染者と感染者が接触しないための工夫などに取り組んだ。今後の精神科病棟での感染対策のため、これらの経験を振り返り、先行文献を基に整理・考察したので報告する。

**【方法】**

1）対象者:急性期精神科病棟で感染患者に対応したスタッフ 10 名

2）期間：2023 年 3 月 28 日～ 2023 年 7 月 20 日

3）情報収集の方法：感染流行時に病棟全体でまとめた対策を資料と示し、振り返りを聴き取った。

**【結果】**

〈感染への取り組み〉

精神科特有の感染対策として、①ゾーニング方法　②勤務体制とスタッフの対応、の２つが抽出できた。

**【考察・結論】**

①感染区域を色分けするゾーニングで明確な境界線を作ると、精神症状で理解度が低下した患者にも注意喚起できた。パーティションや長椅子で通行を遮断し、扉を部分的に施錠することも有効だった。結果として、患者 60 名中 10 名の感染にとどめる事ができた。

②少人数体制で勤務調整する事で、職員間での感染を起こさず、情報の引継ぎも円滑に進み、患者にとっての外的刺激や環境の変化を最小限にする事ができた。

しかし課題も多かった。隔離室から一般病室という異なる環境に移動した患者は、一時的に精神状態が悪化し物品を破損した。OT活動中止や行動制限でストレスが増大し、患者間トラブルに発展する事もあった。病棟で取り組めるレクリエーションなどを導入できればよかったと考えられる。聴き取り調査では、スタッフの精神的疲弊や感染への恐怖も明らかになった。スタッフの十分な休息の確保と、スタッフが作業する閉鎖的空間に空気洗浄機を設置するなど、感染への恐怖に対する取り組みが必要であったと考えられる。本研究は、当施設の倫理委員会の承認を得て、患者が特定されないよう配慮した。

# 院外研修実績

**看護部**

| 年　月　日 | 研　修　内　容 |
|---|---|
| 令和5年　4月　5日<br>～令和6年　2月24日<br>全8回 | 大分県看護協会主催<br>新人看護職員研修 |
| 5月12日～　9月22日 | 認定看護管理者教育課程<br>ファーストレベル |
| 6月　8日 | 令和5年度大分県西部地区ネットワーク研修会「医療接遇について」 |
| 6月　8日 | 大分県看護協会主催<br>「看護補助者のための研修」 |
| 6月17日 | 日本精神科看護協会<br>精神科におけるBLS |
| 6月24日 | 大分県病院協会創立70周年記念講演<br>「超小型衛星による新しい宇宙開発利用への挑戦」 |
| 7月　1日 | 令和5年度大分県病院協会看護部会研修会<br>「5類に移行した新型コロナウイルス対応と医療施設で増加している<br>VRE（バンコマイシン耐性腸球金）の対策について」 |
| 7月11日 | 令和5年度看護交流研究会<br>「看護部長としての看護研究を通した人材育成の経験」 |
| 7月18日～12月15日 | 保健師助産師看護師実習指導者講習会 |
| 7月22日 | 日精看主催研修会<br>「障害者総合支援法の改正について」 |
| 8月25日 | 西部地区ネットワーク講演<br>「新型コロナウイルス感染症の後遺症治療の現状について」 |
| 8月31日 | 第17回九精協各県看護部長等代表者会議の伝達講習<br>「外国人労働者人材の活用（看護補助者）について」 |
| 8月31日 | DESIGN-R　2020を活用した褥瘡の評価と褥瘡ケアについて |
| 9月　2日 | 2023年度大分県職能別交流会「看護の原点回帰」 |
| 9月15日～　9月17日 | 第47回日本自殺予防学会「生きるすべを求めてー生活の場での自殺予防」 |
| 9月30日 | 日精看主催研修会<br>「衛藤病院の病棟内における隔離と拘束の取り組みについて」 |
| 10月　3日 | 日本看護協会主催<br>「看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト・シェア全国セミナー」 |
| 10月　6日 | 「眠りスキャン」を用いた見守り支援システム導入<br>～介護施設での活用法と効果～ |
| 10月　7日 | 大分県看護協会「2023年度リスクマネージャー交流会」 |
| 10月19日～10月20日 | 第68回九州精神医療学会 |
| 10月21日 | 日精看主催研修会<br>「スポーツ交流会」 |

| | |
|---|---|
| 10月 27日 | 日本精神科病院協会<br>「スタンダードコース」スクーリング |
| 11月 1日～ 12月 13日 | 令和５年度災害支援ナース養成研修 |
| 11月　7日 | 日本看護協会主催「看護師と准看護師の業務区分・役割分担に向けた情報交換会 |
| 11月 8日～ 11月 10日 | 認知症ケア研修 |
| 11月　8日 | 大精協看護部会研修会<br>「精神保健福祉法と患者処遇について」 |
| 11月 17日 | 西部地区看護ネットワーク研修会<br>「認知症について」 |
| 11月 19日 | 大分県病院協会<br>「伏すこと久しきは飛ぶこと必ず高し」～病院の成長にゴールはない～ |
| 12月 1日～ | 院内感染対策 e-learning 講習会 |
| 12月 21日 | 保護具着用管理者選任時教育 |
| 令和 6年　2月 22日 | 日精看主催「精神科看護師としてのモチベーションの高め方」 |

# 実習生の受入れ

**栄養給食科**

| 期　　間 | 所　　属 | 人数 |
|---|---|---|
| 令和５年　８月21日～　９月　１日 | 別府大学短期大学部食物栄養科 | ２名 |
| 令和６年　２月26日～　３月15日 | 別府大学食物栄養科学部食物栄養学科 | １名 |

**作業療法科**

| 期　　間 | 所　　属 | 人数 |
|---|---|---|
| 令和５年　７月24日～　９月22日 | 藤華医療技術専門学校看護学科 | １名 |

**看護部**

| 期　　間 | 所　　属 | 人数 |
|---|---|---|
| 令和５年　５月　８日～10月　１日 | 藤華医療技術専門学校看護学科 | 31名 |
| 10月16日～11月16日 | 大分県立看護科学大学 | 21名 |

**デイケア科**

| 期　　間 | 所　　属 | 人数 |
|---|---|---|
| 令和５年　７月31日～　９月30日 | 大分リハビリテーション専門学校作業療法学科 | １名 |
| 令和６年　２月19日～　３月　４日 | 藤華医療技術専門学校作業療法学科 | １名 |

**臨床心理科**

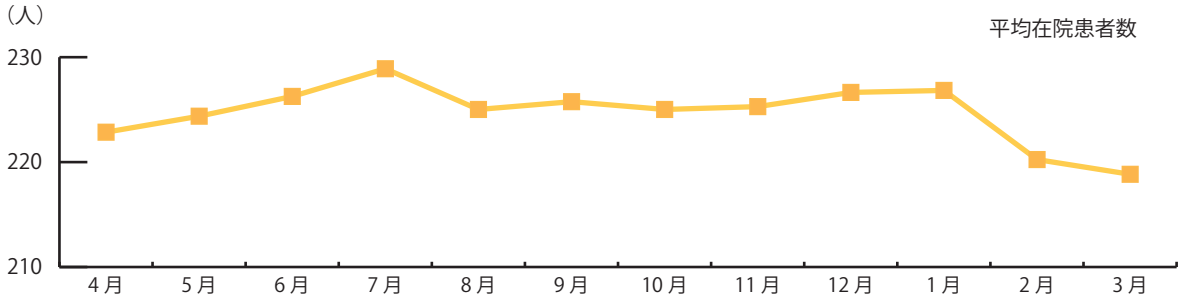
| 期　　間 | 所　　属 | 人数 |
|---|---|---|
| 令和５年　６月12日～　７月10日 | 別府大学大学院文学研究科臨床心理学専攻 | ２名 |

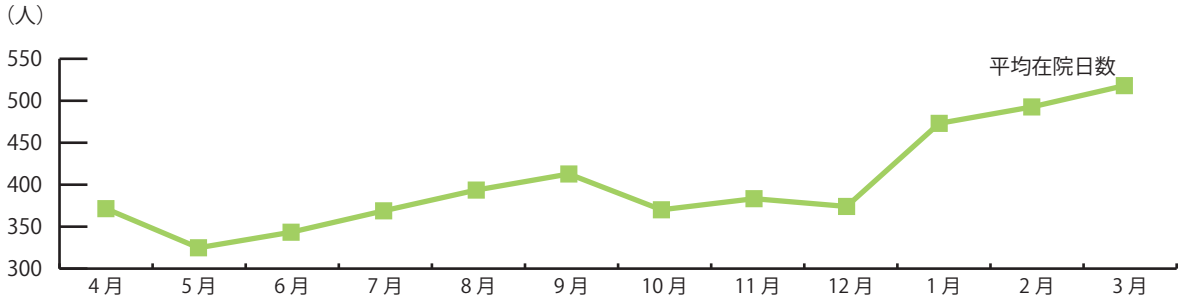
# 統計資料

**入退院及び外来患者・平均在院日数調べ**　　【　合　計　=232 床　】 +【　外　来　】

| 令和5年度 | 在院患者延数 | 実日数 | 平均在院患者数 | 月末在院患者数 | 新入院患者数 | 退院患者数 | 平均在院日数 | 外来患者延数 | 実日数 | 平均外来患者数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4月 | 6,684 | 30 | 222.80 | 223 | 17 | 19 | 371.33 | 2,694 | 24 | 112.25 |
| 5月 | 6,954 | 31 | 224.32 | 225 | 25 | 23 | 324.71 | 2,682 | 24 | 111.75 |
| 6月 | 6,786 | 30 | 226.20 | 228 | 19 | 16 | 343.26 | 2,771 | 26 | 106.57 |
| 7月 | 7,094 | 31 | 228.83 | 230 | 16 | 14 | 368.74 | 2,498 | 25 | 99.92 |
| 8月 | 6,974 | 31 | 224.96 | 223 | 17 | 24 | 393.47 | 2,689 | 24 | 112.04 |
| 9月 | 6,771 | 30 | 225.70 | 223 | 15 | 15 | 412.65 | 2,691 | 24 | 112.12 |
| 10月 | 6,974 | 31 | 224.96 | 224 | 21 | 20 | 369.98 | 2,877 | 25 | 115.08 |
| 11月 | 6,757 | 30 | 225.23 | 224 | 18 | 18 | 383.21 | 2,757 | 24 | 114.87 |
| 12月 | 7,024 | 31 | 226.58 | 230 | 20 | 14 | 373.96 | 2,866 | 25 | 114.64 |
| 1月 | 7,030 | 31 | 226.77 | 222 | 5 | 13 | 472.97 | 2,561 | 23 | 111.34 |
| 2月 | 6,386 | 29 | 220.20 | 221 | 15 | 16 | 492.53 | 2,345 | 23 | 101.95 |
| 3月 | 6,783 | 31 | 218.80 | 221 | 13 | 16 | 517.92 | 2,764 | 25 | 110.56 |
| 計 | 82,217 | 366 | 224.63 | 2,694 | 201 | 208 | 402.04 | 32,195 | 292 | 110.25 |
| 平均 | 6,851.41 | | | 224.50 | 16.75 | 17.33 | | 2,682.91 | 24.33 | |

※平均在院日数の算定方法は医科点数表の解釈（社会保険研究所）の算定方法による。



**入退院・平均在院日数調べ**　　【　認知症治療病棟　＝　52 床　】

| 令和<br>5 年度 | 在院患者<br>延数 | 実日数 | 平均在院<br>患者数 | 月末在院<br>患者数 | 新入院<br>患者数 | 退院<br>患者数 | 平均在院<br>日数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4 月 | 1,503 | 30 | 50.10 | 50 | 2 | 5 | 429.42 |
| 5 月 | 1,585 | 31 | 51.12 | 51 | 5 | 4 | 386.00 |
| 6 月 | 1,549 | 31 | 49.96 | 52 | 2 | 3 | 441.61 |
| 7 月 | 1,603 | 28 | 57.25 | 52 | 1 | 1 | 592.12 |
| 8 月 | 1,583 | 31 | 51.06 | 51 | 5 | 5 | 557.05 |
| 9 月 | 1,547 | 30 | 51.56 | 52 | 1 | 1 | 676.14 |
| 10 月 | 1,593 | 31 | 51.38 | 52 | 2 | 3 | 555.64 |
| 11 月 | 1,550 | 30 | 51.66 | 51 | 0 | 2 | 1042.22 |
| 12 月 | 1,611 | 31 | 51.96 | 52 | 3 | 1 | 864.36 |
| 1 月 | 1,562 | 31 | 50.38 | 49 | 0 | 3 | 1049.55 |
| 2 月 | 1,403 | 30 | 46.76 | 50 | 4 | 4 | 610.13 |
| 3 月 | 1,569 | 31 | 50.61 | 49 | 4 | 5 | 453.40 |
| 計 | 18,658 | 365 | 51.11 | 611 | 29 | 37 | |
| 平均 | 1,554.83 | | | 50.92 | 2.42 | 3.08 | 565.39 |

※平均在院日数の算定方法は医科点数表の解釈（社会保険研究所）の算定方法による。

**入退院・平均在院日数調べ**　　【　精神療養病棟　＝　60 床　】

| 令和<br>5 年度 | 在院患者<br>延数 | 実日数 | 平均在院<br>患者数 | 月末在院<br>患者数 | 新入院<br>患者数 | 退　院<br>患者数 | 平均在院<br>日数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4 月 | 1,797 | 30 | 59.90 | 60 | 0 | 2 | 1770.00 |
| 5 月 | 1,847 | 31 | 59.58 | 59 | 1 | 4 | 1221.33 |
| 6 月 | 1,792 | 30 | 59.73 | 60 | 0 | 0 | 1553.14 |
| 7 月 | 1,860 | 31 | 60.00 | 60 | 0 | 0 | 2199.60 |
| 8 月 | 1,851 | 31 | 59.70 | 60 | 2 | 4 | 1834.33 |
| 9 月 | 1,792 | 30 | 59.73 | 60 | 1 | 3 | 1100.60 |
| 10 月 | 1,846 | 31 | 59.54 | 60 | 1 | 2 | 844.46 |
| 11 月 | 1,789 | 30 | 59.63 | 60 | 1 | 2 | 1085.40 |
| 12 月 | 1,859 | 31 | 59.96 | 60 | 0 | 1 | 1569.71 |
| 1 月 | 1,812 | 31 | 58.45 | 59 | 1 | 1 | 1820.00 |
| 2 月 | 1,692 | 29 | 58.34 | 60 | 1 | 1 | 2145.20 |
| 3 月 | 1,860 | 31 | 60.00 | 60 | 0 | 0 | 2682.00 |
| 計 | 21,797 | 366 | 59.55 | 718 | 8 | 20 | |
| 平均 | 1,816.42 | | | 59.83 | 0.67 | 1.67 | 1556.93 |

※平均在院日数の算定方法は医科点数表の解釈（社会保険研究所）の算定方法による。

**入退院・平均在院日数調べ**　　【　精神一般病棟　＝　120 床　】

| 令和<br>5 年度 | 在院患者<br>延数 | 実日数 | 平均在院<br>患者数 | 月末在院<br>患者数 | 新入院<br>患者数 | 退　院<br>患者数 | 平均在院<br>日数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4 月 | 3,384 | 30 | 112.80 | 113 | 15 | 12 | 285.57 |
| 5 月 | 3,522 | 31 | 113.61 | 115 | 19 | 15 | 234.65 |
| 6 月 | 3,445 | 30 | 114.83 | 116 | 17 | 13 | 227.49 |
| 7 月 | 3,631 | 31 | 117.12 | 118 | 15 | 13 | 230.39 |
| 8 月 | 3,540 | 31 | 114.19 | 112 | 10 | 15 | 255.80 |
| 9 月 | 3,432 | 30 | 114.40 | 111 | 13 | 11 | 275.40 |
| 10 月 | 3,535 | 31 | 114.03 | 112 | 18 | 15 | 256.26 |
| 11 月 | 3,418 | 30 | 113.93 | 113 | 17 | 14 | 236.02 |
| 12 月 | 3,554 | 31 | 114.64 | 118 | 17 | 12 | 225.95 |
| 1 月 | 3,638 | 31 | 117.35 | 114 | 4 | 9 | 290.68 |
| 2 月 | 3,291 | 29 | 113.48 | 111 | 10 | 11 | 332.79 |
| 3 月 | 3,354 | 31 | 108.19 | 109 | 9 | 11 | 380.85 |
| 計 | 41,744 | 366 | 114.05 | 1,362 | 164 | 151 | |
| 平均 | 3,478.67 | | | 113.50 | 13.67 | 12.58 | 265.04 |

※平均在院日数の算定方法は医科点数表の解釈（社会保険研究所）の算定方法による。

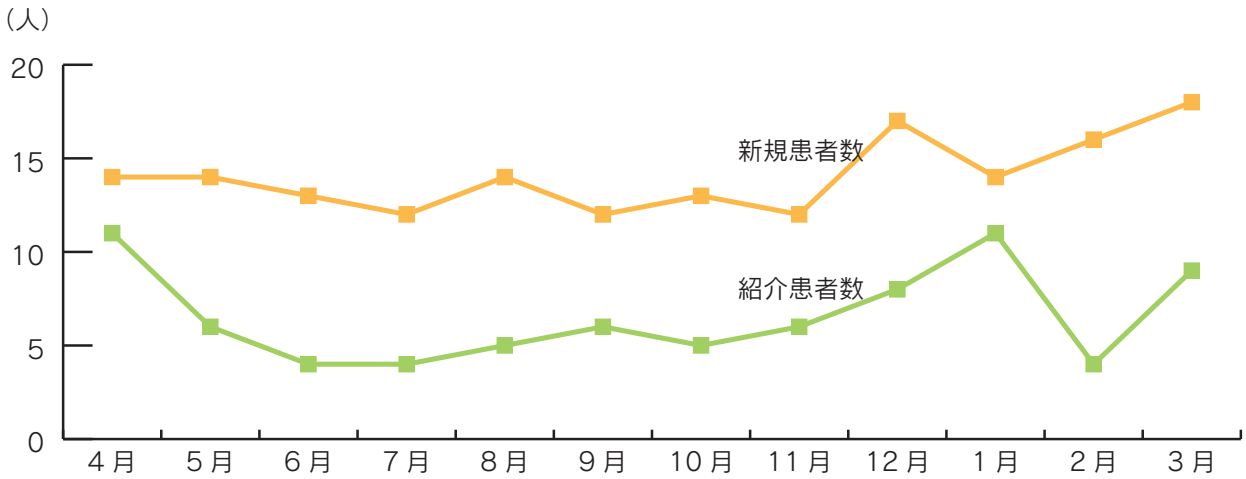
## 紹介元医療機関

| 令和５年度 | 精神科病院 | 一般病院 | 医　院 | その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| ４月 | 2 | 3 | 6 | 1 | 12 |
| ５月 | 0 | 6 | 4 | 0 | 10 |
| ６月 | 6 | 14 | 5 | 4 | 29 |
| ７月 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 |
| ８月 | 0 | 3 | 1 | 0 | 4 |
| ９月 | 5 | 7 | 1 | 0 | 13 |
| 10月 | 1 | 4 | 2 | 0 | 7 |
| 11月 | 2 | 26 | 2 | 4 | 34 |
| 12月 | 4 | 5 | 0 | 0 | 9 |
| １月 | 1 | 15 | 2 | 2 | 20 |
| ２月 | 1 | 5 | 1 | 3 | 10 |
| ３月 | 0 | 3 | 3 | 0 | 6 |
| 計 | 22 | 92 | 27 | 15 | 156 |

## 月別新規患者紹介率

| 令和５年度 | 新規患者数 | 紹介患者数 | 紹介比率(%) |
|---|---|---|---|
| ４月 | 14 | 11 | 79% |
| ５月 | 14 | 6 | 43% |
| ６月 | 13 | 4 | 31% |
| ７月 | 12 | 4 | 33% |
| ８月 | 14 | 5 | 36% |
| ９月 | 12 | 6 | 50% |
| 10月 | 13 | 5 | 38% |
| 11月 | 12 | 6 | 50% |
| 12月 | 17 | 8 | 47% |
| １月 | 14 | 11 | 79% |
| ２月 | 16 | 4 | 25% |
| ３月 | 18 | 9 | 50% |
| 計 | 169 | 79 | 47% |

※紹介率（%）＝ $\frac{\text{紹介患者数}}{\text{新規患者数}}$



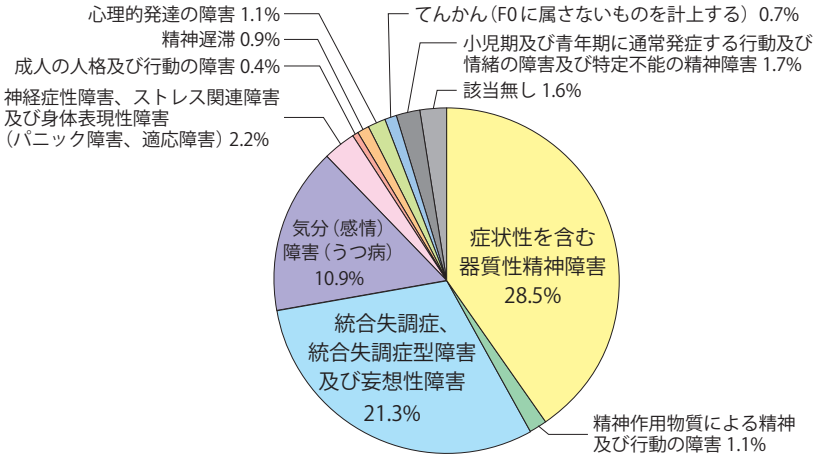
## 疾患別・年齢別外来患者延数

令和６年６月現在

| 疾　患　名 | | 20 歳未満 | 20 歳以上 40 歳未満 | 40 歳以上 65 歳未満 | 65 歳以上 | 計 | 構成比（%） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| F0　症状性を含む器質性精神障害 | | 0 | 0 | 34 | 1,088 | 1,122 | 28.5% |
| | F00　アルツハイマー病の認知症（老人性認知症） | 0 | 0 | 21 | 1008 | 1,029 | 26.1% |
| | F01　血管性認知症 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0.0% |
| | F02-09　上記以外の症状性を含む器質性精神障害（脳器質性精神病） | 0 | 2 | 13 | 79 | 94 | 2.4% |
| F1　精神作用物質による精神及び行動の障害 | | 0 | 3 | 5 | 36 | 44 | 1.1% |
| | F10　アルコール使用による精神及び行動の障害 | 0 | 3 | 5 | 36 | 44 | 1.1% |
| | F11　覚せい剤中毒 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0% |
| | F12　アルコール、覚せい剤を除く精神作用物質使用による精神及び行動の障害 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0% |
| F2　統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 | | 0 | 55 | 423 | 359 | 837 | 21.3% |
| F3　気分（感情）障害（うつ病） | | 0 | 47 | 198 | 183 | 428 | 10.9% |
| F4　神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害（パニック障害、適応障害） | | 1 | 31 | 31 | 23 | 86 | 2.2% |
| F5　生理的障害及び身体邸要因に関連した行動症候群 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0% |
| F6　成人の人格及び行動の障害 | | 0 | 8 | 5 | 2 | 15 | 0.4% |
| F7　精神遅滞 | | 0 | 6 | 30 | 0 | 36 | 0.9% |
| F8　心理的発達の障害 | | 0 | 31 | 11 | 0 | 42 | 1.1% |
| F9　小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害 | | 0 | 16 | 24 | 28 | 68 | 1.7% |
| てんかん（F0 に属さないものを計上する） | | 0 | 2 | 2 | 23 | 27 | 0.7% |
| その他 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0% |
| 該当無し | | 0 | 15 | 28 | 21 | 64 | 1.6% |
| 計 | | 1 | 219 | 830 | 2,887 | 3,937 | 100.0% |

※県報告精神統計資料による

### 疾患別外来患者延数

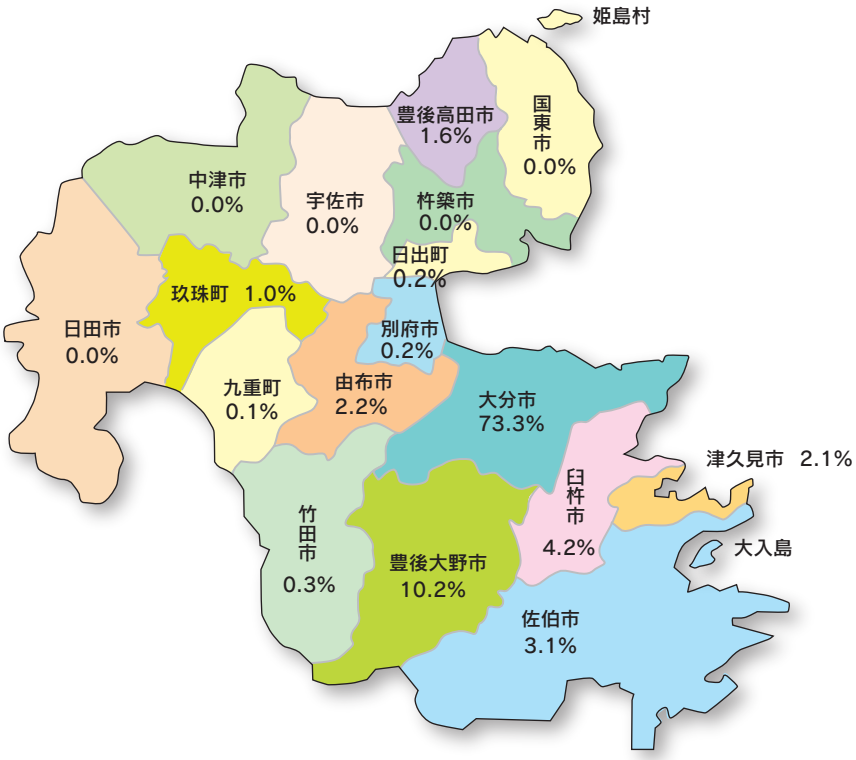


## 居住地別外来患者延数

令和６年６月現在

| 住所地 | 患者数（人） | 構成比（%） |
|---|---|---|
| 大分市 | 2,027 | 73.3% |
| 別府市 | 6 | 0.2% |
| 中津市 | 0 | 0.0% |
| 日田市 | 0 | 0.0% |
| 佐伯市 | 85 | 3.1% |
| 臼杵市 | 116 | 4.2% |
| 津久見市 | 58 | 2.1% |
| 竹田市 | 7 | 0.3% |
| 豊後高田市 | 45 | 1.6% |
| 杵築市 | 1 | 0.0% |
| 宇佐市 | 0 | 0.0% |
| 豊後大野市 | 282 | 10.2% |
| 由布市 | 60 | 2.2% |
| 国東市 | 1 | 0.0% |
| 日出町 | 5 | 0.2% |
| 九重町 | 2 | 0.1% |
| 玖珠町 | 27 | 1.0% |
| 県外 | 44 | 1.6% |
| その他 | 0 | 0.0% |
| 計 | 2,766 | 100.0% |

### 居住地別外来患者延数



**疾患別・年齢別・入院形態別在院患者数**　　令和 6 年 3 月 31 日現在

| 疾　患　名 | | 20 歳未満 | 20 歳以上 40 歳未満 | 40 歳以上 65 歳未満 | 65 歳以上 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| F0　症状性を含む器質性精神障害 | | 0 | 3 | 3 | 79 | 85 |
| | F00　アルツハイマー病の認知症 | 0 | 0 | 0 | 36 | 36 |
| | F01　血管性認知症 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | F02 － 09　上記以外の症状性を含む器質性精神障害（脳器質性精神病） | 0 | 3 | 3 | 42 | 48 |
| F1　精神作用物質による精神及び行動の障害 | | 0 | 0 | 0 | 4 | 4 |
| | F10　アルコール使用による精神及び行動の障害 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 |
| | F11　覚せい剤中毒 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | F12　アルコール、覚せい剤を除く精神作用物質使用による精神及び行動の障害 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| F2　統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 | | 0 | 3 | 46 | 57 | 106 |
| F3　気分（感情）障害（うつ病） | | 0 | 0 | 4 | 13 | 17 |
| F4　神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害（パニック障害、適応障害） | | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| F5　生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| F6　成人の人格及び行動の障害 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| F7　精神遅滞 | | 0 | 1 | 2 | 2 | 5 |
| F8　心理的発達の障害 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| F9　小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| てんかん（F0 に属さないものを計上する） | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 該当無し | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | | 0 | 7 | 55 | 157 | 219 |

**精神科救急医療システム実施状況**

| 令和５年度 | 対応件数 | 受入状況 | | | 入院区分 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 電話相談 | 診察のみ | 入　院 | 措　置 | 医療保護 | 任　意 |
| ４月 | | | | | | | |
| ５月 | | | | | | | |
| ６月 | 1 | 1 | | | | | |
| ７月 | | | | | | | |
| ８月 | 1 | | 1 | | | | |
| ９月 | 1 | | | 1 | 1 | | |
| 10月 | | | | | | | |
| 11月 | | | | | | | |
| 12月 | | | | | | | |
| １月 | | | | | | | |
| ２月 | | | | | | | |
| ３月 | 1 | 1 | | | | | |
| 計 | 4 | 2 | 1 | 1 | 1 | | |

**居住地別入院患者数**　　令和６年３月31日現在

| 住所地 | 患者数 | 構成比(%) |
|---|---|---|
| 大分市 | 147 | 67.1% |
| 別府市 | 5 | 2.3% |
| 中津市 | 0 | 0.0% |
| 日田市 | 0 | 0.0% |
| 佐伯市 | 4 | 1.8% |
| 臼杵市 | 11 | 5.0% |
| 津久見市 | 7 | 3.2% |
| 竹田市 | 5 | 2.3% |
| 豊後高田市 | 1 | 0.5% |
| 杵築市 | 2 | 0.9% |
| 宇佐市 | 2 | 0.9% |
| 豊後大野市 | 26 | 11.9% |
| 由布市 | 0 | 0.0% |
| 国東市 | 0 | 0.0% |
| 日出町 | 3 | 1.4% |
| 九重町 | 0 | 0.0% |
| 玖珠町 | 0 | 0.0% |
| 県外 | 6 | 2.7% |
| 計 | 219 | 100.0% |

## 精神科作業療法　令和５年度実績

令和６年３月31日現在

### 1.病棟別 OT 処方箋

| 病棟 | 内容 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A2 | 参加数 | 39 | 42 | 48 | 46 | 47 | 41 | 43 | 44 | 47 | 46 | 41 | 39 | 523 | 43.583 |
| | 月末処方数 | 51 | 54 | 56 | 53 | 51 | 50 | 49 | 51 | 53 | 52 | 48 | 51 | | 51.583 |
| A3 | 参加数 | 57 | 57 | 57 | 57 | 59 | 57 | 56 | 55 | 60 | 59 | 56 | 57 | 687 | 57.25 |
| | 月末処方数 | 60 | 59 | 60 | 60 | 60 | 60 | 60 | 60 | 60 | 59 | 60 | 60 | | 59.833 |
| B | 参加数 | 48 | 47 | 45 | 48 | 48 | 48 | 44 | 44 | 44 | 44 | 44 | 37 | 541 | 45.083 |
| | 月末処方数 | 55 | 54 | 52 | 57 | 55 | 56 | 56 | 55 | 56 | 54 | 54 | 49 | | 54.417 |
| 合計 | 参加数 | 144 | 146 | 150 | 151 | 154 | 146 | 143 | 143 | 151 | 149 | 141 | 133 | 1751 | 145.92 |
| | 月末処方数 | 166 | 167 | 168 | 170 | 166 | 166 | 165 | 166 | 169 | 165 | 162 | 160 | | 165.83 |

### 2.患者受け入れ状況

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 新患 | 16 | 14 | 12 | 10 | 13 | 14 | 13 | 14 | 13 | 5 | 7 | 8 | 139 | 21.38 |
| 退院 | 9 | 12 | 8 | 8 | 15 | 14 | 13 | 16 | 11 | 10 | 10 | 9 | 135 | 20.77 |

### 3. OT 病棟別実施件数

| | A2 | A3 | B | 合計 | 稼働日数 | 1日平均 | 実日数 | 1日平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4月 | 757 | 1,218 | 845 | 2,820 | 24 | 117.5 | 30 | 94.0 |
| 5月 | 800 | 1,259 | 855 | 2,914 | 24 | 121.4 | 31 | 94.0 |
| 6月 | 915 | 1,327 | 881 | 3,123 | 26 | 120.1 | 30 | 104.1 |
| 7月 | 927 | 1,296 | 917 | 3,140 | 25 | 125.6 | 31 | 101.3 |
| 8月 | 826 | 1,253 | 828 | 2,907 | 24 | 121.1 | 31 | 93.8 |
| 9月 | 767 | 1,243 | 893 | 2,903 | 24 | 121.0 | 30 | 96.8 |
| 10月 | 828 | 1,262 | 831 | 2,921 | 25 | 116.8 | 31 | 94.2 |
| 11月 | 822 | 1,192 | 792 | 2,806 | 24 | 116.9 | 30 | 93.5 |
| 12月 | 905 | 1,257 | 833 | 2,995 | 25 | 119.8 | 31 | 96.6 |
| 1月 | 609 | 556 | 746 | 1,911 | 23 | 83.1 | 31 | 61.6 |
| 2月 | 536 | 680 | 576 | 1,792 | 23 | 77.9 | 29 | 61.8 |
| 3月 | 791 | 1,284 | 564 | 2,639 | 25 | 105.6 | 31 | 85.1 |
| 合計 | 9,483 | 13,827 | 9,561 | 32,871 | 292 | 112 | 366 | 89.7 |

**月別相談業務集計表**

| 令和5年度 | 受入状況 | | | | | | | | | 入院区分 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 家族 | 本人 | 保健所行政 | 介護施設包括・居宅 | 一般病院 | 精神科病院 | 障害者施設 | その他 | 計 | 診察 | 入院 | 相談のみ | 計 |
| 4月 | 5 | 5 | 3 | 4 | 7 | 5 | 1 | 0 | 30 | 9 | 4 | 17 | 30 |
| 5月 | 9 | 4 | 0 | 7 | 6 | 3 | 2 | 0 | 31 | 9 | 5 | 17 | 31 |
| 6月 | 18 | 8 | 3 | 8 | 6 | 0 | 0 | 0 | 43 | 14 | 0 | 29 | 43 |
| 7月 | 8 | 9 | 1 | 4 | 1 | 2 | 1 | 1 | 27 | 8 | 1 | 18 | 27 |
| 8月 | 6 | 9 | 4 | 10 | 4 | 2 | 0 | 2 | 37 | 7 | 6 | 24 | 37 |
| 9月 | 8 | 5 | 0 | 2 | 3 | 2 | 0 | 1 | 21 | 5 | 3 | 13 | 21 |
| 10月 | 5 | 7 | 3 | 4 | 5 | 1 | 0 | 1 | 26 | 6 | 1 | 19 | 26 |
| 11月 | 3 | 3 | 2 | 8 | 3 | 2 | 0 | 1 | 22 | 9 | 1 | 12 | 22 |
| 12月 | 8 | 2 | 1 | 2 | 8 | 1 | 1 | 0 | 23 | 6 | 5 | 12 | 23 |
| 1月 | 8 | 2 | 1 | 2 | 8 | 1 | 1 | 0 | 23 | 6 | 5 | 12 | 23 |
| 2月 | 7 | 10 | 3 | 4 | 5 | 1 | 1 | 2 | 33 | 7 | 2 | 24 | 33 |
| 3月 | 6 | 3 | 2 | 8 | 8 | 1 | 1 | 2 | 31 | 7 | 11 | 13 | 31 |
| 計 | 91 | 67 | 23 | 63 | 64 | 21 | 8 | 10 | 347 | 93 | 44 | 210 | 347 |

## 相談支援事業所 **はんだ**

### 概要

・施設概要/運営方針　当事業所は、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営む事ができるよう、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者等の選択に基づき、適切な障害福祉サービス等が多様な事業者から、総合的且つ効率的に提供されるよう配慮します。そして、利用者等の立場に立った適切な指定計画相談の提供を確保します。

・名　　称　医療法人社団親和会　相談支援事業所　はんだ

・所 在 地　〒870-1111　大分市上判田3433番地

・連 絡 先　097-597-0093（衛藤病院　代表）

・種　　類　特定相談支援事業

・事業開始年月日　平成27年4月1日

・事業所番号　4430103434

・主たる対象者　精神障害者（18歳未満を除く）・知的障害者（18歳未満を除く）

・従業者　職・氏名　相談支援専門員・大塚　真也（精神保健福祉士）

・経験年数　1年

・営 業 日　月～金曜日　※但し、国民の祝日、8月13日～15日、12月30日～1月3日を除く

・営業時間　午後1時30分～午後5時30分

・支援の提供方法及び内容

① 基本相談支援
② 地域の障害サービス事業者等の情報提供
③ 訪問によるアセスメント
④ サービス等利用計画案及びサービス等利用計画の作成
⑤ サービス担当者会議の開催等による専門的な意見を聴取
⑥ その他前項に掲げる相談支援等に附帯する便宜

## 共同生活援助事業　グループホームふかまち・くりやた・しもばる

“温かさ”と“なごみ”のある家庭的な雰囲気の中で、共同の生活をしながら、社会復帰に向けた自立を目指します。

### グループホームふかまち入退居者数調べ(定員4名)

| 令和５年度 | 延べ入居者数 | 実日数 | １日平均入居者数 | 新入居者数 | 退居者数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 4月 | 60 | 30 | 2 | 0 | 0 |
| 5月 | 62 | 31 | 2 | 0 | 0 |
| 6月 | 60 | 30 | 2 | 0 | 0 |
| 7月 | 62 | 31 | 2 | 0 | 0 |
| 8月 | 62 | 31 | 2 | 0 | 0 |
| 9月 | 60 | 30 | 2 | 0 | 0 |
| 10月 | 62 | 31 | 2 | 0 | 0 |
| 11月 | 60 | 30 | 2 | 0 | 0 |
| 12月 | 62 | 31 | 2 | 0 | 0 |
| 1月 | 62 | 31 | 2 | 0 | 0 |
| 2月 | 58 | 29 | 2 | 0 | 0 |
| 3月 | 62 | 31 | 2 | 0 | 0 |
| 合　計 | 732 | 366 | 24 | 0 | 0 |
| 平　均 | 61 | | 2 | | |

### 入退居者の転帰先

| | 自宅 | 病院(入院) | 施　設 |
|---|---|---|---|
| 入居者(どこから) | 0 | 0 | 0 |
| 退居者(どこへ) | 0 | 0 | 0 |

### グループホームくりやた入退去者数調べ(定員6名)

| 令和５年度 | 延べ入居者数 | 実日数 | １日平均入居者数 | 新入居者数 | 退居者数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 4月 | 120 | 30 | 4 | 0 | 0 |
| 5月 | 124 | 31 | 4 | 0 | 0 |
| 6月 | 120 | 30 | 4 | 0 | 0 |
| 7月 | 124 | 31 | 4 | 0 | 0 |
| 8月 | 124 | 31 | 4 | 0 | 0 |
| 9月 | 120 | 30 | 4 | 0 | 0 |
| 10月 | 124 | 31 | 4 | 0 | 0 |
| 11月 | 120 | 30 | 4 | 0 | 0 |
| 12月 | 124 | 31 | 4 | 0 | 0 |
| 1月 | 124 | 31 | 4 | 0 | 0 |
| 2月 | 116 | 29 | 4 | 0 | 0 |
| 3月 | 124 | 31 | 4 | 0 | 0 |
| 合　計 | 1,464 | 366 | 48 | 0 | 0 |
| 平　均 | 122 | | 4 | | |

### 入退居者の転帰先

| | 自宅 | 病院(入院) | 施　設 |
|---|---|---|---|
| 入居者(どこから) | 0 | 0 | 0 |
| 退居者(どこへ) | 0 | 0 | 0 |

## グループホームしもばる入退居者数調べ（定員20名）

| 令和５年度 | 延べ入居者数 | 実日数 | １日平均入居者数 | 新入居者数 | 退居者数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 4月 | 510 | 30 | 17 | 0 | 0 |
| 5月 | 527 | 31 | 17 | 0 | 0 |
| 6月 | 510 | 30 | 17 | 0 | 0 |
| 7月 | 527 | 30 | 17 | 0 | 0 |
| 8月 | 527 | 31 | 17 | 0 | 0 |
| 9月 | 514 | 30 | 17.1 | 1 | 0 |
| 10月 | 558 | 31 | 18 | 0 | 0 |
| 11月 | 540 | 30 | 18 | 0 | 0 |
| 12月 | 556 | 31 | 17.8 | 0 | 1 |
| 1月 | 512 | 31 | 16.22 | 1 | 0 |
| 2月 | 493 | 29 | 17 | 0 | 0 |
| 3月 | 527 | 31 | 17 | 0 | 0 |
| 合　計 | 6,301 | 365 | 206.1 | 2 | 1 |
| 平　均 | 525.1 | | 17.2 | | |

## 入退居者の転帰先

| | 自宅 | 病院（入院） | 施　設 |
|---|---|---|---|
| 入居者（どこから） | 0 | 2 | 0 |
| 退居者（どこへ） | 2 | 0 | 0 |

# えとう内科病院

# 施設紹介

## えとう内科病院の概要

| | |
|---|---|
| ・名　称 | 医療法人社団親和会　えとう内科病院 |
| ・所在地 | 大分県大分市大字中判田 1428-1 |
| ・診療科目 | 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、<br>精神科、心療内科、リウマチ科、<br>リハビリテーション科 |
| ・病床数 | 58床（1病棟） |
| ・基本診療料の施設基準 | 障害者施設等入院基本料（10 対 1）<br>特殊疾患入院施設管理加算<br>療養環境加算<br>後発医薬品使用体制加算 1<br>機能強化加算<br>認知症ケア加算 2<br>診療録管理体制加算 2<br>データ提出加算 1.2 |
| ・特掲診療料の施設基準 | CT 撮影及び MRI 撮影<br>呼吸器リハビリテーション科（Ⅰ）<br>脳血管疾患等リハビリテーション科（Ⅱ）<br>運動器リハビリテーション科（Ⅰ）<br>胃瘻造設術<br>胃瘻造設時嚥下機能評価加算<br>ニコチン依存症管理料<br>在宅療養支援病院<br>在宅時医学総合管理料<br>在宅がん医療総合診療料<br>施設入居時等医学総合管理料<br>薬剤管理指導料 |
| ・入院時食事療養の施設基準 | 入院時食事療養（Ⅰ）<br>特別食加算<br>食堂加算 |

# 委員会活動報告

## 院内感染防止対策委員会

### 1. 目的

院内感染防止の万全を期するために、えとう内科病院「院内感染防止対策委員会」を設けることとする。

### 2. 活動内容

①委員会（1 回 / 月：第 3 水曜日、必要に応じ臨時会議）を開催

現在までに臨時会議の開催はない。

②全職員を対象に勉強会（2 回 / 年）を開催

・令和 5 年 7 月 18 日 「学び直しの標準予防策　スタンダードプリコーション」
　オンデマンド研修　70 名中　参加者 24 名 （30%）
　参加できない方はテスト提出回収率 100%

・令和 5 年 12 月 21 日 「冬の感染症について」 56 人中　参加者 21 名（38%）
　視聴者 35 人　伝達率 100% 参加できない方はレポート提出あり

・12/20 「嘔吐物処理シミュレーション」 病棟参加者 13 名（38%）伝達率 100%
　外来職員 2 名　事務 2 名　栄養科 4 名も参加

・6 月手洗いシミュレーションを各自で実践し結果用紙の提出　回収率 100%

・12 月中に病棟スタッフ全員対象に「手洗いについて」勉強会、アンケートを実施
　アンケート回収率 82%、他無回答・無記名あり

③院内感染症細菌検出レポート（1 回 / 週）を発行

主治医指示の患者に対し、尿と痰の培養検査を毎月行う。
MRSA・緑膿菌の陽性者を 1 週間毎に確認し、指定の用紙に集計する。

④感染情報：大分県感染症発生動向（1 回 / 週）を発行

毎週 1 回、大分県感染発生動向を朝礼時に報告するとともに、感染予防の声かけを行う。情報は内科の全職員で共有するため、指定箇所（食堂・病棟エレベーター前）に掲示する。食中毒注意報の発令時は、生もの等における食品の管理を更に注意深く行う。（賞味期限の確認等）

⑤内科院内のラウンド（1 回 /3 ヶ月）を実施し、院内感染ラウンドシートに記入

3 ヶ月毎に担当部署を変更しラウンドを実施する。

| | |
|---|---|
| 6 月 | 問題なし |
| 9 月 | 問題なし |
| 12 月 | 問題なし |
| 3 月 | 問題なし |

⑥MRSA、緑膿菌、多剤耐性緑膿菌、ESBL 陽性者、HBs、HCV、ワ氏陽性者、
ほか流行性感染症などの把握
病棟日誌に感染状況を毎日記入し、把握する。
電子カルテ内に記載する。

⑦院内感染防止対策チェックリストに基づき、チェックを（1 回 / 月）実施する
手洗い等の感染予防策をはじめ、14 のチェック項目において 4 段階で評価を行う。

⑧マニュアルの読み合わせと改訂（随時）
季節性感染症の発生時期に合わせ、マニュアルの読み合わせを病棟内にて実施し対応と予防策の周知をスタッフへ促している。

⑨感染性廃棄物の処理管理（マニュアル P147. 感染性廃棄物の処理規定）
マニュアルに沿い、感染性廃棄物の処理及び管理を行っている。
医療廃棄物と産業廃棄物を破棄する場合、同時に運搬しないように徹底する。
外来では、点滴ルートと針類は別の容器を使用している。

⑩再生医療器具の管理
医療材料の保管管理、破損の有無、使用期限の確認等を行う。

⑪カーテン及びマットレスの洗濯、布団干し、換気扇の清掃（適宜）
カーテンは年に 2 回及び汚染時、業者に交換を依頼している。
布団は汚染時にクリーニングに出している。

⑫院内感染情報シート（院内感染の発生時、発生の可能性が生じた時）の提出
【嘔吐・下痢】・・・・・0 件
【感染性胃腸炎】・・・・2 件
【疥癬】・・・・・・・・3 件
【インフルエンザ】・・・1 名
【新型コロナウィルス】・30 名（持ち込み 5 名）

⑬針刺し事故の報告と事故報告書の提出（マニュアル P115. 第 16 章）
【針刺し事故】・・・0 件
【事故報告書】・・・0 件

⑭アウトブレイク時の対応（マニュアル P90. 第 14 章）
インフルエンザ及び感染性腸炎の発生時は、マニュアルに沿った対応を実施している（発生のお知らせをポスターとして指定箇所に掲示する）。
新型コロナウィルスの大分市感染動向により面会制限を実施。重症者の面会については、主治医の許可を得て行っている。また、手洗い、うがいの励行とルビスタでの消毒を継続している。

⑮輸血後の追跡調査（施行後 3 ヶ月：HBs・HCV のみ）
対象患者　13 名（うち 7 名死亡退院・1 名退院・4 名入院中）

⑯ディスオーパ管理

3月より、サイデックスからディスオーパに変更。

外来・病棟ともに現在は1回/2週、交換している。

1回/週（土曜日）ディスオーパテストストリップにてチェックを継続中（毎週問題なく使用できている）。

ディスオーパ使用時は手袋・袖付きエプロン・防護眼鏡を使用している。

⑰疥癬に対する指導

内科では今年度は3名罹患（皮膚科Dr診察）。

媒介予防のため、感染時は本人や御家族へ指導を行う（マニュアルの別冊を参照）。

病棟内で個室対応とした。

⑱酸素流量計と酸素カニューレ・マスクの管理

酸素流量計本体の管理を実施している（1回/週）。交換予定者のネーム（緑テープ）を白板の週間表に明示している。酸素カニューレとマスクはディスポーザブルに変更している。流量計の蒸留水の件は保留中。

⑲インフルエンザや感染性胃腸炎（ノロウイルス）等の感染対策について

ルビスタ消毒（環境整備）を毎日継続中。ステーション内はパソコンなど共用物の消毒も実施している。（通常の各部屋分担清掃＋ドアノブ・階段手摺・デイルーム・エレベーターない操作ボタンなど）。

感染予防啓発ポスターの掲示（病棟、エレベーター内、外来）。

ナースステーション窓口にマスクを設置。

病棟面会者へ手洗いとマスクの着用呼びかけ（ポスター及び声掛け）、患者様に直接触れない様ディスポーザブル手袋着用の徹底をしている。

⑳新型コロナウィルスクラスター発生に対する指導や感染対策について

2/26～病棟内にクラスター発生し、空気・飛沫・接触感染予防策に則り対応。A棟を中心に感染部屋として隔離し、4/4に終息する。

㉑感染だよりの発行

6月　「新型コロナウィルス感染症に関するお知らせ」・・・薬局担当

10月「食中毒注意報」・・・栄養科担当

1月　「劇症型溶血連鎖球菌について」・・・リハビリ担当

3月　「新型コロナウィルス感染症の特例措置について」・・病棟担当

## 褥瘡対策委員会

### 1. 目的

えとう内科病院における安全管理を図り、褥瘡対策の推進のために褥瘡対策委員会を設立する。

### 2. 活動内容

①委員会　第3月曜日

・前月の褥瘡（褥瘡の診断は皮膚科医・主治医が行う）

・保有者の割合、寝たきり患者の割合を報告（毎月・月末時点での割合を算出）

・3月31日現在　寝たきり患者の割合98.1%、保有者の割合18%

②全職員対象の勉強会（2回/年）実施

令和5年6月21日～30日　「褥瘡ケアのいろは」e-ラーニング視聴83名（100%）

テスト提出率100%

令和5年12月5日　「褥瘡対策について」監査を受けてからの変更点。「褥瘡のスキンテア・管理のコツ」参加者21名　参加率38%（56人中）

視聴者35名　視聴率62%（56人中）　計100%

令和5年8月31日DESIN-R2020を活用した褥瘡の評価とケアについての研修を病棟スタッフ・褥瘡専任看護師参加にて行った。

③褥瘡対策に関する診療計画書について

・病棟看護入力分・チェックボックスに「その他記入欄」を作成

・身体所見の浮腫の有無・急ぎであれば採血データを病棟で入力

・厚生省の監査で指導があり次のように変更

1褥瘡発生者は、発生2週間・1か月・2か月・3か月以降は3か月ごと、その他の患者は半年ごとの作成

2作成者は、専任看護師が立案（専任看護師は看護師歴5年以上、スキンテア研修・DESIN-Rの研修を1回/年受講し伝達講習を受けたスタッフ、病棟では10名の看護師が担当する

3令和5年6月入院対象者より作成開始、家族へ説明した旨を記録に残す

4他部署へは褥瘡チームを作成して、メールのやり取りを行う

5寝具についても、マットの使用基準などを作成する

・褥瘡診療計画が必要な患者は、評価基準を参照し評価を行い、作成は日常生活自立度B・Cランクの患者とする

④看護計画について

・現在の褥瘡処置の内容・薬剤の効果などを検討しながら、計画に沿ってケアを行う

・褥瘡悪化傾向の患者に対しては、受け持ち看護師とカンファレンスを多職種にて行い情報交換、評価しながら統一したケアができるように努めていく

⑤体圧分散寝具の管理

・体圧分散寝具の選択。毎月、受け持ち看護師に患者が使用している寝具の適正を検討してもらう（適性チェック表あり）

・マットや機械の不具合のチェック・病棟でできるメンテナンス

・不具合時があれば、主任、師長に報告する（エアマット故障報告書あり）

・体圧分散寝具（現在の台数）
・アドバン 35 台
・トライセル 7 台
・ソフィア 6 台
・テルサ 5 台
・ネクサスはレンタルにて活用しており、必要時納品し、使用終了時には業者へ返却し、都度点検して頂いている

⑥褥瘡経過記録評価表の記録
・各棟（A・B）4 回 / 月（毎週　金曜日）褥瘡写真を撮影し評価する最終的に係が DESIGN-R 評価を完成させる
・褥瘡経過記録評価表をスキャンし電子カルテ内に残す

⑦必要書類及び看護計画の立案を確認する

⑧褥瘡カンファレンス
・褥瘡委員と受持ち看護師が主体となり 1 回 / 月行う

⑨主治医指示による皮膚科受診

## 医療安全管理委員会

### 1. 目的

医療安全管理委員会は、院内において医療事故を防止し、また、医療行為との関連の有無に係らず、患者の安全を図ることを目的とする。

### 2. 活動内容

①委員会（第４水曜日・必要に応じ臨時会議）を開催し、他部署で起きた事例の共有と問題提起。
又新しい情報の共有の場としている

②全職員を対象にオンデマンド研修を実施
・R5年、6/23～6/30
「基礎から学ぶ医療安全」
参加人数85人　視聴率100％　テスト回収率100％
・R6年1/22～1/27
「チームの力を引き上げる多職種で取り組む医療安全」
参加人数86人　視聴86人　視聴率100％　テスト回収率100％　伝達率100％

③病棟委員による病棟内の巡回（1回/月）を行い報告
毎月巡回項目に沿って病棟内の巡回を行い、不備に関しては上司に報告し整備している。
NSサイドでできることは、その都度修理・補充している。

④医療機器安全管理対策チェック（1回/月）をチェックリストに基づいて行う
心電計1台・モニター2台、子機13台・ベッドサイドモニター3台・パルスオキシメーター6台・輸液ポンプ3台・ネブライザー2台・気管支鏡1台・電動ベッド11台

⑤事例報告書の集計結果、伝達、周知、決定事項（マニュアルの変更）
令和4年11月より「インシデント・アクシデント」報告を職員の情報共有、啓発目的にて電子カルテ内にて記入報告に変更する。
報告書が出たら、申し送り時伝達し、当日不在者は同種類ごとに一つにまとめた用紙を回覧し共有している。
同一事例が2例続く場合はカンファレンスを開き、対応策の意見を出し合いそれを議事に残し、決定した対応策をスタッフ全員が周知できるように回覧し、チェック表にて確認している。

⑥毎月事例報告書の集計・分析を行い、委員会で報告をする
・R5年度　報告書数　　228件
・外部情報はスタッフに情報提供し綴じている

⑦拘束の必要者に対して、毎月カンファレンスにて拘束者の評価をし、拘束の見直しを行う
ミトン使用者・抑制帯使用者の拘束の必要性の有無を、毎月受け持ち看護師が話し合いの場を設け、必要性の有無の再検討を行い記録に残している（同意書はあるが抑制しなかった場合はその旨を記録に残す）。
拘束カンファレンスは開始後1週間目2週間目以後1ヶ月毎に行っている。
3月現在の拘束者　ミトン使用のみ　4名、安全ベルト使用者　0名

⑧転倒・転落アセスメントシートのチェック（1回/年）を行い、15点以上は看護計画に、あげられているか確認していく

・入院者には全員転倒・転落アセスメントシートチェックを行っている。

・看護計画に連動しているかチェックしている。

⑨マニュアルの読み合わせ

⑩ 針刺し事故の報告と事故報告書の提出を行う

・令和4度針刺し　　0件

⑪令和5度のインシデント・アクシデントの集計結果　（228件）

・認知症患者の入院があり転倒転落の事例が増加している

・内容別では、薬剤が多く次いで管関係、転倒・転落の順になっている

## 給食委員会

### 1. 目的

給食委員会は、食事を医療の一環として、患者の病状に応じて必要な栄養量を提供するとともに、食事の質の向上と、患者サービスの改善を行っていくことを目的とする。

### 2. 活動内容

委員会の構成員は、医師、師長、事務部長、管理栄養士とする。
毎月１回（第４水曜日）に開催し、必要に応じて管理栄養士が随時召集する。
下記の①～⑦の事項について検討する。

①食事内容の調査及び検討に関する事項（毎月）
・食種及び食事形態別の患者数の把握や、食事介助の状況を報告
・喫食量の良い献立、悪い献立を示し、量や味について検討した
・食事量低下に伴う、不足栄養素への対応を検討した
・個人ごとの喫食調査をもとに、喫食率の低い患者への対応を検討した
（個人対応食提供）
・長期療養患者に希望や意見の聞き取り調査を実施

②栄養管理業務の改善に関する事項（毎月）
・栄養状態の報告
・個別対応食、付加食による栄養状態改善の評価

③栄養指導に関する事項
・糖尿病、脂質異常症、高血圧症、心臓病、脂肪肝、肥満症の方等を対象に外来栄養指導や入院栄養指導を実施（随時）

④給食設備の整備、衛生に関する事項
・感染対策で毎日、１階と厨房をルビスタにて消毒
・炊飯器と食器洗浄機が故障したため、入れ替えを行った

⑤栄養管理関係の事務的手続きに関する事項
・褥瘡診療計画書及び栄養管理計画書の作成、更新

⑥栄養給食管理マニュアルの作成と見直しに関する事項
・経管流動食や経口流動食の提供パターンの多様化、及び新商品の導入等に伴い、電子カルテの食事マスタを必要に応じ追加しマニュアルの変更も行った

⑦他部門との連絡に関する事項
・食中毒注意の呼びかけを行った（随時）
・新型コロナウィルス感染防止対策として、紙皿での食事の提供を行った

### 3. 今後の課題

・患者サービスの向上に努める
・コスト管理に努める
・非常時における食事提供体制の構築
・厨房内の環境整備

## 医療ガス安全管理委員会

### 1. 目的

設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的とする。

### 2. 活動内容

委員会は、原則として年２回開催するものとする。ただし、委員長が必要と認めたときは、臨時に開催することができる。

委員会は、医療ガス点検報告書の提出を受け、適切な措置を講ずるものとする。

(1) 保守点検報告

①実施日　令和５年５月22日

②３ヶ月点検結果

１次２次減圧弁劣化、圧力計分解掃除を提案される

③実施日　令和５年11月21日

３ヶ月点検結果

減圧弁、圧力計分解掃除を提案される

吸引フィルターの汚れを指摘

(2) 保守点検報告

①実施日　令和５年８月21日

②６ヶ月点検結果

１次２次減圧弁劣化分解整備吸引フィルター掃除を提案される

(3) 保守点検報告

①実施日　令和６年２月26日

②１年点検結果

15年経過分解整備を提案される。その他異常なし。

※指摘事項については、適宜実施することを確認した

### 3.今後の動き

１次２次減圧弁、元圧圧力計、供給圧圧力計、安全弁交換整備の見積りの提出もあり早期にとりかかる必要があるため、次年度取り組み事項として急ぐことを確認した。

## 個人情報保護委員会

### 1.目的

個人情報保護規定はえとう内科病院個人情報保護方針に基づいて、当院が取り扱う個人情報の適切な保護のための基本規定である。当院職員はこの規定に従って個人情報を保護していかなければならない。

### 2.活動内容

①研修会

・個人情報保護委員会（衛藤病院主催）オンデマンド研修実施

「守秘義務、個人情報の基礎知識」…令和6年3月1日（1回目）、3月8日（2回目）

②委員会の開催状況

・令和5年5月29日（月）

出席者（委員長、副委員長、事務部長、病棟師長、相談員）

【　議事　】

①個人情報保護規定、個人情報保護委員会規定見直しについて

②個人情報提供報告書について

③診療情報開示請求について

④入院患者面会制限者について

⑤電子媒体を使用した患者情報の取り扱いについて

### 3.今後の課題

引き続き電子カルテシステムにおける個人情報保護取り扱いについての課題抽出を行う。

# 学会発表

| 年　月　日 | テーマ | 学会名 |
|---|---|---|
| 令和5年11月19日 | ISBARを取り入れた在宅支援での電話対応<br>～問診能力・意識改善の向上を目指して～ | 大分県病院学会 |
| 〃 | 機能別看護からチームナーシングへの移行<br>～スタッフの思いを反映させながら～ | 〃 |

## ISBARを取り入れた在宅支援での電話対応
## ～問診能力・意識改善の向上を目指して～

○原田　加奈（看護師）、矢野　ミノリ1）、中島　優子1）、和田　美紀1）、甲斐　美紀1）、牧　智恵美1）、松永研一1）、堀　裕子2）
1）医療法人社団えとう内科病院
2）大分県立看護科学大学

**【はじめに】**

当院は、在宅支援病院として24時間往診可能な体制を確保している。在宅での生活が安心して継続できるように、個々の状態に応じた適切な医療・看護を提供している。内科疾患患者をはじめ、統合失調症や若年性アルツハイマー型認知症など精神疾患患者の管理も積極的に行っている。新型コロナウイルス感染症の拡大により、第8波では施設でのクラスターが多発した。対応する職員は人員不足となり、施設は混乱している状態であった。施設職員からは患者の正確な状態報告の内容が錯綜し、当方も情報収集に時間を要した。

患者の状態報告には複数の職員が関わり、看護師が必要な情報を得るまでに時間を割き、医療介入がスムーズにいかなかった。そこで、沢山の情報を効果的に情報伝達できるスキルとして有効とされているISBAR（情報収集･評価のツール）に着目した。コロナ禍のような状況でも在宅・施設から状態報告があった際、必要な情報を簡潔明瞭に情報収集できるようにISBARを活用し、問診能力・意識改善の向上を目的に取り組んだ成果を報告する。

**【方法】**

外来看護師10名を対象として電話対応に関するアンケート調査をISBAR導入前後で実施した。回答は無記名選択式（単回答）とし､自由記載（思い）はカテゴリー分析とした。

**【結果及び考察】**

ISBARを導入前での思いでは、4［カテゴリー］、10＜サブカテゴリー＞、後では6［カテゴリー］、12＜サブカテゴリー＞が抽出された。医師への報告に対して苦手意識を持っているが前後とも9割であった。導入後は、相手がイメージしにくい電話問診での情報収集のため不安があったが、［必要な情報を関連づけて聞き取れ、分析しながらの電話問診が向上］していた。また、医師への報告時の問題として、医師に分かりやすく伝わっているか不安があったが、［問診の要点を整理し単なる伝達役ではないことを自覚］する意識に変化していた。しかし、課題である医師への報告の苦手意識を克服する必要があり、信頼関係の構築には時間を要すると考える。まだ不慣れで情報収集能力に不安は残るが、引き続きISBARのツールを使用し、医師を交えて臨床の場でISBARの考えを取り入れたコミュニケーションを幅広く活用していきたい。

## 機能別看護からチームナーシングへの移行
## ～スタッフの思いを反映させながら～

大分県医療法人社団親和会　えとう内科病院
◎若林　美紀 1）　三浦　千恵 1）　鶴原　直也 1）
　牧　智恵美 1）堀　裕子 2）
1）医療法人社団えとう内科病院
2）大分県立看護科学大学

**【はじめに】**

九州県内に障害者施設等一般病棟は 152 施設あり大分県内では 9 施設ある。そのほとんどの看護体制はチームナーシングである。

当院は 58 床の障害者施設等一般病棟で、以前の看護体制は機能別看護と受け持ち制であった。殆どが寝たきりの患者であり、看護体制は 10 対1である。また、認知症患者は 8 割を占めている。

5 年前に機能別と受け持ち制の看護体制から一部機能別を残したチームナーシングに変更した。しかし、うまく機能しなかった為以前の看護体制に戻った。コロナ禍を経てスタッフから同様の意見が聞かれるようになった。その為安心して責任をもって患者に関われるよう検討を重ね、再度チームナーシングへ変更した。その結果、どのように気持ちや看護ケアが変わったのかを明らかにするためにアンケート調査を行ったのでここに報告する。

**【方法・期間】**

方法：無記名自記式自由記載のみの質問紙調査を看護体制変更前後で実施。回収は個人が特定されない場所に設置した回収箱で行った。

期間：前～ 2023 年 3 月、後～ 2023 年 6 月

対象者：病棟看護師全員 30 名（育休・休職中の看護師以外）

分析：変更前の質問紙の自由記載をカテゴリー分析

変更後の質問紙の内容を単純集計

**【結果及び考察】**

変更前の質問紙から 8 つのカテゴリーと 35 のサブカテゴリーが抽出された。機能別看護で満足という意見もあったが、時間がなく清潔ケアが不十分、スタッフ不足により多忙になりやりたいケアができないという不満の意見が多かった。変更後の改善点と問題点を見ると改善点では業務の占める割合が多かった。問題点ではスタッフ関係の占める割合が多かった。今後は、カテゴリーや円グラフの結果をもとに問題を解決し安心して意見交換や相談ができる職場作りを目指し、チームナーシングを軌道にのせていくことが課題である。

# 院外研修実績・実習生の受入れ

〈院外研修〉

**診療部医局**

| 年　月　日 | 研　修　内　容 | 会場 |
|---|---|---|
| 令和5年　4月21日～23日 | 第 31 回日本医学会総会 | 東京都 |
| 5 月 12 日～ 13 日 | 第 121 回日本消化器病学会　第 115 回日本消化器内視鏡学会 | 福岡市 |
| 6 月 16 日～ 18 日 | 第 59 回日本肝臓学会総会 | 奈良市 |
| 6 月 25 日～ 25 日 | 心エコー未経験スクール | 岡山市 |
| 7 月 31 日～ 8 月　5 日 | 令和 5 年度産業医科大産業医学基礎研究会　夏季集中講座 | 北九州市 |
| 9 月 23 日～ 24 日 | 第 47 回日本消化器内視鏡学会セミナー | 東京都 |
| 11 月　2 日～ 11 月　5 日 | 第 31 回日本消化器関連学会 | 神戸市 |
| 11 月　2 日～ 11 月　5 日 | 第 31 回日本消化器関連学会（web 参加） | |
| 11 月 10 日～ 11 月 11 日 | 第 78 回日本大腸肛門学会学術集会（web 参加） | |
| 11 月 17 日～ 11 月 19 日 | 第 41 回日本大腸検査学会総会 | 東京都 |
| 令和6年　2月22日～25日 | 令和 5 年度産業医専門講習会 | 東京都 |

**事務部**

| 年　月　日 | 研　修　内　容 | 会場 |
|---|---|---|
| 令和 5 年　10 月 28 日 | ソーシャルワークの価値・倫理～実践の言語化へ | ZOOM |
| 10 月 27 日 | 精神保健福祉全国大会 | 大分市 |

**看護部**

| 年　月　日 | 研　修　内　容 | 人数 |
|---|---|---|
| 令和5年　4月　5日～11日 | 新人看護師研修 | 2 名 |
| 5 月 10 日 | 看護職のメンタルヘルス、呼吸循環を整える技術 | 2 名 |
| 6 月　6 日 | 安全確保の技術、与薬の技術 | 2 名 |
| 6 月 16 日 | 看護補助者の為の研修 | 1 名 |
| 6 月 20 日～ 21 日 | 認知症高齢者の看護実践に必要な知識 | 1 名 |
| 6 月　8 日 | 大分西部地区看護ネットワーク | 2 名 |
| 7 月 11 日～ 13 日 | 第 9 回 SENIOR コース 前期スクーリングプログラム | 1 名 |
| 8 月　2 日 | フィジカルアセスメント救命救急処理技術 | 1 名 |
| 8 月 18 日 | 記録委員として行う課題の見つけ方と改善策について | 1 名 |
| 8 月 16 日 | 新人看護職員交流会 | 1 名 |
| 9 月 1 日 | 看護が見える看護記録の書き方 | 1 名 |

| | | |
|---|---|---|
| 8月31日 | DESIGN-R2020を活用した褥瘡の評価とケアについて | 1名 |
| 11月12日 | 外来における在宅療養支援機能力向上のための研修 | 1名 |
| 11月19日 | 大分県病院学会 | 4名 |
| 11月～令和6年2月 | 令和5年度院内感染対策講習会 | 2名 |
| 1月18日～19日 | 特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習 | 1名 |
| 1月31日～2月2日 | 第9回SENIORコース 後期スクーリングプログラム | 1名 |
| 2月24日 | 新人研修　フォローアップ研修　メンタルヘルス | 2名 |

**放射線**

| 年　月　日 | 研　修　内　容 |
|---|---|
| 令和5年 5月31日 | 日本オートプシーイメージング技術研究会 |
| 6月 9日 | 診療放射線技師×医療安全勉強会 |
| 7月26日 | コニカ　第12回WEBセミナー |
| 7月 1日 | 第25回 全国X線撮影技術読影研究会 |
| 8月26日 | 第15回CTテクノロジーセミナー学術集会 |
| 10月14日 | キヤノンCTユーザー会2023 |
| 11月14日 | 第29回SOMATOM研究会 |
| 11月21日 | 第149回CTテクノロジーセミナー |
| 11月13日～2月 5日 | 令和5年度死亡時画像診断（Ai）研修会 |
| 11月25日 | 令和3年厚生労働省告示第273号研修における実技研修 |
| 令和6年 2月29日 | 令和5年度大分県医療放射線安全管理研修会 |
| 3月13日 | 大分県放射線技師会 第11回臨床技術セミナー |
| 3月18日 | 第25回大分県医療画像情報管理研究会・<br>第14回大分県放射線機器管理研究会 |

**薬剤部**

| 年　月　日 | 研　修　内　容 | 人数 |
|---|---|---|
| 令和5年7月1日 | 医薬品安全管理責任者等講習会 | 1名 |
| 9月17日～18日 | 第55回日本薬剤師学術大会 | 1名 |
| 9月23日～24日 | 第82回九州山口薬学大会 | 1名 |
| 令和6年1月20日 | 医薬品安全管理責任者等講習会 | 1名 |

〈実習生の受入れ〉

**リハビリ科**

| 期　　間 | 所　　属 | 人数 |
|---|---|---|
| 令和6年 2月26日～3月　1日 | 大分大学福祉健康科学部　　1年 | 1名 |
| 3月　4日～　8日 | 大分大学福祉健康科学部　　2年 | 2名 |

**医療事務科**

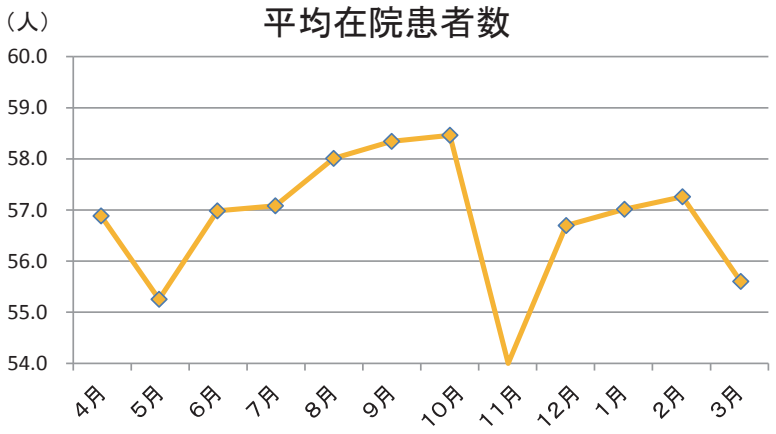
| 期　　間 | 所　　属 | 人数 |
|---|---|---|
| 令和5年11月16日～17日 | IVY 大分医療総合専門学校　　1年 | 1名 |

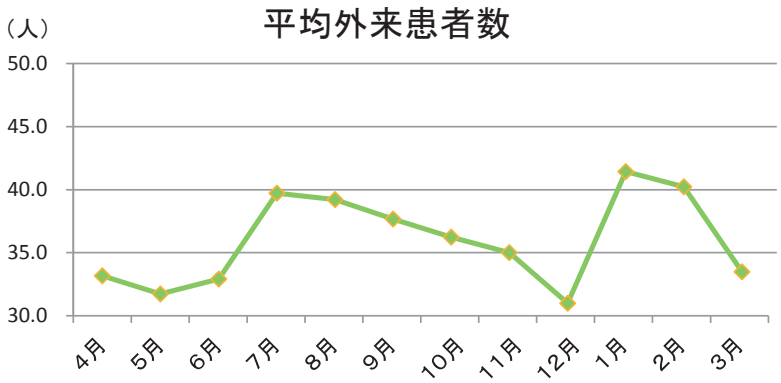
# 統計資料

**入退院及び外来患者・平均在院患者数調べ**　　【 合 計 ＝ 58 床 】 ＋【 外 来 】

| 令和5年度 | 在院患者延べ数 | 実日数 | 平均在院患者数 | 月末在院患者数 | 新入院患者数 | 退 院患者数 | 外来患者延べ数 | 実日数 | 平均外来患者数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4 月 | 1,706 | 30 | 56.9 | 55 | 15 | 20 | 796 | 24 | 33.2 |
| 5 月 | 1,712 | 31 | 55.2 | 55 | 23 | 23 | 825 | 26 | 31.7 |
| 6 月 | 1,709 | 30 | 57.0 | 55 | 17 | 17 | 823 | 25 | 32.9 |
| 7 月 | 1,769 | 31 | 57.1 | 56 | 14 | 13 | 953 | 24 | 39.7 |
| 8 月 | 1,798 | 31 | 58.0 | 58 | 16 | 14 | 941 | 24 | 39.2 |
| 9 月 | 1,750 | 30 | 58.3 | 59 | 18 | 17 | 904 | 24 | 37.7 |
| 10 月 | 1,812 | 31 | 58.5 | 60 | 16 | 15 | 906 | 25 | 36.2 |
| 11 月 | 1,619 | 30 | 54.0 | 53 | 17 | 24 | 840 | 24 | 35.0 |
| 12 月 | 1,757 | 31 | 56.7 | 55 | 15 | 13 | 775 | 25 | 31.0 |
| 1 月 | 1,767 | 31 | 57.0 | 59 | 14 | 10 | 953 | 23 | 41.4 |
| 2 月 | 1,660 | 29 | 57.2 | 55 | 13 | 17 | 925 | 23 | 40.2 |
| 3 月 | 1,723 | 31 | 55.6 | 58 | 10 | 7 | 837 | 25 | 33.5 |
| 計 | 20,782 | 366 | 56.0 | 56.5 | 188 | 190 | 10,478 | 292 | 35.9 |

※一般病床 58 床 : 障がい者施設等入院基本料算定病棟



## 入院患者 ICD10 分類別疾患統計

令和 6 年 3 月

| 章 | 分類見出し | コード番号 | 件数 | 構成比（%） |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 感染症及び寄生虫症 | A00 ～ B99 | 2 | 3.1 |
| 2 | 新生物 | C00 ～ D48 | 1 | 1.5 |
| 4 | 内分泌、栄養及び代謝疾患 | E00 ～ E90 | 3 | 4.6 |
| 5 | 精神及び行動の障害 | F00 ～ F99 | 7 | 10.8 |
| 6 | 神経系の疾患 | G00 ～ G99 | 16 | 24.6 |
| 9 | 循環器系の疾患 | I00 ～ I99 | 15 | 23.1 |
| 10 | 呼吸器系の疾患 | J00 ～ J99 | 4 | 6.2 |
| 11 | 消化器系の疾患 | K00 ～ K93 | 3 | 4.6 |
| 13 | 筋骨格系及び結合組織の疾患 | M00 ～M 99 | 3 | 4.6 |
| 18 | 症状、徴候及び異常臨床等所見で他に分類されないもの | R 00 ～ R 99 | 5 | 7.7 |
| 19 | 損傷、中毒及びその他外因の影響 | S00 ～ T98 | 3 | 4.6 |
| 22 | 特殊目的用コード | U00 ～ U99 | 3 | 4.6 |
| 〔　合　計　〕 | | | 65 | 100.0 |

## 外来患者 ICD10 分類別疾患統計

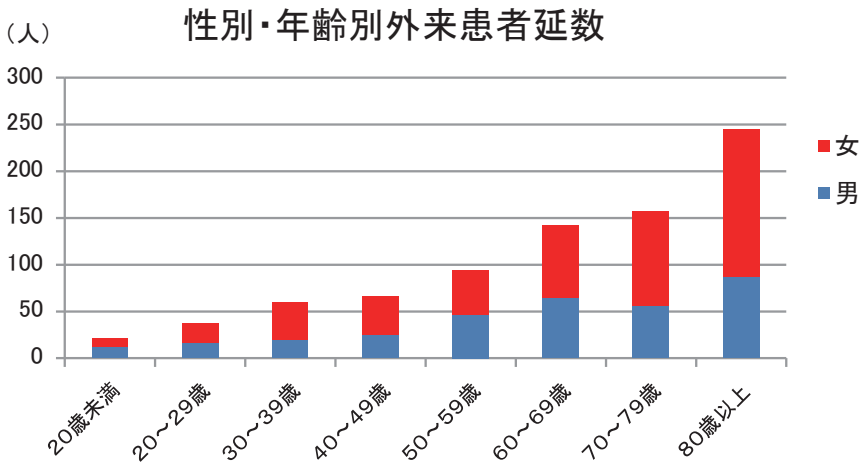
令和 6 年 3 月

| 章 | 分類見出し | コード番号 | 件数 | 構成比（%） |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 感染症及び寄生虫症 | A00 ～ B99 | 10 | 1.2 |
| 2 | 新生物 | C00 ～ D48 | 10 | 1.2 |
| 3 | 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | D50 ～ D89 | 3 | 0.4 |
| 4 | 内分泌、栄養及び代謝疾患 | E00 ～ E90 | 92 | 10.8 |
| 5 | 精神及び行動の障害 | F00 ～ F99 | 61 | 7.2 |
| 6 | 神経系の疾患 | G00 ～ G99 | 106 | 12.4 |
| 7 | 目及び附属器の疾患 | H00 ～ H59 | 0 | 0.0 |
| 8 | 耳及び乳様突起の疾患 | H60 ～ H95 | 2 | 0.2 |
| 9 | 循環器系の疾患 | I00 ～ I99 | 267 | 31.3 |
| 10 | 呼吸器系の疾患 | J00 ～ J99 | 110 | 12.9 |
| 11 | 消化器系の疾患 | K00 ～ K93 | 81 | 9.5 |
| 12 | 皮膚及び皮下組織の疾患 | L00 ～ L 99 | 5 | 0.6 |
| 13 | 筋骨格系及び結合組織の疾患 | M00 ～ M99 | 16 | 1.9 |
| 14 | 尿路性器系の疾患 | N00 ～ N99 | 2 | 0.2 |
| 17 | 先天奇形 | Q00 ～ Q99 | 0 | 0.0 |
| 18 | 症状、徴候及び異常臨床等所見でないもの | R00 ～ R99 | 22 | 2.6 |
| 19 | 損傷、中毒及びその他外因の影響 | S00 ～ T98 | 5 | 0.6 |
| 21 | 健康状態に影響を及ぼす要因 | Z00 ～ Z99 | 4 | 0.5 |
| 22 | 特殊目的用コード | U00 ～ U99 | 56 | 6.6 |
| 〔　合　計　〕 | | | 852 | 100.0 |

## 性別・年齢別外来患者延数

令和５年６月

| 項目 | 男 | 構成比(%) | 女 | 構成比(%) | 計 | 構成比(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 20 歳未満 | 12 | 3.7 | 9 | 1.8 | 21 | 2.6 |
| 20 ～ 29 歳 | 17 | 5.2 | 21 | 4.2 | 38 | 4.6 |
| 30 ～ 39 歳 | 20 | 6.1 | 40 | 8.1 | 60 | 7.3 |
| 40 ～ 49 歳 | 25 | 7.6 | 41 | 8.3 | 66 | 8.0 |
| 50 ～ 59 歳 | 46 | 14.1 | 48 | 9.7 | 94 | 11.4 |
| 60 ～ 69 歳 | 64 | 19.6 | 78 | 15.7 | 142 | 17.3 |
| 70 ～ 79 歳 | 56 | 17.1 | 101 | 20.4 | 157 | 19.1 |
| 80 歳以上 | 87 | 26.6 | 158 | 31.9 | 245 | 29.8 |
| 計 | 327 | 100.0 | 496 | 100.0 | 823 | 100.0 |




【再掲】

| 項目 | 男 | 構成比(%) | 女 | 構成比(%) | 計 | 構成比(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 65 ～ 69 歳 | 41 | 22.3 | 41 | 13.7 | 82 | 16.9 |
| 70 ～ 74 歳 | 37 | 20.1 | 40 | 13.3 | 77 | 15.9 |
| 75 ～ 79 歳 | 19 | 10.3 | 61 | 20.3 | 80 | 16.5 |
| 80 ～ 84 歳 | 34 | 18.5 | 79 | 26.3 | 113 | 23.3 |
| 85 ～ 89 歳 | 30 | 16.3 | 54 | 18.0 | 84 | 17.4 |
| 90 ～ 94 歳 | 23 | 12.5 | 17 | 5.7 | 40 | 8.3 |
| 95 歳以上 | 0 | 0.0 | 8 | 2.7 | 8 | 1.7 |
| 計 | 184 | 100.0 | 300 | 100.0 | 484 | 100.0 |

**紹介元医療機関**

| 令和<br>5年度 | 一般<br>病院 | 医院 | 精神科 | その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 4月 | 4 | 3 | 1 | 1 | 9 |
| 5月 | 9 | 4 | 1 | 3 | 17 |
| 6月 | 4 | 5 | 0 | 4 | 13 |
| 7月 | 12 | 2 | 2 | 2 | 18 |
| 8月 | 13 | 2 | 3 | 3 | 21 |
| 9月 | 10 | 1 | 0 | 3 | 14 |
| 10月 | 3 | 3 | 1 | 3 | 10 |
| 11月 | 9 | 2 | 0 | 5 | 16 |
| 12月 | 10 | 0 | 1 | 2 | 13 |
| 1月 | 11 | 1 | 0 | 6 | 18 |
| 2月 | 4 | 1 | 0 | 1 | 6 |
| 3月 | 4 | 2 | 2 | 4 | 12 |
| 計 | 93 | 26 | 11 | 37 | 167 |

**月別紹介患者数**

| 令和5年度 | 新規患者数 | 紹介患者数 | 紹介率(%) |
|---|---|---|---|
| 4月 | 57 | 7 | 12.3% |
| 5月 | 76 | 9 | 11.8% |
| 6月 | 60 | 9 | 15.0% |
| 7月 | 117 | 8 | 6.8% |
| 8月 | 129 | 16 | 12.4% |
| 9月 | 85 | 6 | 7.1% |
| 10月 | 114 | 3 | 2.6% |
| 11月 | 146 | 5 | 3.4% |
| 12月 | 97 | 8 | 8.2% |
| 1月 | 83 | 8 | 9.6% |
| 2月 | 67 | 2 | 3.0% |
| 3月 | 62 | 4 | 6.5% |
| 計 | 1,093 | 85 | 7.8% |

※紹介率（%）＝ $\frac{\text{紹介患者数}}{\text{新規患者数}}$

**訪問リハビリ　地域別利用者数**

| 地　区 | | 合計日数 | 合計人数 | 平　均 |
|---|---|---|---|---|
| 大分市 | 上野ケ丘 | 437 | 68 | 6.4 |
| | 王子 | 58 | 14 | 4.1 |
| | 南大分 | 17 | 5 | 3.4 |
| | 城東 | 87 | 12 | 7.3 |
| | 明野 | 9 | 3 | 3.0 |
| | 原川 | 71 | 10 | 7.1 |
| | 大東 | 3 | 2 | 1.5 |
| | 東陽 | 114 | 12 | 9.5 |
| | 稙田 | 42 | 11 | 3.8 |
| | 稙田西 | 246 | 48 | 5.1 |
| | 稙田南 | 253 | 57 | 4.4 |
| | 稙田東 | 227 | 49 | 4.6 |
| | 竹中・判田 | 1634 | 252 | 6.5 |
| | 戸次・吉野 | 234 | 49 | 4.8 |
| | 玖珠町 | 36 | 9 | 4.0 |
| | 碩田 | 95 | 12 | 7.9 |
| 合計 | | 3,563 | 613 | 5.8 |

※住所地ではなく介護保険証の住所による。

# 親和園

## はんだ介護保険支援センター

## はんだヘルパーステーション

# 施設紹介

## 親和園の概要

・名　称　　介護老人保健施設　親和園（えとう内科病院併設）
・所在地　　大分県大分市大字中判田 1428-1
・機　能　　入所　定員　　95 名　　一般療養棟　　50 名
　　認知症専門療養棟　　45 名
　　短期入所療養介護サービス（ショートステイ・空床利用）

・加　算

夜勤職員配置加算　　短期集中リハビリテーション実施加算
認知症短期集中リハビリテーション加算　　認知症ケア加算
若年性認知症受入加算　　在宅復帰・在宅療養支援機能加算
外泊時費用　　ターミナルケア加算
初期加算　　入所前後訪問指導加算
退所時等支援等加算　　栄養マネジメント強化加算
再入所時栄養連携加算　　経口移行加算
経口維持加算療養食加算　　口腔衛生管理加算
かかりつけ医連携薬剤調整加算　　緊急時治療管理
所定疾患施設療養費　　認知症専門ケア加算
認知症行動・心理症状緊急対応加算　　認知症情報提供加算
地域連携診療計画情報提供加算
リハビリテーションマネジメント計画情報加算
褥瘡マネジメント加算　　排せつ支援加算
自立支援推進加算　　科学的介護推進体制加算
安全対策体制加算　　サービス提供体制強化加算
介護職員処遇改善加算　　介護職員等特定処遇改善加算
認知症チームケア推進加算　　生産性向上推進体制加算
新興感染症等施設療養費　　協力医療機関連携加算

## はんだ介護保険支援センター

・居宅介護支援事業所…
　介護保険代行申請、各種介護サービス紹介、ケアプラン作成　など

## はんだヘルパーステーション

・訪問介護事業所…
　介護保険：生活援助、身体介護
　障害者総合支援：家事援助、
　　身体介護

# 委員会活動報告

## 身体拘束適正化委員会

### 1. 目的

身体拘束、言葉の拘束などを最小限にすることを目的とする。

### 2. 活動内容

1）研修会

・令和５年８月17日　「介護の力で虐待・身体拘束をなくそう」（オンデマンド視聴）

2）委員会の開催状況

・開催日時　毎月の第２火曜日　16：00～

【議　事】

①　言葉の拘束について、内容検討

②　身体拘束実施の有無の確認

③　勉強会の内容について検討

④　ホール出しベット、センサー使用者の月１回のケース会議

### 3. 今後の課題

言葉の拘束について、問題点を明確化し、改善に向けての取り組みを行う。

身体拘束のラウンド表を作成しラウンドの実施を来年度から行って行く。

## 事故対策委員会

### 1. 目的

介護・医療事故を防止し、安全かつ適切に、質の高い介護・医療を提供する体制を確立し、介護・医療事故の発生の防止に努める。

### 2. 活動内容

① 委員会の開催状況
毎月第２火曜日　　16：00 ～
出席者　副施設長（医師）、リスクマネージャー、看護師、介護職員、事務員

② 研修会参加
令和５年７月 20 日　親和園勉強会にて
「インシデント・アクシデントの書き方」
令和５年 11 月 16 日　親和園勉強会
「BLS（一次救命処置）について」

【議　事】
① 報告システムによるヒヤリ・ハットの件数報告・情報の共有
② 事例の収集、分析、再発防止策の検討、防止実施後の評価
③ 事故防止・安全管理に関する職員研修の企画、開催、啓蒙活動
④ 救急蘇生の研修実施
⑤ マニュアル作成と見直し

### 3. 今後の課題

報告システムによるヒヤリ・ハットの事例収集、分析により再発防止ができているか評価を行う。

## 褥瘡防止委員会

### 1. 目的

褥瘡対策の推進のため、褥瘡防止委員会を設立する。

### 2. 活動内容

①委員会開催状況

毎月第１金曜日　13:30 ～

出席者　施設長（医師）看護師長　看護職員　介護職員　支援相談員　栄養士

【議事内容】

・褥瘡保有者の報告（褥瘡発生者５名／年間）
・褥瘡の経過、治療状況（Ⅰ度からⅡ度以内で治癒）
・体圧分散マットレスの使用状況と管理状況の報告
・マニュアルの改善と整備
・褥瘡対策の整備、検討の実施
・褥瘡予防に関する情報収集と情報共有
・褥瘡予防に関する研修会の開催と実施

### 3. 研修会の開催

令和５年 12 月５日（自主勉強会）

「褥瘡対策について　～検査を受けてからの変更点～」

参加者 10 名　他職員資料とともに伝達

### 4. 今後の課題

・新人・中途採用者の教育（褥瘡対策・ポジショニングの方法について）
・IAD（失禁関連皮膚炎）と DTI（深部損傷褥瘡）のマニュアルの整備
・褥瘡発生の事例、改善策の共有
・身体状況に応じた適切なマットレスの使用及び教育

## 感染防止対策委員会

### 1. 目的

親和園感染防止対策委員会は、感染症の発生を予防し、発生した時は対処が行えるよう体制をつくることを目的とする。

### 2. 活動内容

1）研修会及び演習

・令和５年５月15日～21日
「手洗いチェッカーによる洗い残しの部位について」（実技研修）
参加者59名実施

・令和５年５月18日
「感染対策について」
「当園における新型コロナ感染対策」
参加者９名

・令和５年９月26日～
「介護施設のための感染対策」（eラーニング研修）
視聴者46名

・令和５年10月14日（実技研修）
「個人防護具の着脱手順に関する実技演習」（実技研修）
視聴者23名

・令和５年11月25日（実技研修）
「感染性胃腸炎患者の対応に関する実技演習」（実技研修）
視聴者20名

・令和５年12月21日～
「冬の感染症について」
視聴者10名　他職員資料とともに伝達

2）委員会の開催状況

開催日時　　毎月第３月曜日　14：00～

議事内容

① 新規入所者の感染症の既往の把握
② 施設内感染対策に関する職員研修の企画及び開催
③ 感染防止に関する施設内の啓蒙活動
④ マニュアルの作成と見直し
⑤ 入所者、職員の健康状態の把握
⑥ 感染症発生時の対応と報告
⑦ 感染対策実施状況の把握と評価
⑧ 定期的なラウンドによる感染対策の状況及び指導

3）新型コロナウイルス感染症対策

・職員の体調管理及び利用者の身体状態の観察
・情報の把握及び職員への伝達
・法人内の対策周知、徹底
・感染防止のための医療用品の備蓄
・研修会の開催

### 3. 今後の課題

・職員への感染症予防のための継続的な教育と、感染症発生時の対策の周知
・業務に即した対応ができるマニュアル
・手指消毒の周知、徹底
・感染対策における研修会の参加（他職種の参加の呼びかけ）

# 学会発表

| 年　月　日 | テーマ | 学会名 |
|---|---|---|
| 令和６年３月10日 | 無駄を無くして皆でスマイル<br>～オムツの見直しでコスト削減～ | 大分県老人保健施設大会 |

## 無駄を無くして皆でスマイル
## ～オムツの見直しでコスト削減

介護老人保健施設新和園
衛藤　忠克、鈴木　恵子

**【はじめに】**

当施設は一般療養棟 50 名、認知症専門棟 45 名、計 95 名が入所している。排泄ケアにおいて以前より入所者にサイズの合っていないオムツを付けて衣類を汚すことや、漏らしたくないという職員の思いからオムツを沢山使用することがあった。そのため入所者に不快感を与え、それに加えてオムツの経費もかさんでいた。

そこで排泄委員会を中心にオムツの見直しに取り組み、職員の技術向上と大幅なコスト削減ができたので報告をする。

**【目的】**

全職員が入所者の排尿のパターンや量をアセスメントして適したオムツの選定ができるようになりコスト削減に繋げる。

**【方法】**

期間：令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月迄
対象者：親和園全入所者 95 名
実施内容
①入所者のオムツ個別金額表を出す
②排泄状況アセスメント
③オムツの見直し
④実施
※ 3 ヶ月毎に①～④を繰り返し実施
※排泄委員会による実施状況の確認
※オムツの当て方勉強会の実施

**【結果】**

入所者個別のオムツ使用状況を把握するために、オムツの枚数よりも金額の方で可視化した方が職員に強い印象を与え取り組みやすいと考えた。24 時間のオムツ使用料金を算出し日、月単位で、どの程度オムツをゴミとして捨てているのかを職員に周知した。

排泄方法、尿意便意の有無、使用しているオムツ形態、オムツが吸収した量、失禁の有無をアセスメントして変更するかどうか担当職員が考え、排泄委員会が再検討した。その結果一般療養棟は約1割、認知症専門棟は約3割の入所者にオムツの変更を行った。オムツの容量を下げて尿量オーバーするケースは殆ど見られなかった。また勉強会を行い正しいオムツ交換の技術も習得した。コスト面では、結果令和 3 年度と比べ約 20%コストの削減ができた。

**【考察】**

オムツの容量を下げることに消極的な職員もいたが、担当職員がアセスメントすることでオムツを変更した方が良いと考えるようになった。入所者は身体に合ったオムツを適切に装着することで漏れが減り、当てすぎによる不快な思いを減らすことができた。適切なオムツの選定とオムツの当て方により、オムツ使用量が減少しコスト削減に繋がった。

**【まとめ】**

今回の取り組みにより適切なオムツの選定ができるようになり、コスト削減をする事ができた。

職員の排泄ケアの技術が上がり、今ではアセスメント用紙を使用しなくてもオムツの見直しができるようになった。

以前より排泄による衣類交換は少なくなったが、下剤服用やオムツさわり等による漏れも見られる。今後は、それらをアセスメントして対策を行っていきたい。これからも皆がスマイルになれる取り組みを継続していく。

## 園外研修実績

| 年　月　日 | 研　修　内　容 |
|---|---|
| 令和５年　６月　８日 | 令和５年度大分西部地区看護ネットワーク研修会 |
| ８月 29 日～（５日間） | 認知症介護実践者研修 |
| 10 月 21 日～ 10 月 22 日 | ノーリフティングケア技術研修　～実技編～ |
| 11 月 14 日～（８日間） | 介護支援専門員更新研修課程Ⅱ |
| 12 月　２日～（６日間） | 認知症介護実践リーダー研修 |
| 令和６年　３月 10 日 | 大分県老人保健施設大会<br>※ 施設内に新型コロナクラスター発生のため、口演発表及び参加中止 |

## 園内研修実績

| 年　月　日 | 研　修　内　容 | 参加者数 |
|---|---|---|
| 令和５年　５月 18 日 | ①認知症の方にやってはいけない対応・言動 | ９名 |
| | ②感染対策について / 当園における新型コロナ感染対策 | |
| ６月 15 日 | エルモアの大人用紙おむつ勉強会 | 10 名 |
| ７月 20 日 | 重大事故０を目指して<br>～インシデント・アクシデントの書き方～ | 10 名 |
| ９月 21 日 | ①高齢者虐待について | 10 名 |
| | ②介護記録とは | |
| ９月 26 日～ | 介護施設のための感染対策（e ラーニング研修） | 46 名 |
| 10 月 14 日 | 個人防護具の着脱手順に関する実技演習（実技研修） | 23 名 |
| 10 月 19 日～ | 介護スタッフに必要な倫理（e ラーニング研修） | 41 名 |
| 11 月 25 日 | 感染性胃腸炎患者の対応に関する実技演習（実技研修） | 20 名 |
| 11 月 27 日 | 救急法講習会　～ BLS･AED の使い方～（実技研修） | ７名 |
| 12 月　５日 | 褥瘡対策について　～検査を受けてからの変更点～ | 10 名 |
| 12 月 21 日 | 冬の感染症について | 64 名 |
| 令和６年１月 19 日～ | 臨床倫理入門（e ラーニング研修） | 64 名 |

## 実習生の受入れ

| 期　　間 | 所　　属 | 人数 |
|---|---|---|
| 令和５年５月　８日～　５月19日 | 大分准看護専門学院 | ２名 |
| ５月　８日～　５月19日 | 大分南高等学校（３年生） | ２名 |
| ６月12日～　６月13日 | 大分歯科専門学校 | ２名 |
| ６月30日～　７月18日 | 大分南高等学校（３年生） | ２名 |
| ７月17日～　７月28日 | 大分准看護専門学院 | ２名 |
| 10月16日～11月　７日 | 大分南高等学校（２年生） | ２名 |

## ボランティアの受入れ

| 期　　間 | 所　　属 | 人数 |
|---|---|---|
| 令和５年７月27日～　７月28日 | 大分県立大分南高等学校 | １名 |
| ８月16日 | 大分県立大分雄城台高等学校 | １名 |

# 統計資料（入所）

### 入所者の月別入退所調べ（ショートステイ含む）

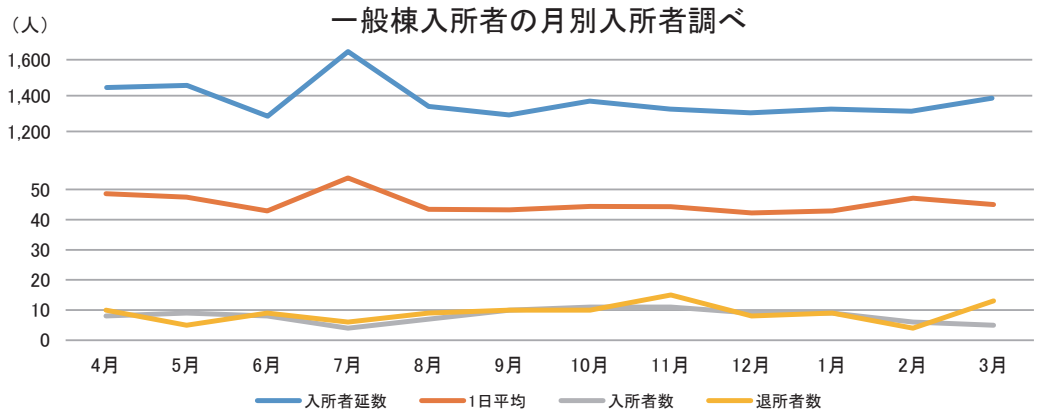
【　一般療養棟　　＝　50　名　】

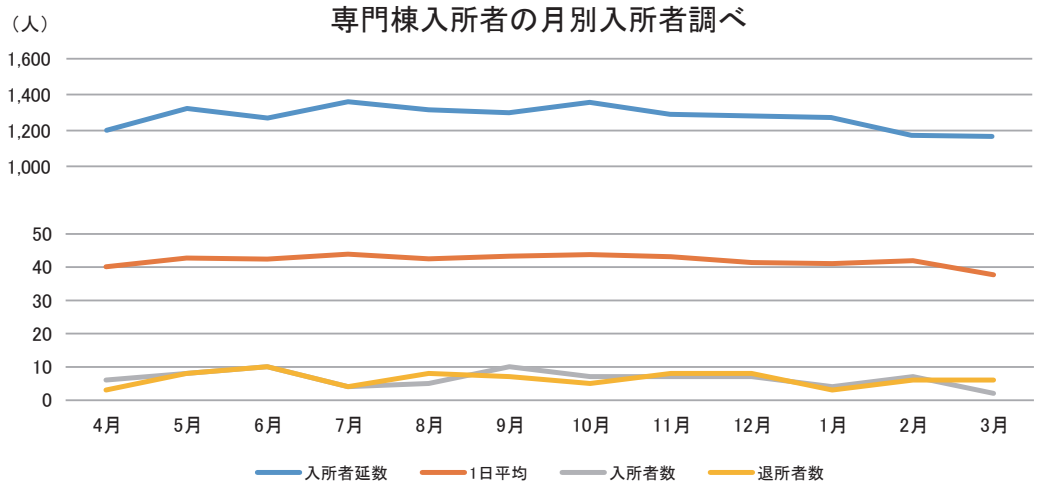
| 令和5年度 | 入所者延べ数 | 1日平均 | 入所者数 | 退所者数 |
|---|---|---|---|---|
| 4月 | 1,458 | 48.6 | 8 | 10 |
| 5月 | 1,470 | 47.4 | 9 | 5 |
| 6月 | 1,289 | 42.9 | 8 | 9 |
| 7月 | 1,669 | 53.8 | 4 | 6 |
| 8月 | 1,347 | 43.4 | 7 | 9 |
| 9月 | 1,296 | 43.2 | 10 | 10 |
| 10月 | 1,378 | 44.4 | 11 | 10 |
| 11月 | 1,330 | 44.3 | 11 | 15 |
| 12月 | 1,309 | 42.2 | 9 | 8 |
| 1月 | 1,331 | 42.9 | 9 | 9 |
| 2月 | 1,319 | 47.1 | 6 | 4 |
| 3月 | 1,395 | 45.0 | 5 | 13 |
| 合　計 | 16,591 | | 97 | 108 |
| 平　均 | 1,383 | 45.4 | 8.1 | 9.0 |

### 入所者の月別入退所調べ（ショートステイ含む）

【　認知症専門療養棟　　＝　45　名　】

| 令和5年度 | 入所者延べ数 | 1日平均 | 入所者数 | 退所者数 |
|---|---|---|---|---|
| 4月 | 1,201 | 40.0 | 6 | 3 |
| 5月 | 1,321 | 42.6 | 8 | 8 |
| 6月 | 1,269 | 42.3 | 10 | 10 |
| 7月 | 1,359 | 43.8 | 4 | 4 |
| 8月 | 1,315 | 42.4 | 5 | 8 |
| 9月 | 1,298 | 43.2 | 10 | 7 |
| 10月 | 1,356 | 43.7 | 7 | 5 |
| 11月 | 1,290 | 43.0 | 7 | 8 |
| 12月 | 1,281 | 41.3 | 7 | 8 |
| 1月 | 1,271 | 41.0 | 4 | 3 |
| 2月 | 1,173 | 41.8 | 7 | 6 |
| 3月 | 1,167 | 37.6 | 2 | 6 |
| 合　計 | 15,301 | | 77 | 76 |
| 平　均 | 1,275 | 41.9 | 6.4 | 6.3 |



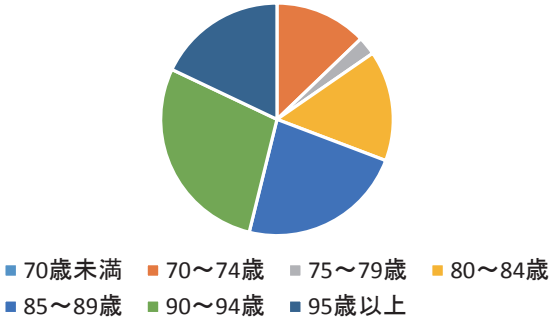



## 年齢別入所者数

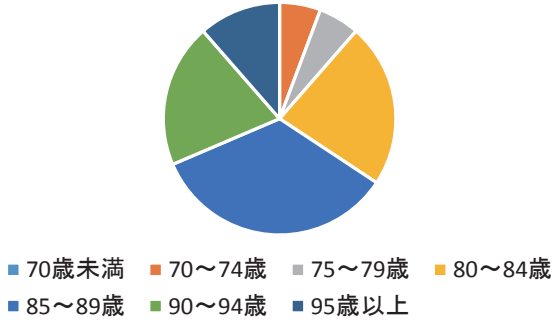
令和 6 年 3 月 31 日現在

| 年齢 | 70歳未満 | 70～74 歳 | 75～79歳 | 80～84歳 | 85～89歳 | 90～94歳 | 95歳以上 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一般療養棟 | 0 | 5 | 1 | 6 | 9 | 11 | 7 | 39 |
| 認知症専門療養棟 | 0 | 2 | 2 | 8 | 12 | 7 | 4 | 35 |

一般療養棟年齢別入所者数




認知症専門療養棟年齢別入所者数

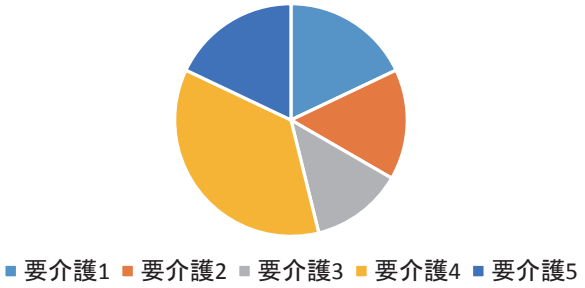



## 介護度別入所者数

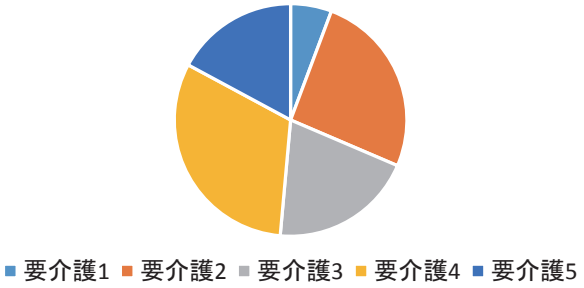
令和 6 年 3 月 31 日現在

| 介護度 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 一般療養棟 | 7 | 6 | 5 | 14 | 7 | 39 |
| 認知症専門療養棟 | 2 | 9 | 7 | 11 | 6 | 35 |

一般療養棟介護度別入所者数




認知症専門療養棟介護度別入所者数

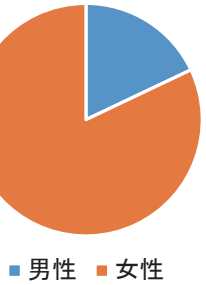



## 性別入所者数

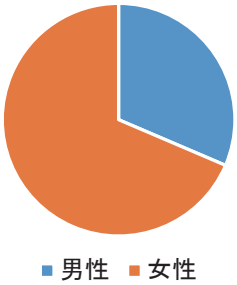
令和 6 年 3 月 31 日現在

| 性別 | 男性 | 女性 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 一般療養棟 | 7 | 32 | 39 |
| 認知症専門療養棟 | 11 | 24 | 35 |

一般療養棟性別入所者数




認知症専門療養棟性別入所者数



**年間の行事・交流会状況**

| 日　付 | 内　容 |
|---|---|
| 令和5年　5月31日 | レクリエーション　間違い探しゲーム（一般棟） |
| 6月17日 | 4・5月誕生日会（一般棟） |
| 7月15日 | 6・7月誕生日会（一般棟） |
| 7月28日 | 納涼祭（専門棟） |
| 8月22日 | 7・8月誕生日会（専門棟） |
| 9月16日 | 8・9月誕生日会（一般棟） |
| | 9月誕生日会、敬老会（専門棟） |
| 10月14日 | 親和園運動会（一般棟・専門棟） |
| 11月18日 | 10・11月誕生日会（一般棟） |
| 11月21日 | 10・11月誕生日会（専門棟） |
| 12月16日 | 寿・忘年会（一般棟） |
| 令和6年　1月20日 | 新年会、12・1月誕生日会（一般棟） |
| | 12・1月誕生日会（専門棟） |
| 2月 3日 | 節分会（一般棟） |
| 2月 4日 | 節分会（専門棟） |
| 3月16日 | 2・3月誕生日会（一般棟） |

# はんだ介護保険支援センター

## 統計資料

### 1. 介護度による月別比率

令和５年度

| 介護度別 | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 | 合計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 要介護3～5 | 23% | 20% | 21% | 23% | 20% | 23% | 22% | 20% | 24% | 27% | 25% | 25% | 254 | 23% |
| 要介護1～2 | 70% | 73% | 73% | 72% | 73% | 71% | 71% | 73% | 69% | 66% | 68% | 70% | 789 | 71% |
| 要支援1～2 | 6% | 7% | 7% | 6% | 6% | 6% | 8% | 8% | 7% | 7% | 7% | 6% | 75 | 7% |
| 計 | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 1,118 | 100% |

### 2. 認定調査件数

令和５年度

| 月 | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 件数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |

# はんだヘルパーステーション

## 統計資料

### 月別介護サービス提供比率

| 令和５年度 | | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 | 合計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 介護保険 | 介　護 | 81% | 70% | 67% | 66% | 70% | 72% | 80% | 85% | 83% | 87% | 92% | 91% | 5755:55 | 78% |
| | 要支援 | 11% | 9% | 8% | 6% | 7% | 7% | 11% | 9% | 9% | 5% | 8% | 9% | 592:10 | 8% |
| 総合支援 | | 7% | 21% | 25% | 28% | 23% | 21% | 9% | 6% | 8% | 8% | 0% | 0% | 1020:45 | 14% |
| 合　計 | | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 7368:50 | 100% |

# 和らぎの里

# 施設紹介

## 和らぎの里の概要

・名　称　　住宅型有料老人ホーム　和らぎの里

・所在地　　大分県大分市大字中判田 1950-1

・入　居　　定員　　39 名
　　個　　室　　19 床
　　2 人部屋　　20 床

・提供サービス

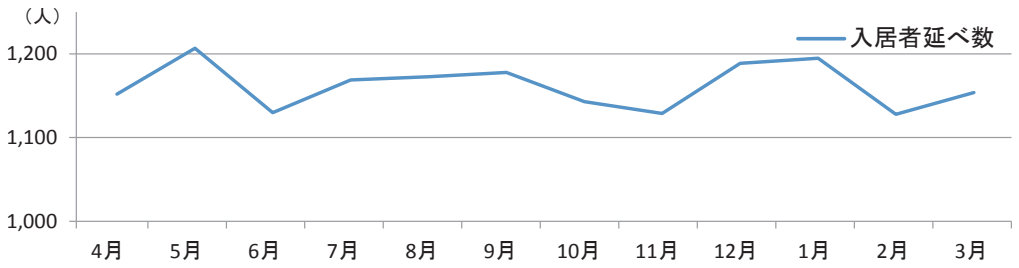
| | |
|---|---|
| 介護サービス | 食事介助<br>排泄介助<br>入浴介助<br>身辺介助<br>通院介助 |
| 生活サービス | 居室掃除<br>リネン交換<br>買い物代行<br>役所手続き代行<br>金銭管理 |
| 健康管理サービス | 健康相談<br>生活指導<br>服薬支援<br>生活リズムの記録 |
| 入退院等のサービス | 移送サービス<br>入退院の同行<br>入院中の洗濯物交換・買い物<br>入院中の見舞い訪問 |

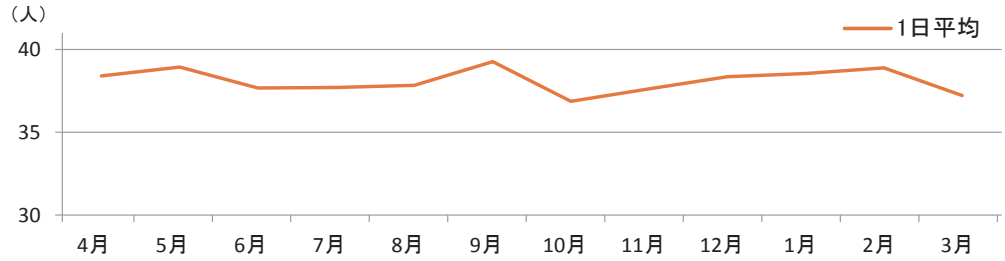
# 統計資料

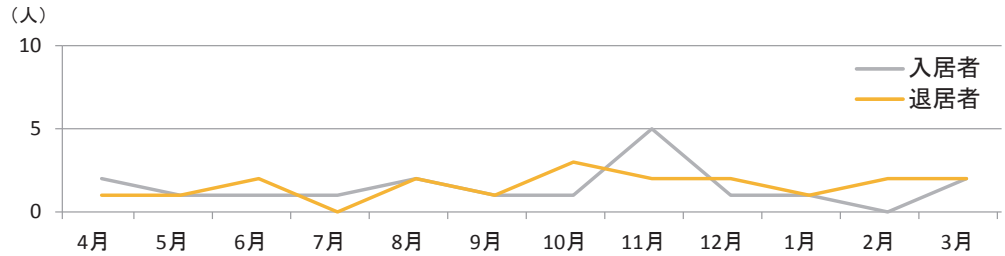
月別入居者数（要介護度別）　　定員 40 床

| 令和5年度 | 入居者延べ数 | 1日平均 | 入居者 | | | | | | | | 退居者 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 要支援 | | 要介護 | | | | | 計 | 要支援 | | 要介護 | | | | | 計 |
| | | | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 4月 | 1,152 | 38.4 | 1 | | | | 1 | | | 2 | | | | | | 1 | | 1 |
| 5月 | 1,207 | 38.9 | | | 1 | | | | | 1 | | | 1 | | | | | 1 |
| 6月 | 1,130 | 37.7 | | | | 1 | | | | 1 | 1 | | | 1 | | | | 2 |
| 7月 | 1,169 | 37.7 | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | 0 |
| 8月 | 1,173 | 37.8 | | | 2 | | | | | 2 | | | 1 | | | 1 | | 2 |
| 9月 | 1,178 | 39.3 | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | 1 | | 1 |
| 10月 | 1,143 | 36.9 | | | | | | 1 | | 1 | | | 1 | | | 1 | 1 | 3 |
| 11月 | 1,129 | 37.6 | | | 1 | 2 | | 2 | | 5 | 1 | | | | 1 | | | 2 |
| 12月 | 1,189 | 38.4 | | | | | 1 | | | 1 | 1 | | 1 | | | | | 2 |
| 1月 | 1,195 | 38.5 | | | | | | 1 | | 1 | | | | | 1 | | | 1 |
| 2月 | 1,128 | 38.9 | | | | | | | | 0 | | | | | | 2 | | 2 |
| 3月 | 1,154 | 37.2 | | | 1 | 1 | | | | 2 | | | | | 1 | 1 | | 2 |
| 合計 | 13,947 | | 1 | 0 | 6 | 4 | 2 | 5 | 0 | 18 | 3 | 0 | 4 | 1 | 3 | 7 | 1 | 19 |
| 平均 | 1,162 | 38.1 | 1.0 | | 1.2 | 1.3 | 1.0 | 1.3 | | 1.5 | 1.0 | | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.2 | 1.0 | 1.6 |

## 月別入居者数

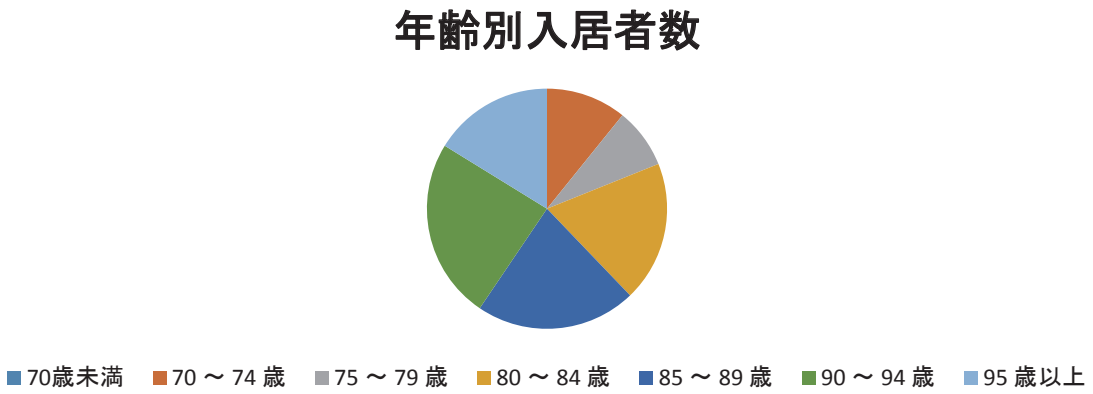


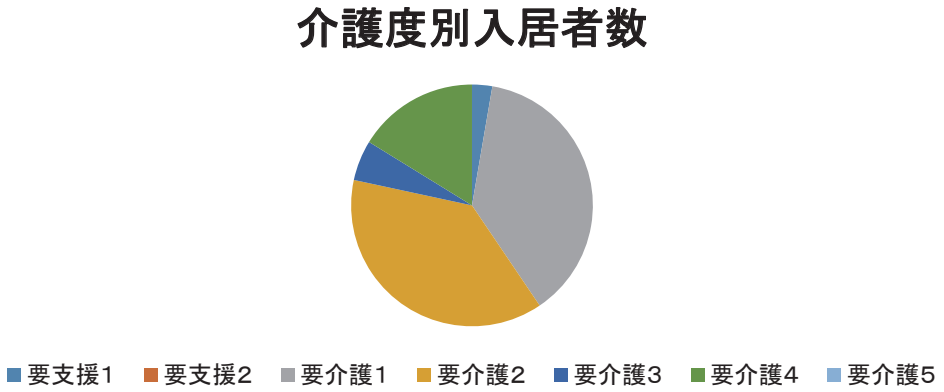
**年齢別入居者数**　　令和 6 年 3 月 31 日現在

| 年齢 | 70歳未満 | 70～74歳 | 75～79歳 | 80～84歳 | 85～89歳 | 90～94歳 | 95歳以上 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 人数 | 0 | 4 | 3 | 7 | 8 | 9 | 6 | 37 |



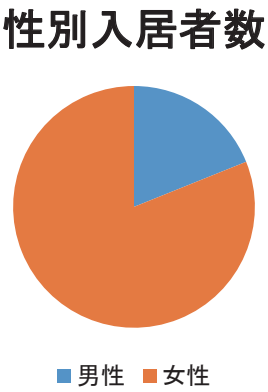

**介護度別入居者数**　　令和 6 年 3 月 31 日現在

| 介護度 | 要支援 1 | 要支援 2 | 要介護 1 | 要介護 2 | 要介護 3 | 要介護 4 | 要介護 5 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 人数 | 1 | 0 | 14 | 14 | 2 | 6 | 0 | 37 |




**性別入居者数**　　令和 6 年 3 月 31 日現在

| 性別 | 男性 | 女性 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 人数 | 7 | 30 | 37 |



グループホーム

# 庄 屋 の 里

# 施設紹介

## グループホーム庄屋の里の概要

・名　称　　グループホーム　庄屋の里

・所在地　　大分県大分市大字中判田 1950 番地 6

・機　能　　入所　定員　　18 名（9 名× 2 ユニット・全個室 18 室）

・加　算

| | |
|---|---|
| サービス提供体制強化加算 | 医療連携体制加算 |
| 初期加算 | 看取り介護加算 |
| 介護職員処遇改善加算 | 介護職員等特定処遇改善加算 |
| 協力医療機関連携加算 | 退居時情報提供加算 |
| 看取り介護加算 | 処遇改善加算 |

・提供サービス

食事介助
・管理栄養士が作成した献立表により、栄養並びに入居者の身体の状況及び嗜好を配慮した食事を提供します

入浴介助
・週 2 回の入浴を行い、身体の状況により入浴ができない場合は、体調に応じて清拭を行います

排泄介助
・介助が必要な入居者に対して、自立支援を踏まえ、トイレ誘導やオムツ交換を行います

機能訓練
・日常生活を営むのに必要な機能の減退を防止する為、できることは可能な限り自分で行えるよう、安全を確保しつつ動作支援を行います

健康管理
・毎日健康チェックを行い、健康管理と異常の早期発見に努めます

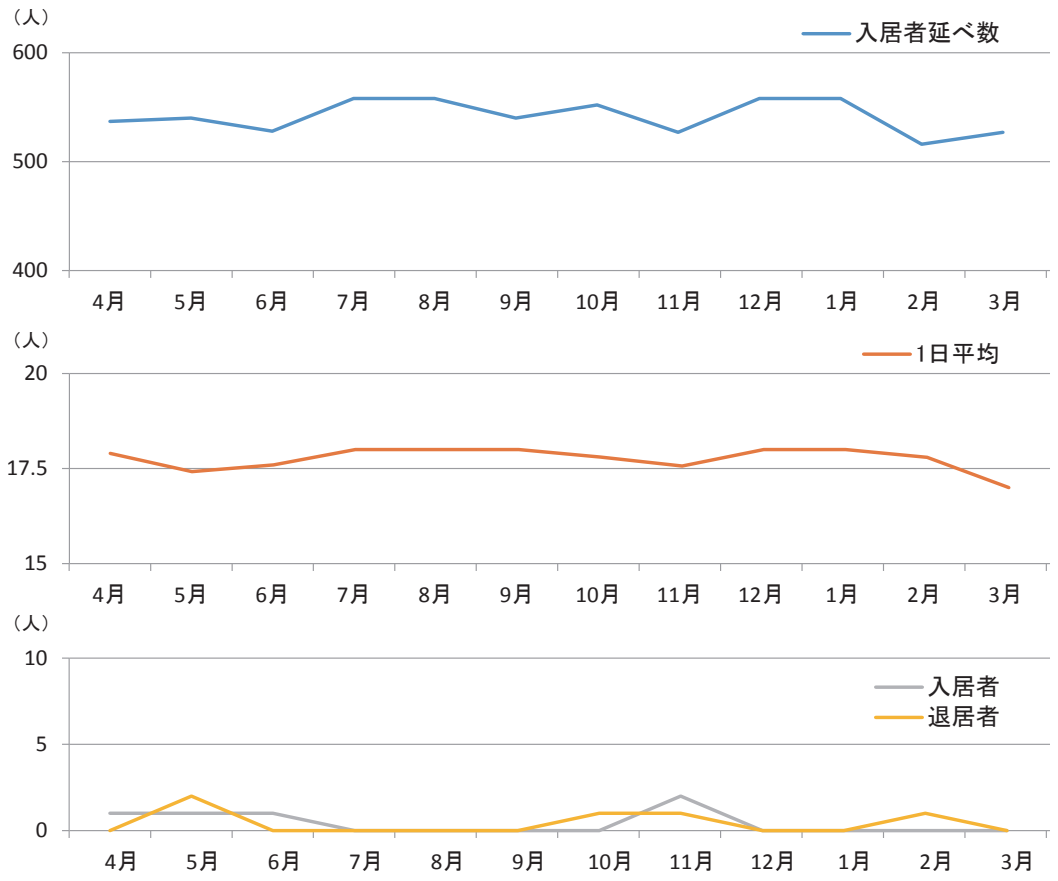
その他
・入居者の入浴、排泄。食事及びその他の家事は原則として入居者と介護従事者が共同で行うよう努めます
・入居者の趣味または嗜好に応じた活動の機会を提供します
・常に入居者の心身の状況や、置かれている環境等の的確な把握に努め、入居者、家族に対して、その相談に応じるとともに、必要な支援を行います

# 統計資料

月別入居者数（要介護度別）

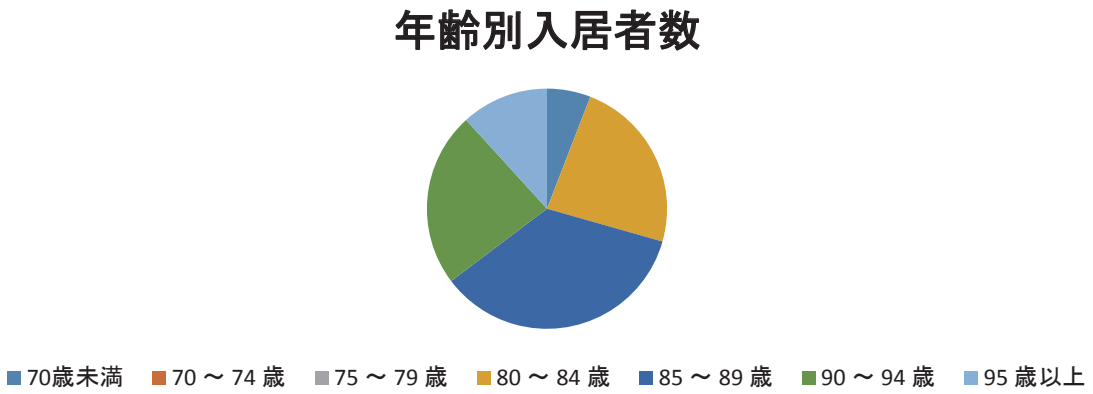
| 令和5年度 | 入居者延べ数 | 1日平均 | 入居者 | | | | | | | 退居者 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 要支援 | 要介護 | | | | | 計 | 要支援 | 要介護 | | | | | 計 |
| | | | 2 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | 2 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 4月 | 537 | 17.9 | 0 | 1 | | | | | 1 | | | | | | | 0 |
| 5月 | 540 | 17.4 | 0 | | 1 | | | | 1 | | 1 | | | 1 | | 2 |
| 6月 | 528 | 17.6 | 0 | | 1 | | | | 1 | | | | | | | 0 |
| 7月 | 558 | 18.0 | 0 | | | | | | 0 | | | | | | | 0 |
| 8月 | 558 | 18.0 | 0 | | | | | | 0 | | | | | | | 0 |
| 9月 | 540 | 18.0 | 0 | | | | | | 0 | | | | | | | 0 |
| 10月 | 552 | 17.8 | 0 | | | | | | 0 | | | 1 | | | | 1 |
| 11月 | 527 | 17.6 | 0 | | 1 | 1 | | | 2 | | | | | 1 | | 1 |
| 12月 | 558 | 18.0 | 0 | | | | | | 0 | | | | | | | 0 |
| 1月 | 558 | 18.0 | 0 | | | | | | 0 | | | | | | | 0 |
| 2月 | 516 | 17.8 | 0 | | | | | | 0 | | | 1 | | | | 1 |
| 3月 | 527 | 17.0 | 0 | | | | | | 0 | | | | | | | 0 |
| 合計 | 6,499 | | 0 | 1 | 3 | 1 | 0 | 0 | 5 | 0 | 1 | 2 | 0 | 2 | 0 | 5 |
| 月平均 | 542 | 17.8 | | 1.0 | 1.0 | 1.0 | | | 0.4 | | 1.0 | 1.0 | | 1.0 | | 0.4 |

## 月別入居者数



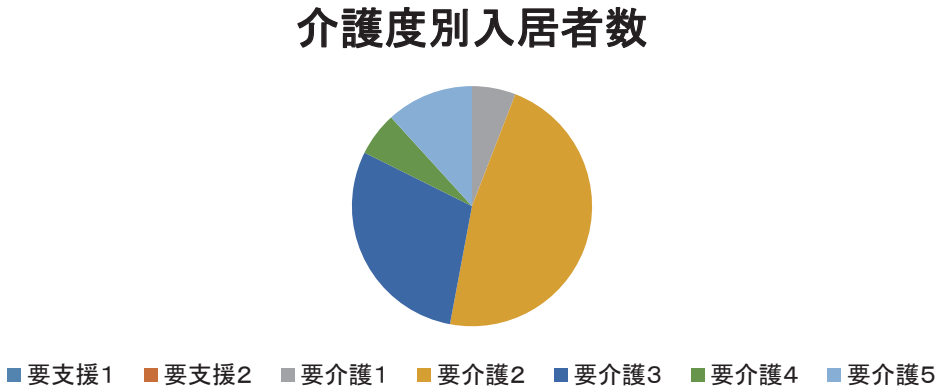
**年齢別入居者数**　　令和 6 年 3 月 31 日現在

| 年齢 | 70歳未満 | 70～74歳 | 75～79歳 | 80～84歳 | 85～89歳 | 90～94歳 | 95歳以上 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 人数 | 1 | 0 | 0 | 4 | 6 | 4 | 2 | 17 |



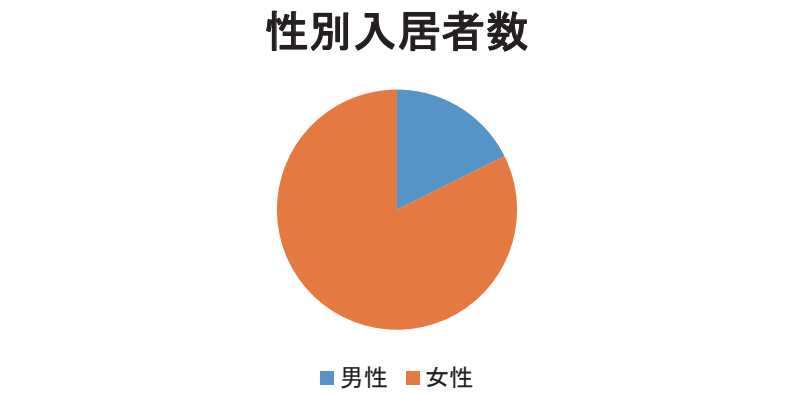

**介護度別入居者数**　　令和 6 年 3 月 31 日現在

| 介護度 | 要支援 1 | 要支援 2 | 要介護 1 | 要介護 2 | 要介護 3 | 要介護 4 | 要介護 5 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 人数 | 0 | 0 | 1 | 8 | 5 | 1 | 2 | 17 |




**性別入居者数**　　令和 6 年 3 月 31 日現在

| 性別 | 男性 | 女性 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 人数 | 3 | 14 | 17 |



# 判田訪問看護ステーションきらら

## 事業所 判田訪問看護ステーションきらら

### 概要

・事業所概要/運営方針　主治医より訪問看護及び介護予防訪問看護（以下「訪問看護」とします）が必要と判断されたご利用様に対し、訪問看護のサービスを提供し、居宅においてご利用様がより自立した日常生活を営むことができるように、支援することを目的とします。

・名　　称　　判田訪問看護ステーション　きらら

・所 在 地　　〒870-1111　大分県大分市大字中判田1419番地の2

・連 絡 先　　097-597-0255

・事業開始年月日　　令和3年4月1日

・事業所番号　　4460191036

・営 業 日　　月～金　※但し、国民の祝日、12月30日～1月3日（年末年始を除く）

・営業時間　　8時30分～17時30分

・支援の提供方法及び内容

①　訪問看護の作成

②　訪問看護の提供

# ぽっぽ保育園

# ぽっぽ保育園

“お父さん・お母さんが安心して働けるように”

在籍園児数　令和６年４月現在

| | | |
|---|---|---|
| 0 歳 児 | ひよこ組 | 0名 |
| 1 歳 児 | り す 組 | 3名 |
| 2 歳 児 | ね こ 組 | 2名 |
| 3 歳 児 | うさぎ組 | 1名 |
| | 計 | 6名 |

令和５年度　年間行事

| | | |
|---|---|---|
| 令和5年 | 4月14日 | 内科・歯科検診 |
| | 5月 2日 | 子どもの日お祝い会 |
| | 7月 4日 | プール開き |
| | 7日 | 七夕お楽しみ会 |
| | 8月26日 | お祭りごっこ |
| | 9月 8日 | 内科・歯科検診 |
| | 19日 | 敬老会参加（庄屋の里） |
| | 21日 | 敬老会参加（内科リハビリ） |
| | 10月16日 | 秋の遠足 |
| | 27日 | 芋掘りごっこ |
| | 31日 | ハロウィンパーティー |
| | 11月10日 | 庄屋の里訪問 |
| | 12月11日 | 内科リハビリクリスマス会 |
| | 18日 | ぽっぽ保育園クリスマス会 |
| | 22日 | 庄屋の里クリスマス会 |
| 令和6年 | 1月 5日 | 羽つきあそび |
| | 6日 | 初もうで |
| | 2月 2日 | 節分の豆まき |
| | 3月 1日 | ひな祭り |
| | 23日 | 卒園・進級式 |
| | 26日 | お別れ遠足 |

避難訓練（毎月実施）
お誕生日会（お誕生日の園児がいる月）

**ぽっぽだより**
**２カ月に１回発行**

**ぽっぽ保育園　外観**

**秋の遠足の様子**

**節分の豆まきの様子**

# 編集後記

今年は夏季オリンピック開催の年で、開催期間は連日テレビでアスリートの活躍を報じていました。

かつてオリンピックは平和の祭典と言われていましたが、世界の情勢は、一向に終息の兆しが見えないロシアウクライナ戦争、イスラエルガザ侵攻等、混迷の限りを尽くしています。

個人的な話でありますが、私の大学時代の１学年下の後輩がイスラエル人と結婚し、その息子が現在イスラエル兵として兵役に行っているとのことで、その後輩は息子のことをとても心配していると伝え聞きました。日本は第２次世界大戦後、今日まで諸外国と大きな紛争もなく平和な日々を享受していますが、いつ何時そのような争いに巻き込まれるか全く楽観視できる状況ではありません。私の後輩のような不安な思いを、日本で暮らしている人達には味わって欲しくないと祈るばかりです。

令和6年8月
編集委員　田中　洋二


## 医療法人社団親和会

〒870-1111　大分市上判田3433番地
TEL.097-597-0093　FAX.097-597-6231
URL　：http://shinwakai-hosp.com
E-mail：info@shinwakai-hosp.com


### 交通アクセス

●JR／豊肥線中判田駅下車……徒歩15分
●車／大分大学入口から……5分
　　白滝橋（戸次）から……5分
　　米良ICから……5分

広報委員会

委　員　田中　洋二
　　小野　敏広
　　後藤　博文
　　仲元　洋貴
　　小林　咲絵
　　姫野慎太郎
　　上田由美子
　　河津　智実
　　野々下亜理沙
　　戸山　哲徳
　　岩﨑　敦史

## 医療法人社団親和会シンボルマーク

“SUN IN HEALTH”をテーマに、衛藤病院のイニシャル＜え＞を
青空に向かって躍動する人体にパターン化。
より健康を願う人々に、
限りない愛をエネルギッシュに
クリエイティブする快いシステムを
端的にシンボライズしたものです。


医療法人社団親和会　年報（令和５年度）

令和６年９月１日発行

発　行／医療法人社団親和会



**衛藤病院**
〒870-1111 大分市大字上判田 3433 番地　TEL　097-597-0093　FAX　097-597-6231

**えとう内科病院**
〒870-1113 大分市大字中判田 1428 番地の１　TEL　097-597-6150　FAX　097-597-6156

**介護老人保健施設親和園**
〒870-1113 大分市大字中判田 1428 番地の１　TEL　097-597-3635　FAX　097-597-3634

**住宅型有料老人ホーム和らぎの里**
〒870-1113 大分市大字中判田 1950 番地の１　TEL　097-597-6360　FAX　097-597-6370

**グループホーム庄屋の里**
〒870-1113 大分市大字中判田 1950 番地の６　TEL　097-597-8570　FAX　097-597-8571

**はんだ介護保険支援センター**
〒870-1113 大分市大字中判田 1419 番地の２　TEL　097-597-0190　FAX　097-597-0264

**はんだヘルパーステーション**
〒870-1113 大分市大字中判田 1950 番地の１　TEL　097-597-8976　FAX　097-597-0264

**判田訪問看護ステーションきらら**
〒870-1113 大分市大字中判田 1419 番地の２　TEL　097-597-0255　FAX　097-597-0254

**相談支援事業所はんだ**
〒870-1111 大分市大字上判田 3433 番地　TEL　097-597-0093　FAX　097-597-6231

**就労継続支援Ｂ型てんとうむし**
〒870-1113 大分市大字中判田 1419 番地の５　TEL　097-574-9082　FAX　097-574-9083

**竹中・判田地域包括支援センター**
〒870-1113 大分市大字中判田 1910 番地の６　TEL　097-597-4111　FAX　097-597-1991



印　刷／三恵印刷株式会社
〒870-0917 大分市高松 1-2-27　サンオブサン・エージェンシービル 4F
TEL　097-529-7030　FAX　097-529-7031

題字　会長　衛藤　和郎